

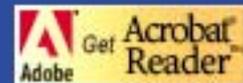
# Logitech

<http://www.logitech.co.jp/>

設定画面へ

導入 / 設定マニュアル

Acrobat Reader 5.0  
が必要です。



All contents copyright Logitech Corp.

## TN シリーズ 導入/設定マニュアル

# 安全にご使用いただくために

本章では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための説明をしてありますので、お使いになる前に必ずご一読くださいますようお願いいたします。

## 表示の意味

本章の説明では、いろいろな絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>危険</b>	“誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険が、差しせまって発生する可能性があること”を示します。
 <b>警告</b>	“誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があること”を示します。
 <b>注意</b>	“誤った取り扱いをすると、人が傷害 <sup>*1</sup> を負う可能性、または物的損害 <sup>*2</sup> のみが発生する可能性があること”を示します。
<p>*1: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。 *2: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。</p>	

## 図記号の意味

	この図記号は危険(警告、注意含む)を促す事項を示しています。具体的な警告内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	この図記号はしてはいけない行為(禁止事項)を示しています。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	この図記号は必ずしてほしい行為(強制事項)を示しています。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

## 免責事項について

ご使用にあたり、ハードディスク内のデータは、ネットワーク経由にて定期的にバックアップをお願い致します。原因の如何に拘らず、データ消失に伴う損害につきましては、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

弊社は、本装置の機能がお客様の要求を満たすこと、プログラムが中断無く実行されることを保証するものではなく、本装置の使用、若しくは使用不能に起因して生じた、お客様の事業上の利益損失、事業上の損害、事業上の情報の損害、その他の金銭的な損害を含め、いかなる損害につきましても責任を負いかねますので予めご了承ください。

# 安全にご使用いただくために



## 警告



### 異常が起きたら

万一、煙が出る、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してお買い求めの販売店またはお近くの保守サ - ビスに修理をご依頼ください。



### 雷がなっていたら

雷を伴う悪天候時には、安全のためまたは雷による電圧の急激な上昇による装置の損傷を防ぐために、コンセントから電源プラグを抜いてください。



### 内部に異物や水を入れないでください

異物が中に入ったり水がこぼれたりした場合、火災や感電の原因となります。

万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはお近くの保守サ - ビスにご連絡ください。



### 海外では使用できません

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。火災や感電の原因となります。



### 改造しないでください

またカバー - や前面パネルを開けないでください



火災や感電の原因となります。



通電中の AC アダプタにふとんをかける、暖房器具の近くやホットカ - ペットなどの上に置かないこと  
火災、故障のおそれがあります。



### 電源コードを取り扱うときは次の点を守ること

・傷つけない ・加工しない ・コードをつぎたさない ・無理に曲げない ・ねじらない ・引っ張らない ・物を乗せない  
・机、家具などを乗せてつぶさない ・ドアなどにはさまない ・加熱しない ・熱器具に近づけない  
・クギやステ - プルで固定しない

守らないと、火災、感電、やけどのおそれがあります。もし、電源コードが傷ついたときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サ - ビスに依頼してください。



### 電源コードならびに、ACアダプタは必ず本体付属品を使用すること

電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜くこと。(電源コードを引っ張ると、コード破損の原因となります。)

付属の電源コードのプラグを、AC100V 以外の電源コンセントには絶対に差し込まないこと

電源プラグや AC アダプタは、コンセントの奥まで確実に差し込むこと

ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないこと

傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使用しないこと

上記内容を守らなかった場合、火災、発煙、感電、やけどの恐れがあります。



電源プラグや AC アダプタの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源を切り、

電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃すること

そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。長時間使用しないときはコンセントから抜き、ほこりが付着しないように保管してください。

## 注意



### 接続前の注意

コンピュータやハブ等と接続する場合は、各々の機器の取り扱い説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



### 適さない設置場所

次のような場所に置かないでください。動作不良・火災・感電やけがの原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所
- ・湿気や埃の多い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
- ・直射日光が当たる場所



### 濡れた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



### 移動させるときは

電源を OFF にし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



### 長期間ご使用にならないとき

長期間、この本装置をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



### お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



### 虫ピン、クリップなどの金属類を内部に入れないこと

ショートし、発煙、発火のおそれがあります。



ハードディスクに保存しているデータは、万一故障が起き、変化/消失した場合に備えて、定期的にバックアップしておいてください。

ハードディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。



本製品が冷えているときに、急に暖かい部屋に移動したり、暖房を入れたりすると、ハードディスクに結露が生じ、故障の原因となることがあります。このような時は、本製品が周囲の温度になじむまで電源を入れないでください。



振動や衝撃が発生するところに本製品を設置しないでください。また、移動する際は、電源を切り、衝撃を与えないようにしてください。振動や衝撃を与えると、故障の原因になります。

## 用途制限について

本製品は人の生命に直接関わる装置等(\*1)、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等(\*2)を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

\*1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものを言います。

(生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器)

\*2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のよう  
なものを言います。

(原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統  
およびシステム)

(集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス A 情報技術装置  
です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

# 安全にご使用いただくために

## 1. マニュアルをお読みください

安全と操作に関する説明をよく読み、理解した上でご使用ください。

## 2. リチウム電池

システムにはリチウム電池を使用しています。内部時計などに電源を供給していて、リチウム電池の寿命は 3～5 年です。本機の電源を落とすたびにシステムの時計が止まってしまう時などは、リチウム電池の交換時期と考えられます。リチウム電池の交換についてはテクニカルサポートにお問い合わせください。

## 3. 本マニュアルの記載について

### 表記・略称

本マニュアルでは、以下の表記・略称を使用しています。

Windows XP	: Microsoft Windows XP Home Edition と Professional
Windows Me	: Microsoft Windows Me
Windows 98	: Microsoft Windows 98 と Microsoft Windows 98 Second Edition
Windows 98SE	: Microsoft Windows 98 Second Edition のみ
Windows 2000	: Microsoft Windows 2000 Professional
Windows NT	: Microsoft Windows NT 4.0 SP6 以降
Mac	: Macintosh シリーズ
LAS-TNxxAP	: アクセスポイント機能とルータ機能が搭載された LAS-TN 製品

**黒表記** : 特定の説明に関連した補足的な内容であることを示しています。

**赤表記** : 事前に知っておいていただく必要のある注意事項を示しています。

注意事項を無視した取り扱いをすると、大切なデータを削除してしまう等、そのほか思わぬ問題が起こる可能性があります。赤表記の文章は必ずお読みください。

 : ヒントやアドバイス、あるいは用語の解説です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Internet Explorerは、米国Microsoft社の登録商標または商標です。  
Macintosh、AppleTalkは、米国アップルコンピュータ社の登録商標または商標です。  
その他、記載の商品名、会社名等は、その会社の登録商標または商標です

### 設定例

本マニュアルに記載されている IP アドレスなどの設定は、説明のための例に過ぎません。実際に設定する場合は環境に適した設定を行ってください。

安全にご使用いただくために	1
目次	6
はじめに	
構成品の確認と設置	8
各部名称	9
ご用意いただくもの	11
<b>第 1 章 本機の設定</b>	
1.1 管理者が行う設定手順の流れ	12
1.2 接続	13
1.2.1 ネットワークへの接続	13
1.2.2 電源への接続	13
1.2.3 電源の電源投入	13
1.3 Web ツールによる設定	14
<b>Web ツール(管理サイト)へのアクセス</b>	
1.3.1 TN セットアップツールについて	14
1.3.2 TN セットアップツールの使用方法	15
1.3.3 Web ツールの使用方法	19
1.3.4 Web ツール設定項目一覧	22
<b>基本設定</b>	
1.3.5 基本設定	23
1.3.6 日付/時刻の設定	25
<b>ネットワーク設定</b>	
1.3.7 TCP/IP 設定	26
1.3.8 無線 LAN 設定	27
<b>サーバ設定</b>	
1.3.9 ファイルサーバ設定	30
1.3.10 共有フォルダ設定	32
1.3.11 プリンタサーバ設定	36
1.3.12 DHCP サーバ設定	38
1.3.13 DNS 設定	40
1.3.14 WWW 設定	42
<b>ユーザー設定</b>	
1.3.15 ユーザー設定	44
<b>システム</b>	
1.3.16 システム情報	46
1.3.17 ログ閲覧	48
1.3.18 日付/時刻の設定	49
1.3.19 システムのレポート/シャットダウン	50
1.3.20 管理者パスワード設定	53

1.3.21 構成情報ファイルの作成	54
1.3.22 構成情報ファイルの復元	55
1.3.23 初期化	57
1.3.24 電源スイッチのロック/アンロック	58

## インタ - ネット / WAN

1.3.25 インタ - ネット / WAN への接続方法	59
1.3.26 PPPoE 接続設定	60
接続/切断	60
PPPoE 接続の設定	62
パケットフィルタリング簡易設定	63
Input ルールの設定	64
Forward/Output のルール設定	65

## 第 2 章 クライアント PC の設定

2.1 ユーザー設定手順の流れ	66
2.2 コンピュータをネットワークに接続する	67
2.3 TCP/IP の設定	68
2.3.1 TCP/IP の設定(Windows XP/2000 の場合)	68
2.3.2 TCP/IP の設定(Windows Me/98[SE]の場合)	71
2.3.3 TCP/IP の設定(Windows NT 4.0 の場合)	74
2.3.4 TCP/IP の設定(Mac OS)	76
2.3.5 クライアントカードの無効設定(Windows XP/2000 の場合)	77
2.3.6 クライアントカードの無効設定(Windows Me/98 の場合)	78
2.4 ファイルサーバとして利用する	80
2.4.1 ファイルサーバとして利用する(Windows)	80
2.4.2 ファイルサーバとして利用する(MacOS)	81
2.4.3 本機の検索(Windows)	83
2.5 インタ - ネットに接続する	85
2.5.1 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合	85
2.5.2 ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合	85
2.6 プリンタを使用する	86
2.6.1 ネットワークプリンタ共有及びスプール領域としての設定(Windows)	87
2.6.2 本機に接続したプリンタ共有及びスプール領域としての設定(Windows)	88

## 第 3 章 電源

起動/リセット/シャットダウン	90
-----------------	----

## 第 4 章 付録

4.1 ホームページの設置と公開方法(Web サーバとして使用する)	91
4.2 本機に登録したユーザーのホームページ設置及び公開方法	91
4.3 構成情報の保存と復元	92
4.4 システムを工場出荷時状態に復旧させる(Assist キー使用)	96
4.5 付属品を使用する(縦置きスタンド、識別マーカ)	98
4.6 用語集	99

# はじめに

## 構成品の確認と設置

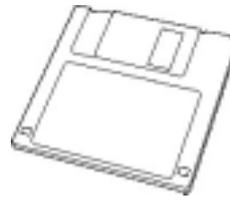
本体 1台



Assist キー 1個



フロッピー - ディスク 1枚



識別マーカ 全 18個



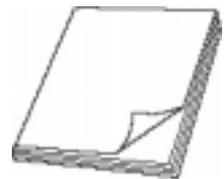
AC アダプタ 1個



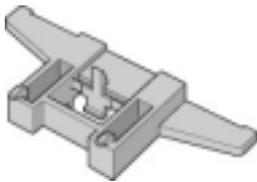
電源コード 1本



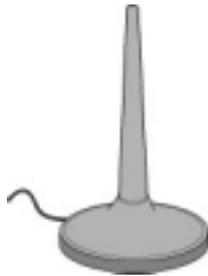
スタートアップガイド 1冊



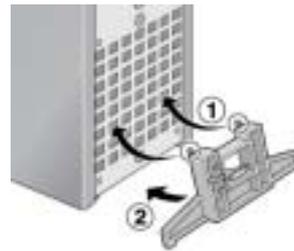
縦置きスタンド 1個



外付アンテナ(AP モデルのみ) 1個



縦置きスタンドの取り付け方



縦置きスタンドのはずし方



## 電源の接続方法

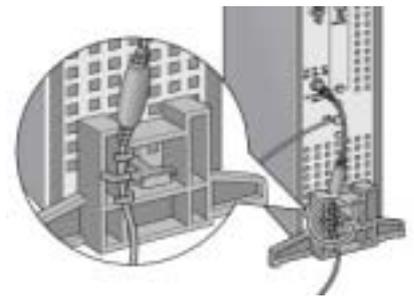
電源コードのアダプタ側を AC アダプタに差し込む。



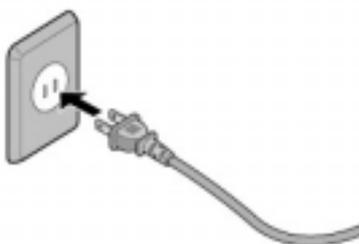
アース接続を行った後、AC アダプタの DC ケーブルを電源コネクタに接続



縦置きスタンドの突起部分に電源コードが抜けないようにコードを固定



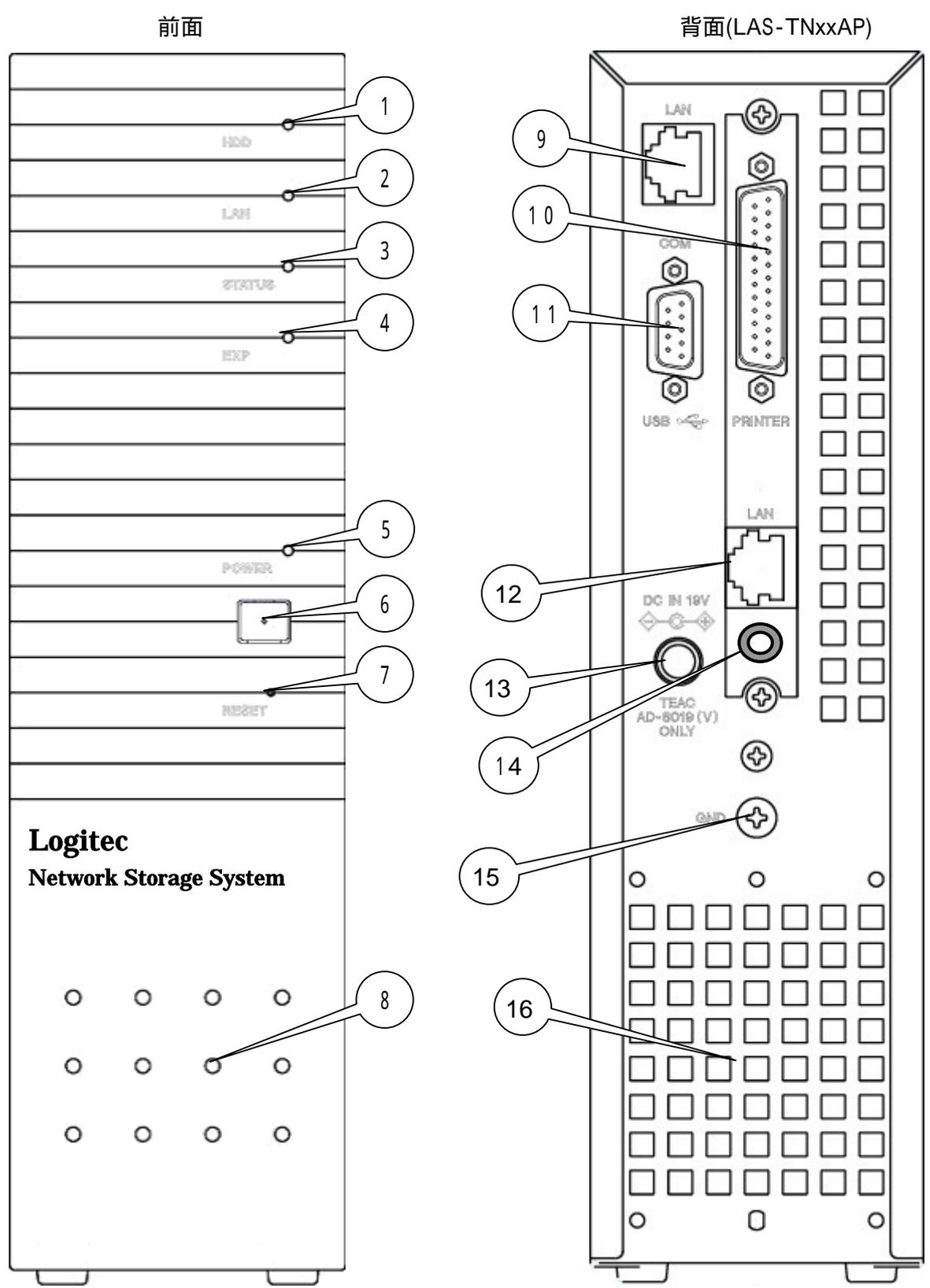
電源コードをコンセントに差し込みます



ストレート LAN ケーブルを用意し、LAN ポートとネットワークに接続



各部名称



## HD アクセス表示ランプ

ハードディスクへの読み書き時に点滅します。

## LAN アクセスランプ

ネットワークへのデータ送受信時に点滅します。

## ステータスランプ

ハードウェアエラーが検出された場合及び、DHCP によるエラー修正処理を待つ間、Assist キーによる復旧処理終了時に点灯します。 Assist キーによる復旧処理実行中には点滅します。

## EXP ランプ

ADSL 接続時、ネットワークへのデータ送受信時に点滅します。

## 電源表示ランプ

システム起動時及びシャットダウン中に点滅、システムが正常動作して使用可能状態のときに点灯します。

## 電源スイッチ

起動を行います。

## リセットスイッチ

システムを強制リセットします。

## ホ - ル

付属の識別マーカを取り付けます。



**警告**

ホ - ルには針金などを差し込まないでください。故障や、感電の恐れがあります。

## LAN ポート

ハブを介して、本機とコンピュータをストレート LAN ケーブルで接続します。

## プリンタポート

プリンタを接続できます。(25 ピンメス)

## シリアルポート

工場出荷時状態に復旧させる時に Assist キーを接続します。(9 ピンオス)

## EXP LAN ポート(LAS-TNxxAP のみ)

ADSL モデムに接続したクロス LAN ケーブルを接続します。

## 電源コネクタ

AC アダプタを接続します。

## アンテナ接続コネクタ (LAS-TNxxAP のみ)

外付けアンテナを接続します。

## GND 端子

アース接続のための端子です。

## 通風孔

本機内部の温度上昇を抑えます。 付属の縦置きスタンドを取り付けます。

## ご用意いただくもの

本機を正しく使うために必要な情報やハードウェアを準備します。

### ハードウェアの準備

#### ・ ストレートLANケーブル

本機、ハブ、コンピュータなどを接続するための、ストレートLANケーブルを用意します。  
必要な本数のストレートLANケーブルを用意してください。

#### ・ ネットワークハブ

本機を使用してハードディスク共有/プリンタ共有をするには、共有したいコンピュータからストレートLANケーブルを本機のLANポートに接続するためのハブが必要です。

#### ・ 設定用コンピュータ

本機の設定を行うために以下の仕様のコンピュータが必要です。

対応 OS : Windows XP, Me, 98SE, 2000, NT 4.0 SP6 以降

Web ブラウザ : Internet Explorer 4.0 以降もしくは Netscape Navigator 4.7 以降

フロッピーディスクドライブ装備

注) Windows 98(Second Edition 除く)、Macintosh からでは、設定を行うことができません。

#### ・ 100BASE-TX/10BASE-T イーサネットインターフェースカード

本機を使用してハードディスク共有/プリンタ共有をするには  
共有したい全てのコンピュータにイーサネットインターフェースカードの装着が必要です。

#### ・ イーサネットが正常に動作し、TCP/IP プロトコルが利用できる環境

本機を使用してハードディスク共有、プリンタ共有、インターネット共有、無線のアクセスポイント共有をするには、共有したい全てのコンピュータにTCP/IP プロトコルが必要です。

#### ・ IEEE802.11b 準拠の無線 LAN カードアダプタ (LAS-TNxxAP のみ)

インフラストラクチャモードに対応しています。

無線LAN通信を行うためには、無線LAN通信をしたいすべてのコンピュータに最高伝送速度が11Mbpsの無線LANカードアダプタが必要です。

LAS-TNxxAP が対応している無線LANカードアダプタは、最高伝送速度11Mbpsの無線LANカードアダプタです。

本機搭載の無線LANカードは11Mbpsカードであるため、通信規格が異なる2Mbpsカードや10Mbpsカード、5.2GHzカードからではアクセスできません。

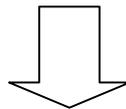
# 第 1 章 本機の設定

## 第1章 本機の設定

### 1.1 管理者が行う設定手順の流れ

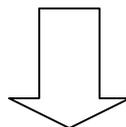
#### 接続

- ネットワークへ接続を行います。 [1.2.1 ネットワークへの接続]  
電源への接続をします。 [1.2.2 電源への接続]  
電源を ON にします。 [1.2.3 電源投入]



#### 基本設定

- TN セットアップツールで Web ツールを起動します。 [Web ツール(管理サイト)へのアクセス]
- ・ DHCP サーバが存在する場合 [1.3.2 TN セットアップツールの使用方法 A]より
  - ・ DHCP サーバが存在しない場合 [1.3.2 TN セットアップツールの使用方法 B]より
  - ・ Web ツールの起動 [1.3.2 Web ツールの起動]
- 基本設定を行います。 [1.3.5 基本設定] (必須)  
[1.3.6 日付/時刻の設定] (必須)  
管理者用パスワードを変更します。 [1.3.20 管理者パスワード設定より] (必須)



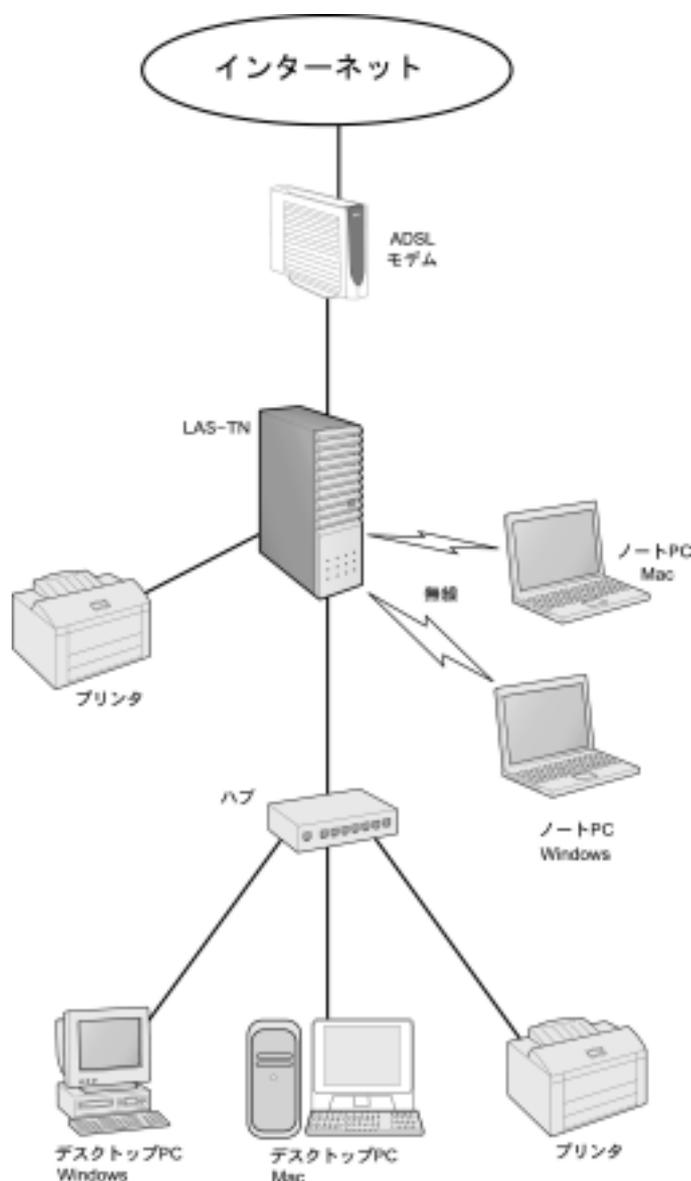
#### 機能ごとの設定

- 各種、必要時の設定を行います。
- 無線 LAN の設定を行います。 [1.3.8 無線LAN設定] (無線 LAN 使用時は必須)
  - ファイルサーバ設定 [1.3.9 ファイルサーバ設定] (必要時)
  - AppleTalk 設定 [1.3.10 共有フォルダ設定] (必要時)
  - DHCP サーバ設定 [1.3.12 DHCP サーバ設定] (必要時)
  - ユーザー設定 [1.3.15 ユーザー設定] (必要時)
  - インタ - ネット接続 [2.5 インタ - ネットに接続する] (必要時)
  - プリンタサーバ [2.6 プリンタサーバを使用する] (必要時)
  - ホームページの設置と公開方法 [4.1 ホームページの設置と公開方法] (必要時)
  - etc.....

## 1.2 接続

### 1.2.1 ネットワークへの接続

ストレートLANケーブルを用意し、本機のLANポートとネットワークハブに接続し、ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続します。LAS-TNxxAP の場合は上記内容に加え、外付けアンテナを本機背面のアンテナ接続コネクタと接続してください。)以下の図は、本機のネットワーク接続例です。



### 1.2.2 電源への接続

電源コードをACアダプタに差し込み、ACアダプタのDCケーブルを本機背面の電源コネクタに接続します。そして、電源コードをコンセントに差し込みます。

電源の接続方法(P8)を参照してください。

### 1.2.3 電源の投入

本機前面中央にある電源スイッチを押して、電源をONにします。前面の電源表示ランプが点滅します。

電源表示ランプは起動中に点滅し、正常起動終了後は点灯します。

シャットダウン手順については、[第3章 電源]を参照してください。

#### 停電対策として

停電時にデータの消失やシステムが壊れる場合があります。その為、停電対策として、市販のUPS(無停電電源)との併用を推奨します。(本機背面のシリアルポートからのシャットダウン処理は行えません。また、電気復旧時の電源復旧機能はありません。)

## 1.3 Web ツールによる設定

### Web ツール(設定画面/管理サイト)へのアクセス

本機の設定は Web ツールを使用して行います。

Web ツールへのアクセス方法は以下の方法があります

- ・ TN セットアップツールを使用する。
- ・ Web ブラウザに直接 URL を入力する。  
「 http://(本機の IP アドレス):8888/nas/ 」  
例) 「 http://192.168.1.50:8888/nas/ 」

### 1.3.1 TN セットアップツールについて

TN セットアップツールは、Web ツールにアクセスするためのソフトウェアです。

ここでは、TN セットアップツールの紹介と、インストール/アンインストール方法を説明します。

詳しい使用方法につきましては、「1.3.2 TN セットアップツールの使用方法」を参照してください。

#### 機能

1. LAN 上に存在する本機の検出。
2. DHCP サーバが存在しない環境下で、本機に仮 IP アドレスを与える。
3. Web ツールの起動。
4. 本機構成情報のロ - カルディスクへのダウンロード。
5. ロ - カルディスクに保存された本機構成情報のアップロード。

#### 使用環境

TN セットアップツールは、Windows XP, Me, 98SE, 2000, NT 4.0 SP6 以降で動作し、Internet Explorer 4.0 以降もしくは Netscape Navigator 4.7 以降がインストール済、フロッピー - ディスクドライブ付のコンピュータで使用することができます。

注) TN セットアップツールは Windows 98(Second Edition 除く)、Macintosh では使用できません。

#### インストール方法

設定用コンピュータのフロッピー - ディスクドライブに添付のフロッピー - ディスクを挿入し、Setup.exe をダブルクリックして、画面の指示に従いながらインストールを行ってください。

#### アンインストール方法

以下の方法でアンインストールをすることができます。

[マイコンピュータ] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除] (Windows XP の場合のみ[スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]) から [TN セットアップツール] を選択します。

#### 注意事項

ネットワークが正しく動作していない場合は、正しく動作しません。

Windows XP, 2000, NT 4.0 で使用する場合は、管理者権限でログインしないと正しく動作しません。

プロキシサーバを使用しないでください。プロキシサーバを使用すると、Web ブラウザがプロキシ経由でインターネットに接続するようになっているため Web ツールが正常に起動しない場合があります。

無線による初期設定は電波の状況によっては、正しく設定ができない場合があります。初期設定は有線接続で行うことをお勧めします。

LAS-TNxxAP は AP to AP(Access Point to Access Point)には対応していません。複数の LAS-TNxxAP を共有したい場合は、ハブを介してそれぞれの LAS-TNxxAP をネットワークに加えてください。

ネットワーク上に未設定の LAS-TN シリーズを二台以上存在させないでください。二台以上つなげる時は一台の LAS-TN の設定を完了した後、もう一台の LAS-TN を接続し設定を行ってください。

設定用コンピュータにイーサネットカードが二枚以上有効になっている(動作している)環境下では、正しく動作しません。設定を行う場合には、一枚のみ有効にした環境に変更しご使用ください。

## 1.3.2 TN セットアップツールの使用方法

前ページで説明した TN セットアップツールの機能についての詳細を説明します。

クライアントコンピュータにイーサネットカードが二枚以上有効になっている(動作している)環境下では、正しく動作しません。二枚以上ご使用の場合は、一枚のみの有効にした環境に変更し、ご使用ください。

### LAN 上に存在する LAS-TN シリーズの検出

TN セットアップツールの使用法は、LAN 上に DHCP サーバが存在しているか、存在していないかで異なります。

LAN 上に DHCP サーバが存在する場合

A. LAN 上に存在する LAS-TN シリーズの検出(DHCP サーバ有)

LAN 上に DHCP サーバが存在しない場合

B. LAN 上に存在する LAS-TN シリーズの検出(DHCP サーバ無)

の設定方法にしたがって作業を行ってください。

### A. LAN 上に存在する LAS-TN シリーズの検出 (DHCP サーバ有)

LAN 上に存在する LAS-TN シリーズの台数とそれらの IP アドレスを調べます。DHCP サーバが存在する LAN 上に新規に本機を接続したときは、以下の手順で LAS-TN シリーズの検出を行ってください。

- (1) 本機のネットワーク環境上において、適正な IP が設定用コンピュータにも、設定されている事を御確認ください。
- (2) TN セットアップツールを起動します。
- (3) 「ネットワーク環境の調査中...」と表示され、ネットワーク環境の調査を行います。(下図)



- (4) 設定用コンピュータ自身と DHCP サーバから IP アドレスを与えられている本機を検出します。また、すでに LAN 上で稼働している他の LAS-TN シリーズがある場合は、それらも検出します。TN セットアップツール上に表示される MAC アドレスは、本機底面ラベルに記載されています。



- (5) 引き続き「Web ツールの起動」(P18 ページ)の作業より設定を行ってください。

## B. LAN 上に存在する LAS-TN シリーズの検出(DHCP サーバ無)

本機は出荷時の設定で DHCP クライアントに設定されています。そのため DHCP サーバが存在しない環境下では、TN セットアップツールを起動させ本機に仮の IP アドレスを与える必要があります。

以下の説明では、設定用コンピュータの TCP/IP 設定が、下記のような固定値を設定している場合です。

例) IP アドレス            192.168.1.100  
      サブネットマスク    255.255.255.0

以下の手順で本機に仮 IP アドレスを与えます。

- (1) 設定用コンピュータにインストールした TN セットアップツールを起動します。
- (2) 「ネットワーク環境の調査中...」と表示され、ネットワーク環境の調査を行います。(下図)



- (3) 設定用コンピュータ自身を検出するとともに、すでに LAN 上で稼動している他の LAS-TN シリーズがある場合は、それらを検出し表示します。「検索ボタンを押して LAS-TN シリーズの検索を行ってください。」と表示されたら [OK] をクリックしてください。(下図)

最初の検索では、すでに稼動している LAS-TN シリーズを検出するために行います。

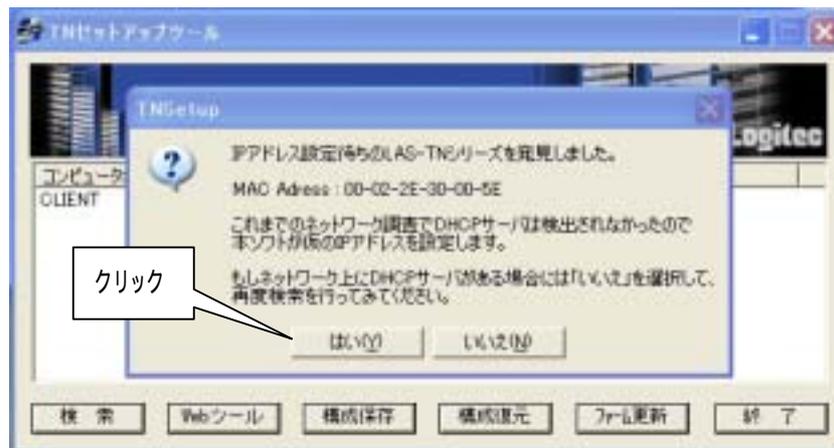
すでに稼動(設定が完了)している LAS-TN シリーズが存在する場合には (4) へお進みください。



- (4) [検索] をクリックして、今回ネットワーク設定を行う本機を検索してください。

(5) IP アドレスが未設定な本機が見つかる と「IP アドレス待ちの LAS-TN シリーズを発見しました。…」

これまでのネットワークの調査で DHCP サーバは検出されなかったので本ソフトが仮 IP アドレスを設定します。もし LAN 上に DHCP サーバがある場合には「いいえ」を選択し、再度検索を行っててください。」と表示されます。[はい]をクリックします。(下図)



もしネットワークに DHCP サーバが存在する場合には、[いいえ] をクリックし、「IP アドレス待ちの LAS-TN シリーズを発見しました。」と表示されるまで、再調査を行ってください。

(6) [はい] をクリックすると、「LAS-TN シリーズに仮 IP アドレスを設定中…」と表示され、TN セットアップツールが本機に仮の IP アドレスを与えます。(下図)



- (7) 仮の IP アドレスが与えられると、「LAS-TN シリーズが見つかりました。仮 IP アドレス: xxx . xxx . xxx . xxx。 Web ツールの LAS-TN シリーズ初期設定サイトをオ - プンします。 こちらのサイトでまず LAS-TN シリーズに適切な固定 IP アドレスを設定してください。」と表示されますので、 [OK] をクリックしてください。



- (8) 「OK」をクリックすると、設定用コンピュータのブラウザが起動し、Web ツールに接続されます。



TN セットアップツールが与えた仮の IP アドレスは、Web ツールで適切な固定 IP アドレスを設定するまでの暫定的なものです。その為、「2時間」を経過すると仮の IP アドレスは失われます。  
仮の IP アドレスのまま運用しないでください。

- (9) 引き続き、Web ツールの使用方法より設定を行ってください。

### Web ツールの起動

TN セットアップツールを実行したのち検出された LAS-TN シリーズを選択し、[Web ツール] をクリック (下図参照) してください。設定用コンピュータの Web ブラウザが起動して Web ツールが使用できるようになります。

DHCP サーバがない環境では、仮の IP アドレスが設定されると、自動的に Web ツールが起動します。



### 本機構成情報のロ - カルディスクへのダウンロード/アップロード

「構成保存」および「構成復元」ボタンについては、[4.3 構成情報の保存と復元方法]を参照してください。

### ファーム更新ボタンについて

弊社テクニカルサポートからの指示があった場合にのみ使用してください。誤って使用してしまうと、本機が正常に動作しなくなる可能性がありますのでご注意ください。

### 1.3.3 Web ツールの使用方法

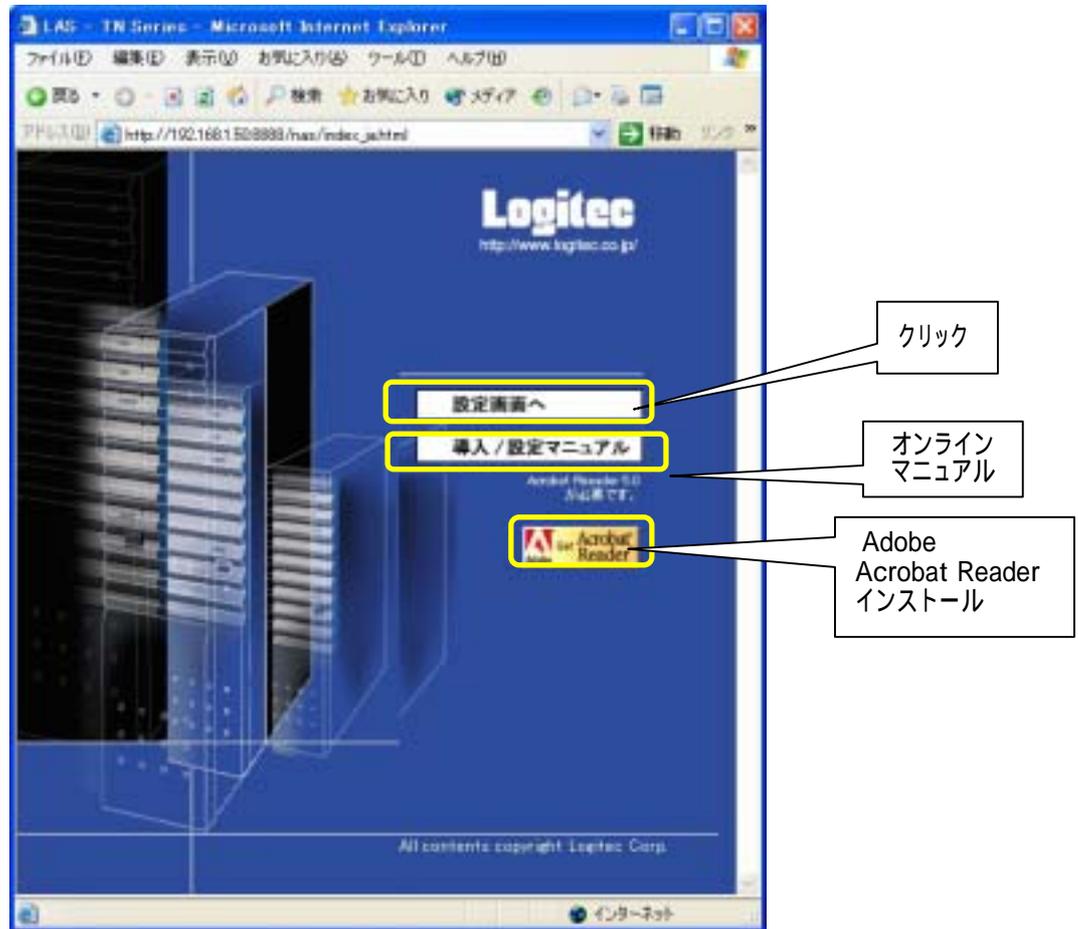
本機への設定は、Web ツールを使用して行います。

以下の説明では Web ツールの使用方法を説明します。

本マニュアルでは、Web ブラウザに Microsoft Internet Explorer を使用しています。

Web ツール内の各項目の詳しい設定方法につきましては「1.3.4 Web ツール設定項目一覧」をご覧ください

(1)お使いの Web ブラウザ上に TOP ペ - ジが表示されたら、[設定画面へ] をクリックしてください。(下図)



(2)管理者ユーザー名とパスワードの入力が求められます。

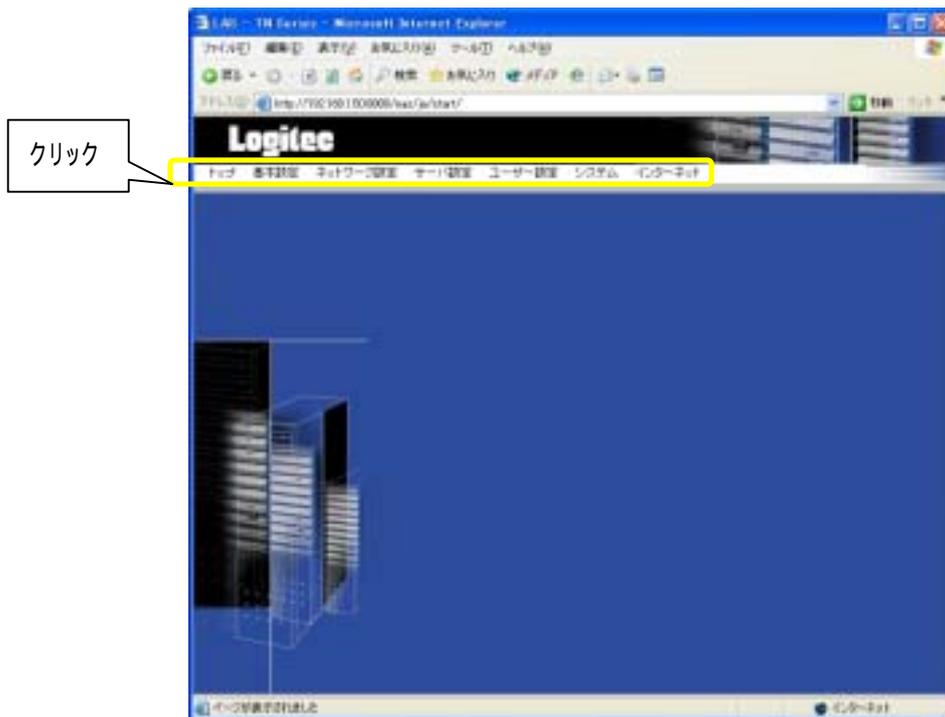
Web ツールでの管理者ユーザー名、パスワードは以下のように設定されています。

ユーザー名 : admin (半角小文字で入力)  
パスワード : なし (空欄)

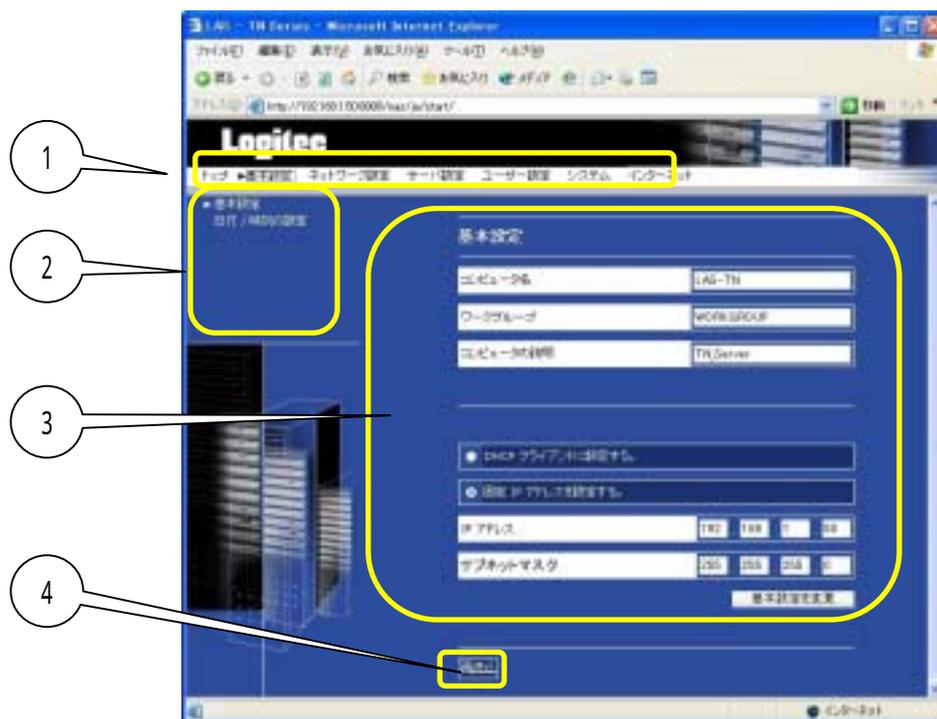
管理者ユーザー名を「admin」と入力して、[OK] をクリックしてください。(下図)



(3)メインメニュー - が表示されたら、項目を選択してクリックしてください。(下図)



(4)クリックしたメニュー - のサブメニュー -、設定項目が表示されます。必要に応じて設定を行ってください。



メインメニュー -

設定したい項目をクリックしてください。

サブメニュー -

設定したい項目をクリックした後に表示される詳細設定メニュー - です。

設定項目

[メインメニュー -] - [サブメニュー -] で選択した項目の設定を行うことができます。

再読み込みボタン

画面の更新など、再読み込みしたいときにクリックします。

Web ツールでは、設定項目に入力した後、各項目ごとに用意されている[変更] をクリックすることで設定が完了します。変更内容は、設定項目の最上部に表示されます。

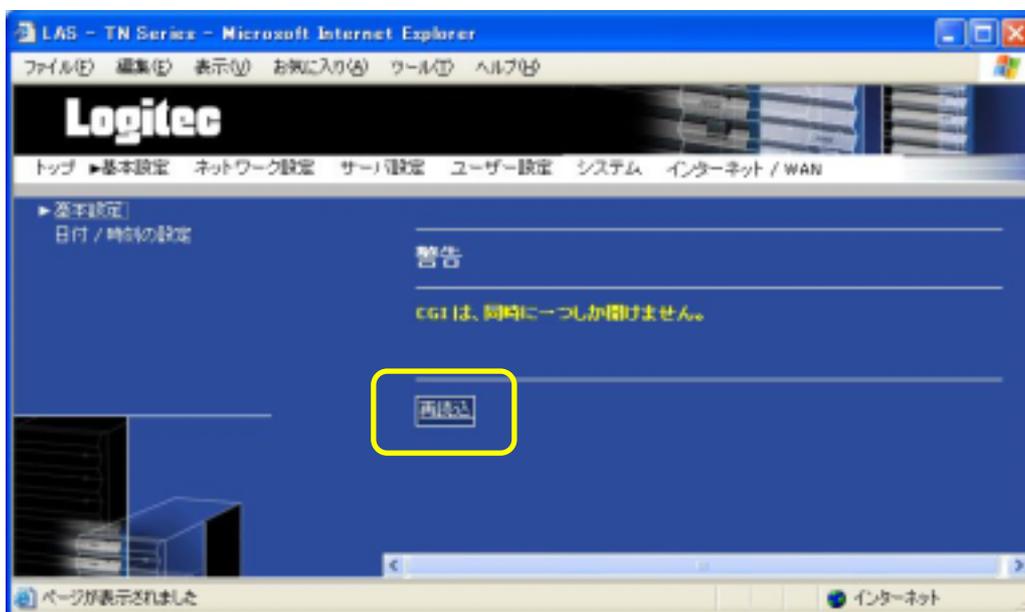
IP アドレスを変更した場合などは、自動的に変更後の IP アドレスへのリンクが表示されます。

(IP アドレスを変更した場合)



### 注意事項

各項目を続けて何度もクリックすると、"CGI は同時に一つしか開けません"と表示されることがあります。(下図) この様な場合には、2~3 秒後に [再読込] をクリックしてください。



### 1.3.4 Web ツール設定項目一覧

[本機設定画面] のメインメニュー - には、以下の項目が表示されます。

- 「 \* 」がついている項目は、管理者サイトにアクセスしてから**最低限設定しなければいけない項目**です。
- 「 . 」がついている項目は、必要時に設定を行う項目です。

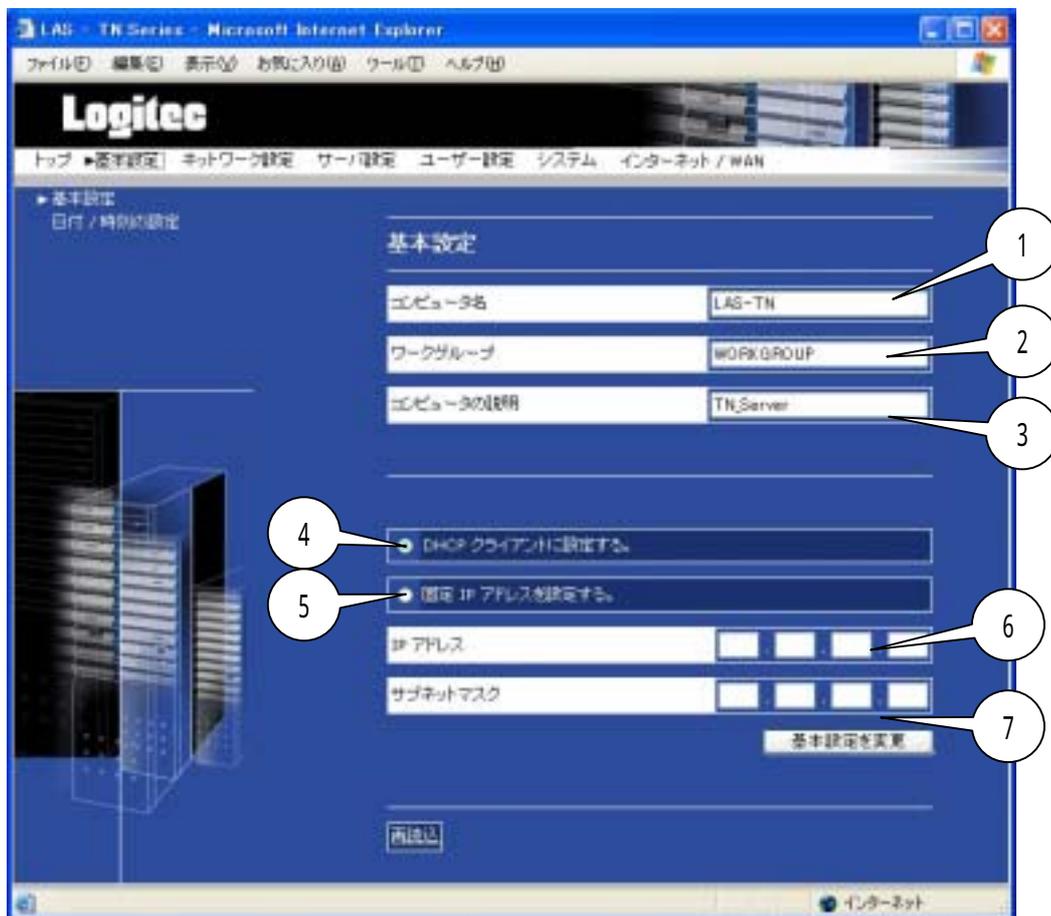
- ・ TOP… TOP ペ - ジに戻ります。
  - \* 基本設定
    - \* **基本設定** …… コンピュ - タ名などの設定を行います。
    - \* **日付/時刻の設定** …… 日付/時刻の設定を行います。
- ・ ネットワーク設定
  - ・ TCP/IP 設定 …… TCP/IP の設定を行います。
  - ・ 無線 LAN 設定 …… 無線 LAN の設定を行います。(LAS-TNxxAP のみの)
- ・ サーバ設定
  - ・ ファイルサーバ設定 …… ファイルサーバとしての設定を行います。
  - ・ 共有フォルダ設定 …… 共有フォルダの設定を行います。
  - ・ プリンタサーバ設定 …… 本機に接続したプリンタ、ネットワークプリンタの設定を行います。
  - ・ DHCP サーバ設定 …… DHCP サーバとする場合の設定を行います。
  - ・ DNS 設定 …… ADSL 接続するときのみご使用できます。
  - ・ WWW サーバ設定 …… **サポートしておりません。**
- ・ ユーザー設定
  - ・ ユーザー設定 …… ユーザー情報の設定を行います。
- ・ システム
  - ・ システム情報 …… 本機のバ - ジョンなどシステムの情報を表示します。
  - ・ ログ閲覧 …… サポートしておりません。
  - ・ 日付/時刻の設定 …… 日付/時刻の設定を行います。
  - ・ システムのリポート/シャットダウン…… システムのリポート/シャットダウン等の実行を行います。
  - \* **管理者パスワード設定** …… 管理者パスワードの変更を行います。
  - ・ 構成情報ファイルの作成 …… システムの構成の保存を行います。
  - ・ 構成情報の復元 …… システムの構成の復元を行います。
  - ・ 初期化 …… 設定/フォ - マットの実行を行います。
  - ・ 電源スイッチのロック/アンロック …… 本機の電源スイッチの設定を行います。
- ・ インタ - ネット/WAN
  - ・ EXP LAN …… **サポートしておりません。**
  - ・ PPPoE 接続 …… PPPoE 接続の設定を行います。
    - ・ 接続/切断 …… PPPoE 接続/切断設定を行います。
    - ・ PPPoE 設定 …… PPPoE の設定を行います。
    - ・ パケットフィルタリング簡易設定 …… パケットフィルタリングの簡易設定を行います。
  - ・ 外付けアナログモデム …… **サポートしておりません。**

## 基本設定

### 1.3.5 基本設定 (必須)

コンピュータ名など本機を使用する上で最低限設定しなければならない項目です。

設定を有効にするためには、各項目を入力後、[基本設定を変更] をクリックします。



#### コンピュータ名

ネットワーク上で本機を識別する名前を設定します。

ほかのコンピュータと重複していない名前を入力します。

初期値: LAS-TN

半角英数字, '-' (ハイフン), '\_' (アンダーバー) 合計 15 文字以内で入力してください。

#### ワークグループ

本機が属しているグループの名前を設定します。

既存のワークグループ名を入力するか、別の新しい名前を入力します。

初期値: WORKGROUP

半角英数字, '-' (ハイフン), '\_' (アンダーバー) 合計 15 文字以内で入力してください。

#### コンピュータの説明

本機の説明を指定します。

他のユーザーがネットワーク上で本機を参照するときに指定した説明が表示されます。

初期値: TN\_Server

半角英数字, '-' (ハイフン), '\_' (アンダーバー) 合計 43 文字以内で入力してください。

IP アドレスを自動的に取得する。(DHCP クライアントに設定)  
DHCP サーバがある場合には、「ON」のままお使いください。  
初期値: ON

DHCP サーバは、コンピュータやその他の機器が起動する際に、自動的に IP アドレスを提供します。

IP アドレスを指定する  
任意の IP アドレスを設定することができます。なお、DHCP サーバがある場合には、「OFF」のままお使いください。  
初期値: OFF

ネットワーク上に DHCP サーバがない場合や、DHCP サーバがある場合でも、任意の IP アドレスを設定したい場合には、「ON」にして、以下の IP アドレスの欄に任意の IP アドレスを入力してください。

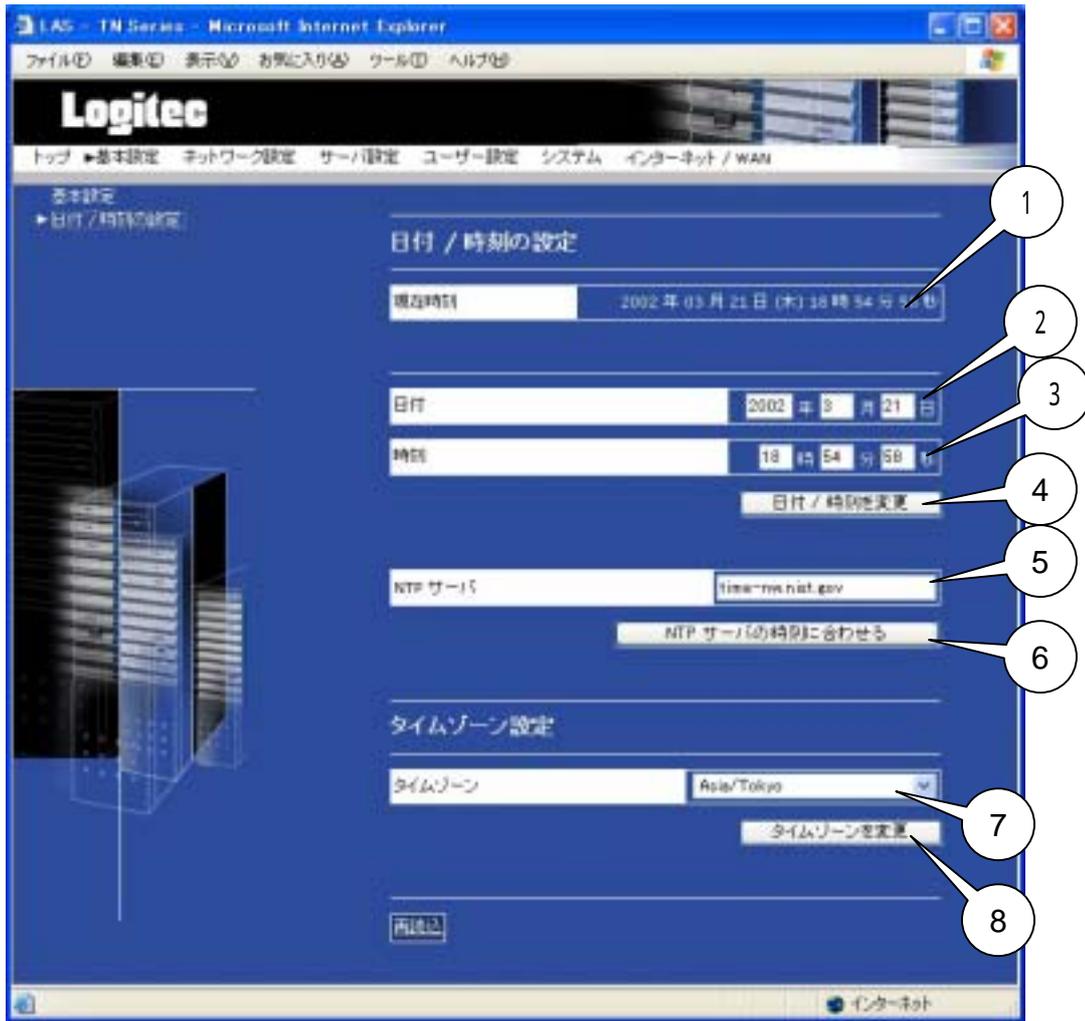
IP アドレス  
本機に割り当てる IP アドレスを指定します。  
DHCP サーバがある場合には、空白のままお使いください。  
初期値: 空白

実際にネットワーク上で使用しているコンピュータの IP アドレスと同じクラスでその上、まだネットワーク上で使用していない IP アドレスを設定してください。

サブネットマスク  
本機のサブネットマスクを指定します。  
コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを使用してください。  
DHCP サーバがある場合には、空白のままお使いください。  
初期値: 空白

## 1.3.6 日付/時刻の設定 (必須)

この[1.3.6 日付/時刻の設定]を変更すると、[1.3.18 日付/時刻の設定]にも反映されます。



## 現在の日付/時刻

本機に設定されている現在の日付/時刻を表示します。

日付(NTPサーバの設定を行ったときは設定不要)

年月日を入力します。 初期値:本機に設定されている日付

時間(NTPサーバの設定を行ったときは設定不要)

時間を入力します。 初期値:本機に設定されている時刻

## 日付時刻の変更

クリックすると、 で設定した値に更新されます。

## NTPサーバ

アクセスを行うNTPサーバを入力してください。(NTPサーバは正確な標準時刻を知らせるサーバです)

初期値: time-nw.nist.gov

## NTPサーバの時刻に合わせる

クリックを行うと、設定したNTPサーバに時刻を合わせます。

なお、常に設定したNTPサーバと時刻を合わせていませんので、定期的をクリックしてください。

## タイムゾーン

タイムゾーンの選択をしてください。(通常はそのままの設定でお使いください。)

初期値: Asia/Tokyo

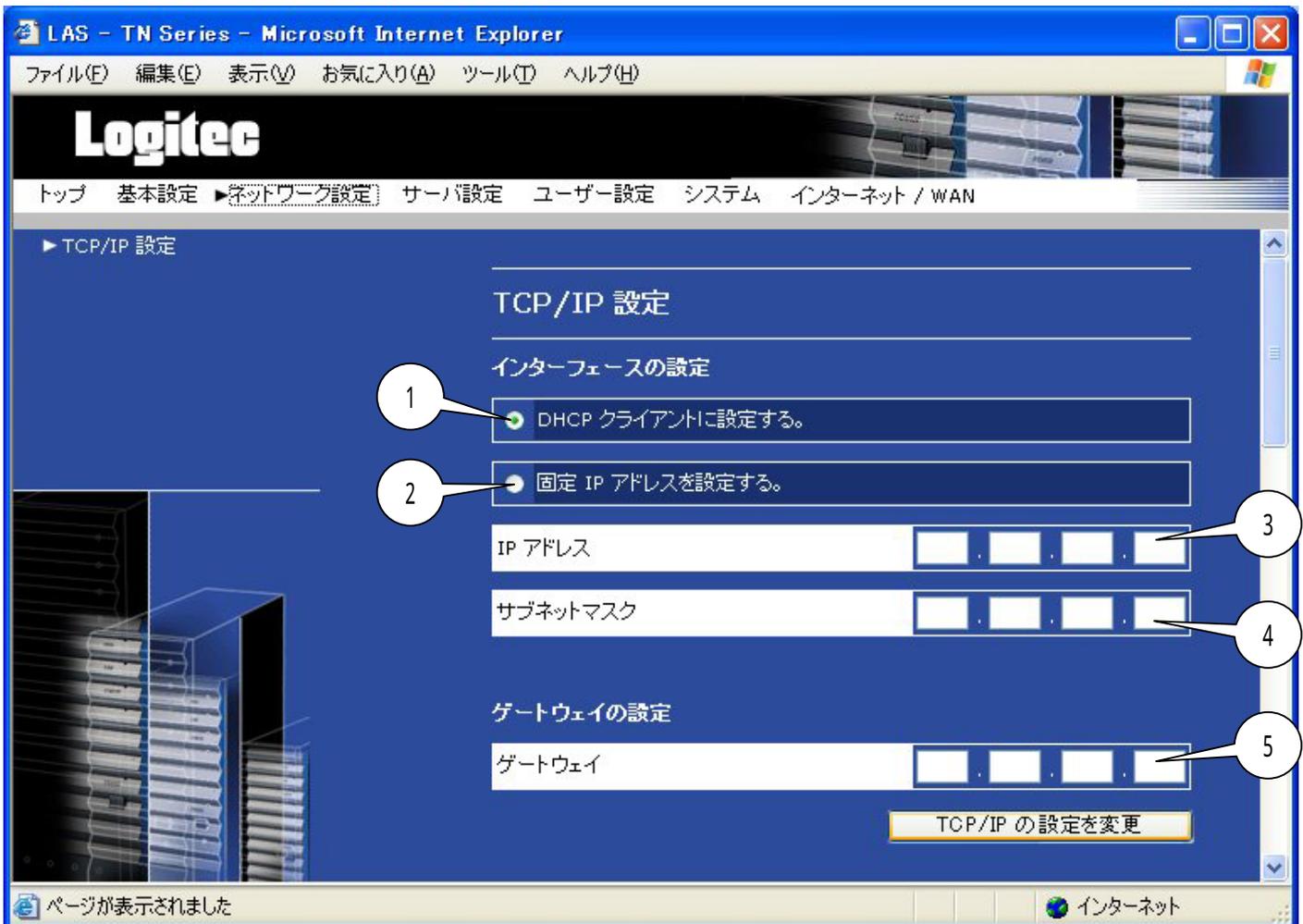
## タイムゾーンを変更

クリックすると で設定した内容に更新されます。

## ネットワーク設定

### 1.3.7 TCP/IP 設定 (必要時)

TCP/IP は、現在最も普及しているインタ - ネットの標準プロトコルです。プロトコルとは、ネットワーク経由でコンピュータが通信するための規約で、コンピュータが通信するためには両方が同じプロトコルを使用している必要があります。



IP アドレスを自動的に取得する。(DHCP クライアントに設定する)

ネットワーク上に DHCP サーバがある場合に選択する事ができます。初期値:ON

IP アドレスを指定する。

ネットワーク上に DHCP サーバがない場合にはこちらを選択し、下記の値を入力してください。

初期値:OFF

IP アドレス

本機に割り当てる IP アドレスを指定します。(ネットワーク上で IP が重複しないように注意してください。)

初期値:空白

サブネットマスク

本機のサブネットマスクを指定します。

コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを使用してください。初期値:空白

ゲートウェイ

ネットワーク上にルータやゲートウェイが存在する場合のみ IP アドレスを入力します。初期値:空白

[1.3.5 基本設定]の設定内容と重複しています。この「1.3.7 TCP/IP 設定」の重複している項目で異なる設定をすると[1.3.5 基本設定]の項目にも反映されます。各項目を入力後、[TCP/IP の設定を変更] をクリックします。

## 1.3.8 無線 LAN 設定 (必要時 : LAS-TNxxAP のみ)

この項目を設定すると、LAS-TNxxAP をアクセスポイントとして使用できます。

WEP の設定を有効にしますと、無線 LAN 経由で転送されるデータはすべて暗号化され、同じ音号(WEP) Key を持たない無線機器からの不正アクセス防止と、第三者による無線パケットの傍受を防ぐことができます。

無線 LAN 設定

ESS-ID: WLANESSID (1)

チャンネル: 1 (2)

3  64/128 bit WEP を無効にする。

4  64 bit WEP を有効にする。

64 bit WEP Key用 パスフレーズ (5)

64 bit WEP Keyに変換 (6)

7  64 bit WEP Key 1  
 64 bit WEP Key 2  
 64 bit WEP Key 3  
 64 bit WEP Key 4

8  128 bit WEP を有効にする。

128 bit WEP Key用 パスフレーズ (9)

128 bit WEP Keyに変換 (10)

128 bit WEP Key (11)

無線 LAN の設定を変更

ページが表示されました

インターネット

ESS-ID

ESS-ID を入力します。

LAN-TNxxAP にアクセスを行う他のコンピュータにも同じ ESS-ID を設定してください。

**31 文字以内で入力してください。半角英数字及び、"-"(アンダ - バ - )以外は使用できません。**

初期値: WLANESSID

チャンネル

チャンネルを入力します。

LAN-TNxxAP にアクセスを行う他のコンピュータにも同じチャンネルを設定してください。

1 ~ 14 までの数値が選択可能です。

初期値: 1

64/128 bit WEP を無効にする

64 bit WEP/128bit WEP 機能を共に OFF にします。

64 bit WEP を有効にする。

64 bit WEP を有効にする場合は、この項目を選択し下記 の値を入力してください。

初期値: OFF

パスフレーズ(パスフレーズを入力後 を押すと、 に 16 進数の WEP Key を簡単に入力することができます。)

64 bit WEP Key 文字列を入力します。

**31 文字以内で入力してください。半角英数字以外は使用できません。**

**WEP Key への 16 進数生成アルゴリズムは「RC4」を使用しています。**

64 bit WEP Key に変換

上記 で指定された文字列を 4 種類の 64bit 対応 WEP Key 変換し の欄に入力します。

64 bit WEP Key 1 ~ WEP Key 4

16 進数で 64 bit WEP Key を入力することができます。

初期値: 空白

128 bit WEP を有効にする。

128 bit WEP を有効にする場合は、 を選択し下記 の値を入力してください。

初期値: OFF

パスフレーズ(パスフレーズを入力後 を押すと、 に 16 進数の WEP Key を簡単に入力することができます。)

**31 文字以内で入力してください。半角英数字以外は使用できません。**

**WEP Key への 16 進数生成アルゴリズムは「RC4」を使用しています。**

128 bit WEP Key に変換

上記 で指定された文字列を 128 bit 対応 WEP Key 変換し の欄に入力します。

128 bit WEP Key

16 進数で 128 bit WEP Key を入力することができます。

**各項目を入力後、[無線 LAN の設定を変更] をクリックして設定を更新してください。**

### 64 bit WEP 機能を使う場合

1. と の設定を行います。
2. にチェックを入れ、WEP の設定を有効にします。
3. の Key1 にチェックを入れてください。 (Key1以外にチェックを入れないで下さい。)
4. の Key1 に 16 進数で WEP Key を入力してください。
5. の Key2 ~ Key4 には Key1 と全て同じ Wep Key を入力してください。
6. 最後に「無線 LAN の設定を変更」をクリックしてください。

### 128 bit WEP 機能を使う場合

1. と の設定を行います。
2. にチェックを入れ、WEP の設定を有効にします。
3. の Key に 16 進数で WEP Key を入力してください。
4. 最後に「無線 LAN の設定を変更」をクリックしてください。

**無線 LAN カードの種類によってまれに通信できないものがあります。  
その為、弊社にて推奨している無線 LAN カードをお使いください。**

推奨無線 LAN カードにつきましては、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.logitec.co.jp/>

クライアントパソコンの無線カードの WEP Key 設定には または の値を設定してください。

無線 LAN アクセスにより WEP の設定を変更した場合は、ブラウザへのアクセスができなくなります。無線 LAN カードの WEP の設定も同じ値に変更してください。

無線 LAN を使用するには、接続を行うコンピュータに最高伝送速度 11Mbps(bit per sec)の無線 LAN カ - ドアダプタが必要になります。

無線クライアントパソコンの設定手順はクライアントに搭載されているカードによって異なります。お客様使用のカード「設定マニュアル」を参考に、クライアント無線カードの TCP/IP,ESS-ID,WEP 等の通信に必要な設定を行ってください。

絶対に Key1以外にチェックを入れないで下さい。Key1以外にチェックを入れますと通信出来なくなりことがあります。

**ESS-ID** (Extended Service Set ID)

IEEE802.11 で定められた最も簡単なセキュリティ機能です。

ESS-ID は、アクセスポイントと PC カ - ドで各々設定することができ、同じ ID で設定したグル - プのみ通信を行うことができます。

**WEP** (Wired Equivalency Privacy)

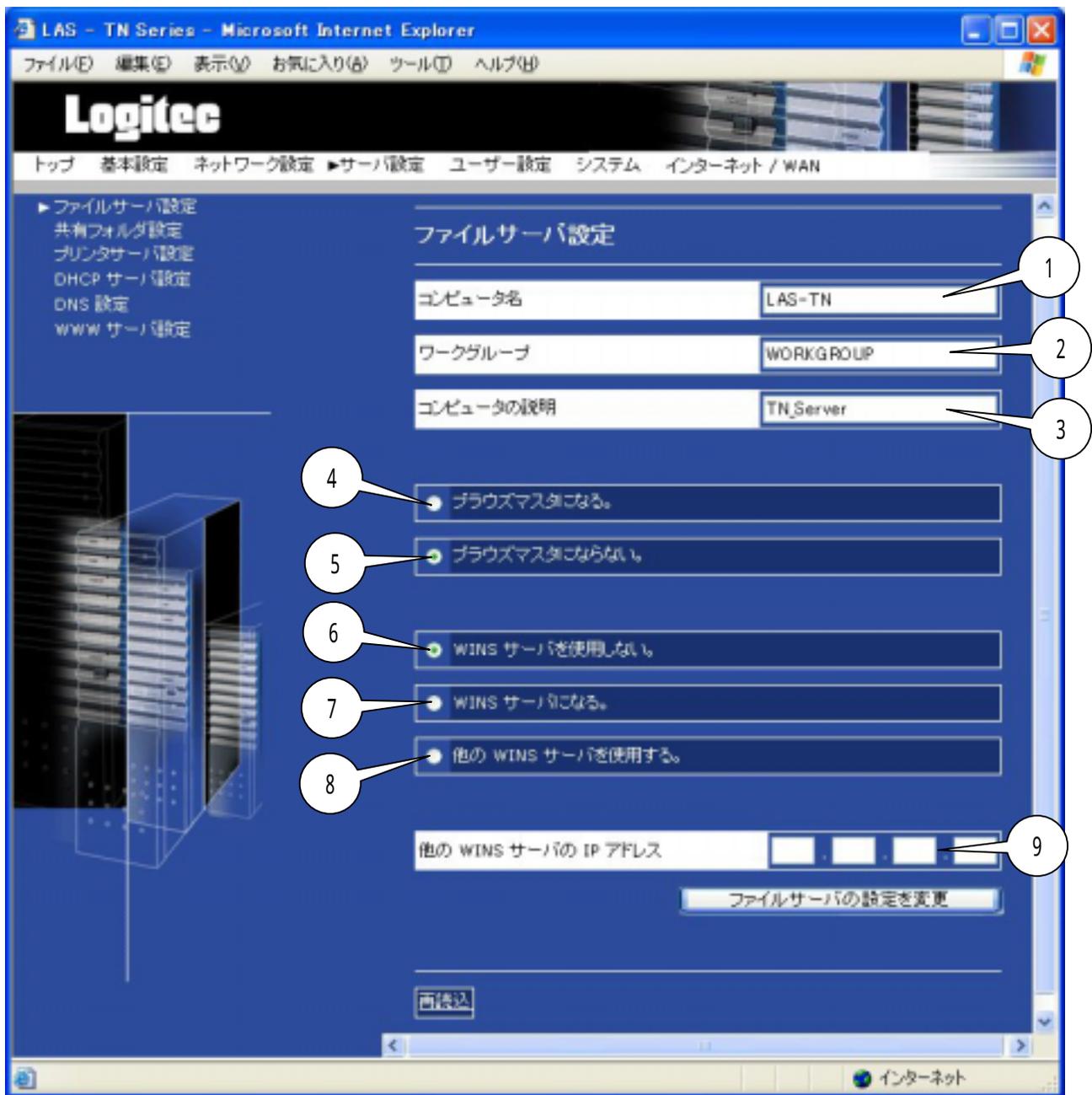
WEP は無線 LAN の暗号化規格で、LAS-TNxxAP は 64 bit/128 bit WEP をサポートしています。

WEP Key を設定後、無線 LAN で転送されるデ - タはすべて暗号化されます。

## サーバ設定

### 1.3.9 ファイルサーバ設定 (必要時)

ファイルサーバの設定では、コンピュータ名や各サーバ機能の設定を行うことができます。この[1.3.9 ファイルサーバ設定]の項目を変更すると、[1.3.5 基本設定]の重複している項目にも反映されます。



#### コンピュ - タ名

ネットワーク上で本機を識別する名前を設定します。

ほかのコンピュ - タと重複しない名前を入力します。

半角英数字, '-' (ハイフン), '\_' (アンダーバー)の文字を使用して合計 15 文字以内で入力してください。

初期値: LAS-TN

#### ワークグル - プ

本機が属しているグル - プの名前を設定します。

既存のワークグル - プ名を入力するか、別の新しい名前を入力します。

半角英数字, '-' (ハイフン), '\_' (アンダーバー)の文字を使用して合計 15 文字以内で入力してください。

初期値: WORKGROUP

## コンピュ - タの説明

本機の説明を指定します。

他のユーザーがネットワーク上で本機を参照するときに指定した説明が表示されます。

半角英数字, '-' (ハイフン), '\_' (アンダーバー)の文字を使用して合計 43 文字以内で入力してください。

初期値: TN\_Server

ブラウズマスタになる。

ブラウズマスタとして使用する場合はこちらを選択します。(通常は初期値のままの設定でお使いください。)

初期値: OFF

ブラウズマスタにならない。

ブラウズマスタとして使用しない場合はこちらを選択します。(通常は初期値のままの設定でお使いください。)

初期値: ON

WINS サーバを使用しない。

WINS サーバを使用しない場合はこちらを選択します。(通常は初期値のままの設定でお使いください。)

初期値: ON

WINS サーバになる。

本機を WINS サーバとして使用する場合にはこちらを選択します。(通常は初期値のままの設定でお使いください。)

本機を WINS サーバとして使用する場合は、本機をブラウズマスタ( を ON)としたほうが便利です。

初期値: OFF

他の WINS サーバを使用する。

他の WINS サーバを使用する場合はこちらを選択し、WINS サーバの IP アドレスを入力してください。

(通常は初期値のままの設定でお使いください。)

初期値: OFF

他の WINS サーバの IP アドレス

他の WINS サーバを使用する( の設定を ON)選択を行った場合、WINS サーバの IP アドレスを入力してください。

初期値: 空白

各項目を入力後、[ファイルサーバの設定を変更] をクリックしてください。

**ドメインマスタブラウザ** (Domain Master Browser)

マスタブラウザからブラウズリストを受け取り、ドメイン全体のブラウズリストを管理します。

マスタブラウザに、ドメイン全体のブラウズリストを提供します。

**ブラウズマスタ** (Brows Master)

サブネット上の全マシンの NetBIOS 名を受け取り、サブネット上のブラウズリストを作成します。ドメインマスタブラウザに、作成したブラウズリストを提供します。ドメインマスタブラウザから、ドメイン全体のブラウズリストを受け取ります。同一サブネット上に一台のみです。

**WINS サーバ** (Windows Internet Name Service)

Windows 環境でしか使用できません。NetBIOS 名から IP アドレスを得るためのサーバです。

WINSを使用する設定にしてあるコンピュ - タが起動すると、WINS サーバに自分のコンピュ - タ名と IP アドレスの登録に行きます。

### 1.3.10 共有フォルダ設定 (必要時)

ネットワーク内でコンピュータのデータを共有するフォルダの設定を行います。  
共有フォルダの作成/削除、共有フォルダの設定、アクセス権の設定ができます。

#### フォルダー一覧 / 共有フォルダー一覧

初期状態でのフォルダー一覧 / 共有フォルダー一覧は、以下の構成になっています。(下図)

- / ... ル - トディレクトリ
- /home ... ユーザーのホームディレクトリ用フォルダ (ユーザー追加時に表示されます。)
- /public ... 初期共有フォルダ (出荷時の共有フォルダです。)
- /www ... Web ページ公開用の共有フォルダ (Web ページの公開用に使用します。)



#### フォルダー一覧 / 共有フォルダー一覧

クリックすると、フォルダー一覧 / 共有フォルダー一覧の表示切り替えができます。

フォルダー一覧をクリックするとル - トディレクトリから下階層を表示します。

共有フォルダー一覧をクリックするとすべての共有フォルダの共有名・ディレクトリを表示します。

フォルダー一覧はフォルダの作成・削除・設定と同時に更新されます。

#### ラジオボタン

フォルダの作成・削除は、ラジオボタンで選択してから操作します。

#### フォルダアイコン

クリックすると、クリックしたフォルダの下階層が表示されます。最下層のフォルダは開いているフォルダアイコンで、下階層が存在するフォルダは閉じたフォルダアイコンが表示されます。

## フォルダ名

クリックすると、フォルダの設定画面(アクセス権等)が表示されます。

(フォルダへの設定につきましては、次ページの「フォルダの設定」をご覧ください。)

## 共有名

作成したフォルダを共有した場合に表示されます。 [ ]で囲まれた文字はフォルダの共有名を表します。

## 新しいフォルダの名前

新しく作成するフォルダの名前を入力します。

共有フォルダを作成する場合、フォルダ名は全て小文字に変換されます。

半角英数字 212 文字以内まで入力できます。

## フォルダを作成

「新しいフォルダの名前」欄に入力し、この項目をクリックすると、フォルダを作ることができます。

## フォルダの削除

削除したいディレクトリのラジオボタンを ON にして、[フォルダを削除] をクリックします。

## フォルダの新規作成

フォルダを作成するには以下の手順で行います。



例として、public フォルダ(ディレクトリ)の下に sample というフォルダを作成します。

1. フォルダリストから「public」のラジオボタンを ON にします。
2. [新規フォルダの名前]の欄にフォルダ名「sample」を入力し[フォルダを作成] をクリックします。
3. フォルダリストで新しいフォルダが確認できれば終了です。

## フォルダの設定

フォルダリストでフォルダ名をクリックし、フォルダの設定を行います。

以下の説明では、「public」フォルダ内に「sample」フォルダーを作成し、フォルダリストより「sample」フォルダを選択した状態となります。

このフォルダをネットワークで共有する。

このチェックボックスをクリックして ON にすると、ネットワークで共有されます。

初期値: OFF (public フォルダ以外)

AppleTalk に対応する。

このチェックボックスをクリックして ON にすると、Mac クライアントからもアクセスする事ができます。

初期値: OFF (public フォルダ以外)

新規作成を行ったフォルダーを共有にするためには、上記のチェックボックスを「ON」にしてください。

## 共有名

共有フォルダの名前を指定します。

通常は自動的に表示される名前を使うことをお勧めいたしますが、フォルダ名とは別の新しい名前を入力することもできます。このフォルダを使用するユーザーは、ネットワーク上で本機を参照し、ここで指定する名前のフォルダを探します。

初期値: 選択したフォルダ名

**半角英数字 12 文字以内で入力してください。**

半角英数字 12 文字を超える共有名を入力した場合、Web ツール上では入力文字がすべて表示されますが、Windows 上からアクセスができません。

## コメント

共有フォルダに関するコメントを追加する場所です。

クライアント PC 上で、表示メニュー - の詳細を選択した際に表示されます。

**半角英数字 255 文字以内で入力してください。**

初期値: 空白

各項目を入力後、[フォルダの設定を変更] をクリックしてください。

## アクセス権の設定

フォルダの共有設定で「このフォルダをネットワークで共有する」にチェックをつけている必要があります。チェックをつけていない場合、これより先の設定は有効になりません。

### アクセス権のデフォルト値

すべてのユーザーに対するアクセス権のデフォルト値を設定できます。

初期値: 拒否(public フォルダ以外)

**Mac OS を使用する場合は以下をお読みください。**

AppleTalk を使用する場合は、「読取のみ」を選択しても「拒否」として処理されます。

AppleTalk を使用する場合は、ゲストユーザーは、アクセスできません。

AppleTalk を使用する場合は、**デフォルトを「拒否」または「読取のみ」に設定してください。**

デフォルトを「フルコントロール」にするとユーザー全てのアクセス権が「フルコントロール」になり、各ユーザーのアクセス権を「拒否」または「読取のみ」にすることができなくなります。

### ゲストユーザーのアクセス権

拒否、読取専用、フルコントロールの三つが選択できます。

初期値: 拒否(public フォルダ以外)

### ユーザー固有のアクセス権

全ユーザーのアクセス権が表示され、各ユーザーに対するアクセス権が設定できます。

初期値: デフォルト値の設定

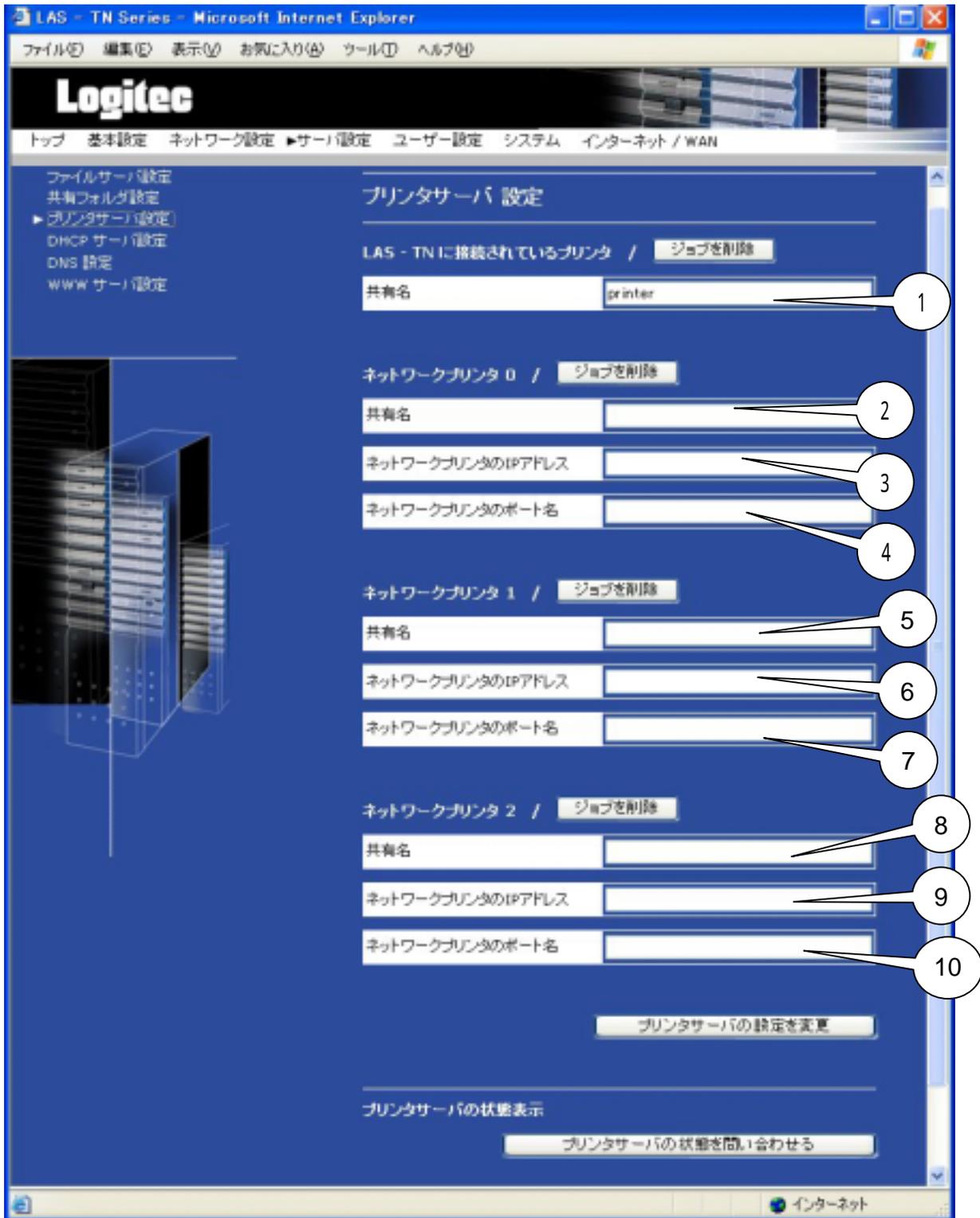
各項目を入力後、[フォルダの設定を変更] をクリックしてください。

### アクセス権

- ・拒否 …… アクセスできません。ネットワークコンピュータなどから参照できません。
- ・読取のみ …… 読み取りのみのアクセス権となり、フォルダに書き込みができません。
- ・フルコントロール …… 読み取り、書き込みができます。

## 1.3.11 プリンタサーバ設定 (必要時)

本機に接続したプリンタ及び、ネットワーク上に存在するプリンタ(ネットワークプリンタ)への設定を行います。



本機は LAN Manager によるネットワークプリンタの設定が 3 台まで可能です。ネットワーク上にあるプリンタのショートカットのようなものが本機上に作成され、ローカルプリンタと同様な作業を行うことができます。設定したネットワークプリンタは、[マイコンピュータ] - [コントロールパネル] [プリンタ]などから参照できます。

クライアント PC からネットワークプリンタを使用する際の詳しい設定方法につきましては、「2.6.2 本機に接続したプリンタ共有及びスプール領域としての設定」を参照して設定を行ってください。

**本機のプリンタポートに直接接続している、プリンタの設定を行います。**

共有名

本機に接続されているプリンタの共有名を指定します。

プリンタを使用するユーザーは、ネットワーク上で本機を参照し、ここで指定する名前のプリンタを探します。

初期値: printer

**半角英数字 12 文字以内で入力してください。記号・特殊文字は使用できません。****ネットワークプリンタの設定を行います。**1台目のネットワークプリンタの設定を行う場合には、、、 の設定を行ってください。2台目のネットワークプリンタの設定を行う場合には、、、 の設定を行ってください。3台目のネットワークプリンタの設定を行う場合には、、、 の設定を行ってください。、 共有名

ネットワークプリンタの共有(任意)名を半角英数字 12 文字以内で入力してください。

初期値: 空白

**記号・特殊文字は使用できません。**、 ネットワークプリンタの IP アドレス

ネットワーク接続されているプリンタの IP アドレス、またはその IP アドレスに対応するコンピュータ名を入力してください。

初期値: 空白

**記号・特殊文字は使用できません。**、 ネットワークプリンタのポート名

ネットワーク接続されているプリンタのポート名を半角 12 文字以内で入力してください。ネットワーク管理者または、お客様がお使いのプリンタのマニュアルを参照してください。

初期値: 空白

**記号・特殊文字は使用できません。**

## 1.3.12 DHCP サーバ設定 (必要時)

本機を DHCP サーバとして設定すると、同一ネットワーク上に接続されたクライアントコンピュータなどが起動する際に、IPアドレス、ゲートウェイアドレス、ドメイン名やサブネットマスクなどの情報をクライアントコンピュータに通知をおこないます。そのため、本機を DHCP サーバとし各コンピュータの設定を DHCP クライアントにすると、起動時に IP アドレスなどがクライアントコンピュータに対して自動的に割り当てられます。本機を DHCP サーバとして使用しない場合は、各コンピュータ側の IP アドレスを手動で入力する必要があります。

本機を DHCP サーバとして使用する場合、各 DHCP クライアントのコンピュータは、Windows の TCP/IP 設定で「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している必要があります。

ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は本機を DHCP サーバとして使用しないでください。

本機を DHCP クライアントに設定している場合には DHCP サーバとして起動できません。

各項目を入力後、[DHCP サーバの設定を変更] をクリックしてください。

The screenshot shows the DHCP Server Configuration page in Internet Explorer. The page is titled "Logitech DHCP サーバ設定". The configuration options are as follows:

- 1. DHCP サーバを起動しますか? (Do you want to start the DHCP server?)
  - DHCP サーバを起動する。 (Start DHCP server)
  - DHCP サーバを起動しない。 (Do not start DHCP server)
- 2. DHCP サーバを起動しない (Do not start DHCP server)
- 3. ネットワークアドレス (Network address): 192 . 168 . 1 . 0
- 4. サブネットマスク (Subnet mask): 255 . 255 . 255 . 0
- 5. IP アドレスの割当て範囲 (IP address assignment range): 192 . 168 . 1 . 254 ~ 192 . 168 . 1 . 254
- 6. デフォルトリース時間 (時間) (Default lease time (hours)): 24
- 7. 最大リース時間 (時間) (Maximum lease time (hours)): 24
- 8. インターネットドメイン名 (Internet domain name):
- 9. ゲートウェイの IP アドレス (Gateway IP address): 192 . 168 . 1 . 50
- 10. DNS の IP アドレス (DNS IP address):
- 11. WINS の IP アドレス (WINS IP address):
- 12. DHCP サーバの設定を変更 (Change DHCP server settings)

DHCP サーバを起動する。

本機を DHCP サーバとして使用する場合はこちらを選択します。

初期値: OFF

**ネットワーク上にすでに、DHCP サーバがある場合には、必ず OFF の設定でお使いください。**

DHCP サーバを起動しない。

本機を DHCP サーバとして使用しない場合はこちらを選択します。

初期値: ON

ネットワークアドレス

本機のネットワークアドレスを指定します。

初期値: 設定されているネットワークアドレス

サブネットマスク

本機のサブネットマスクを指定します。コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを使用してください。

初期値: 設定されているサブネットマスク

開始 IP アドレス(2~254 の間でなければなりません。)

DHCP サーバが提供する開始 IP アドレスを指定します。

初期値: 設定されている IP アドレスホスト部の最終値

終了 IP アドレス(開始 IP アドレスより大きく、かつ 2~254 の間でなければなりません。)

DHCP サーバが提供する最後の IP アドレスを指定します。

初期値: 設定されている IP アドレスホスト部の最終値

デフォルトリ - ス時間(1~720 の間でなければなりません。)

デフォルトのリ - ス期間を時間単位で指定します。

初期値: 24(時間)

最大リ - ス時間(デフォルトリース時間以上かつ 1~720 の間でなければなりません。)

最大リ - ス期間を時間単位で設定します。

初期値: 24(時間)

インタ - ネットドメインネ - ム

サポートしていません。

初期値: 空白

DNS の IP アドレス

DNS サーバの IP アドレスを指定します。

初期値: 空白

ゲ - トウェイの IP アドレス

ゲ - トウェイの IP アドレスを指定します。

初期値: 本機自身の IP アドレス

WINS の IP アドレス

WINS サーバの IP アドレスを指定します。

「ファイルサーバ設定」で「他の WINS サーバを使用する」を選択した場合のみ、入力が必要となります。

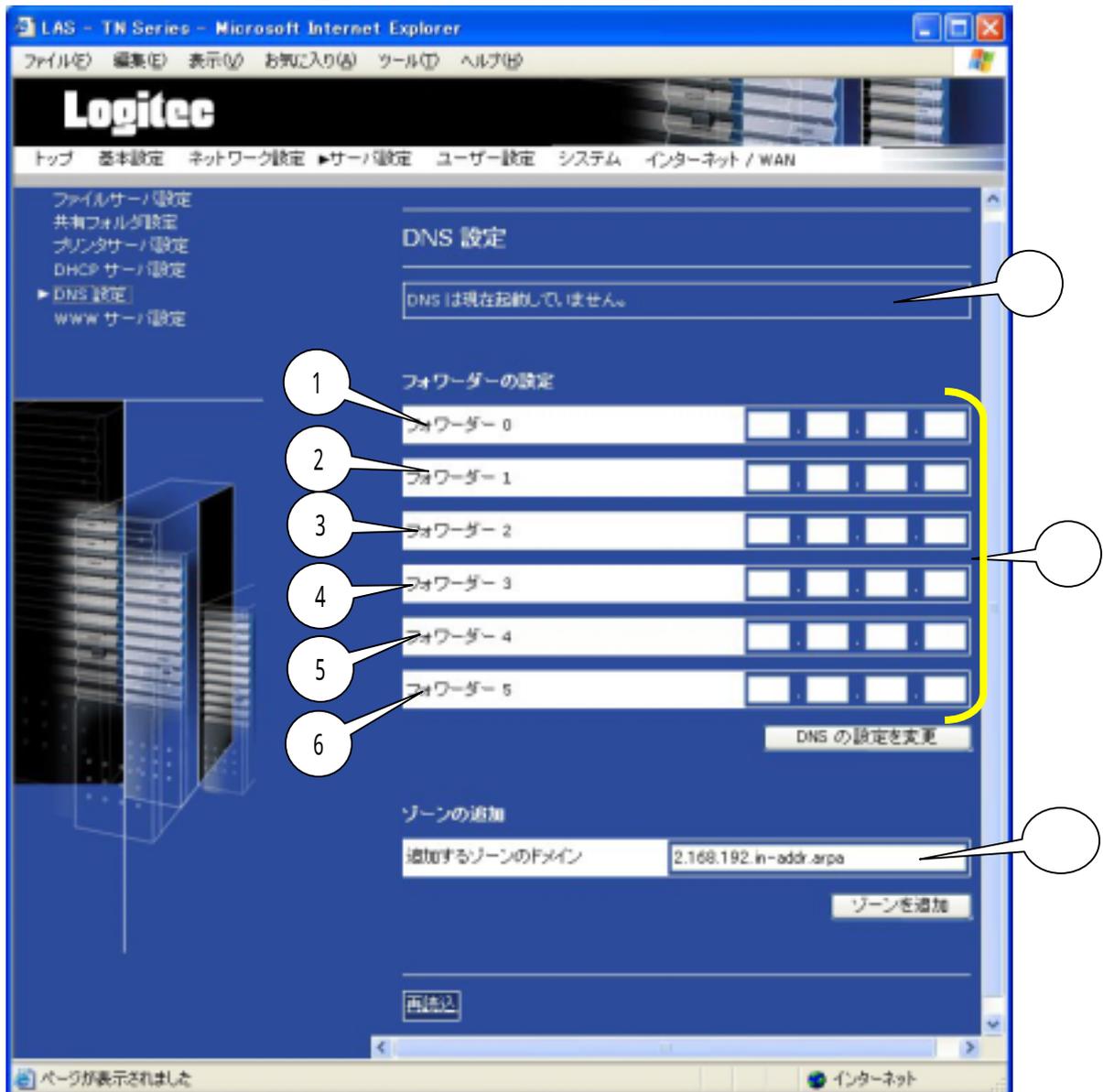
初期値: 空白(なお、本機を WINS サーバとして使用している場合は、本機自身の IP アドレス)

## 1.3.13 DNS 設定 (インターネット接続時のみ対応)

**本製品の WAN ポートを使用してインターネット接続する場合のみ設定を行ってください。**

DNS はネットワーク上のコンピュータを識別するための、階層構造型の名前付け規則です。

インターネットドメイン(www.logitech.co.jp 等の文字列のアドレス)を、数字で構成された IP アドレスに変換します。インターネット上には、DNS サーバという IP アドレスとドメイン名の対応表を持っているサーバがあり、クライアントのコンピュータはそのサーバに接続することにより、ドメイン名で IP アドレスをもつコンピュータにアクセスできるようになります。IP アドレスとドメイン名の関連をデータベースでまとめて管理しようと考え出された仕組みが DNS です。



DNS の設定は本機を DHCP クライアントに設定しているか、固定 IP に設定しているかで設定方法が異なります。

IP アドレスを自動で取得している場合(DHCP クライアント)

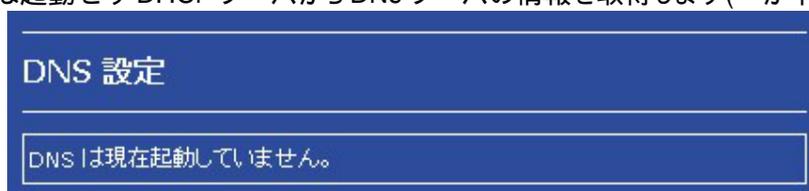
A. DNS の設定(DHCP クライアント)

IP アドレスを手動で指定している場合(固定 IP)

B. DNS の設定(固定 IP)

#### A. DNS の設定(DHCP クライアント)

本機内部の DNS は起動せず DHCP サーバから DNS サーバの情報を取得します( が下図のように表示されます)。



## B. DNS の設定 (固定 IP)

IP アドレスを手動で設定した場合、本機内部の DNS が起動しています( が下図のように表示されます)。本機に登録されていないホスト名が検出された場合、他の DNS サーバ(フォワ - ダ - )と連携して IP アドレスを調べます。



フォワ - ダ - (DNS サーバ)の IP アドレスを入力します。( 参照)

フォワ - ダ - は、複数登録されている場合には1つ目から順番に検出し、最初に検出されたサーバが使用されま  
す。

**本機をルータとして使用(インターネット接続)するときのみ設定を行ってください。それ以外ではこの画面の設定を変更しないでください。**

1つ目の DNS IP アドレス

1つ目の DNS サ - バの IP アドレスを入力します。初期値:空白

本機をルータとして利用する時は「1.3.25 インターネット/WAN への接続方法」の「ISP から提供されているプライマリ DNS アドレス」を入力します。

2つ目の DNS IP アドレス

2つ目の DNS サ - バの IP アドレスを入力します。1つ目の DNS サーバがシステムダウンなどにより、検出できない場合にアクセスする DNS サーバの IP アドレスです。初期値:空白

本機をルータとして利用する時は「1.3.25 インターネット/WAN への接続方法」の「ISP から提供されているセカンダリ DNS アドレス」を入力します。

3つ目の DNS IP アドレス (サポートしておりませんのでそのままの設定でお使いください)

初期値:空白

4つ目の DNS IP アドレス (サポートしておりませんのでそのままの設定でお使いください)

初期値:空白

5つ目の DNS IP アドレス (サポートしておりませんのでそのままの設定でお使いください)

初期値:空白

6つ目の DNS IP アドレス (サポートしておりませんのでそのままの設定でお使いください)

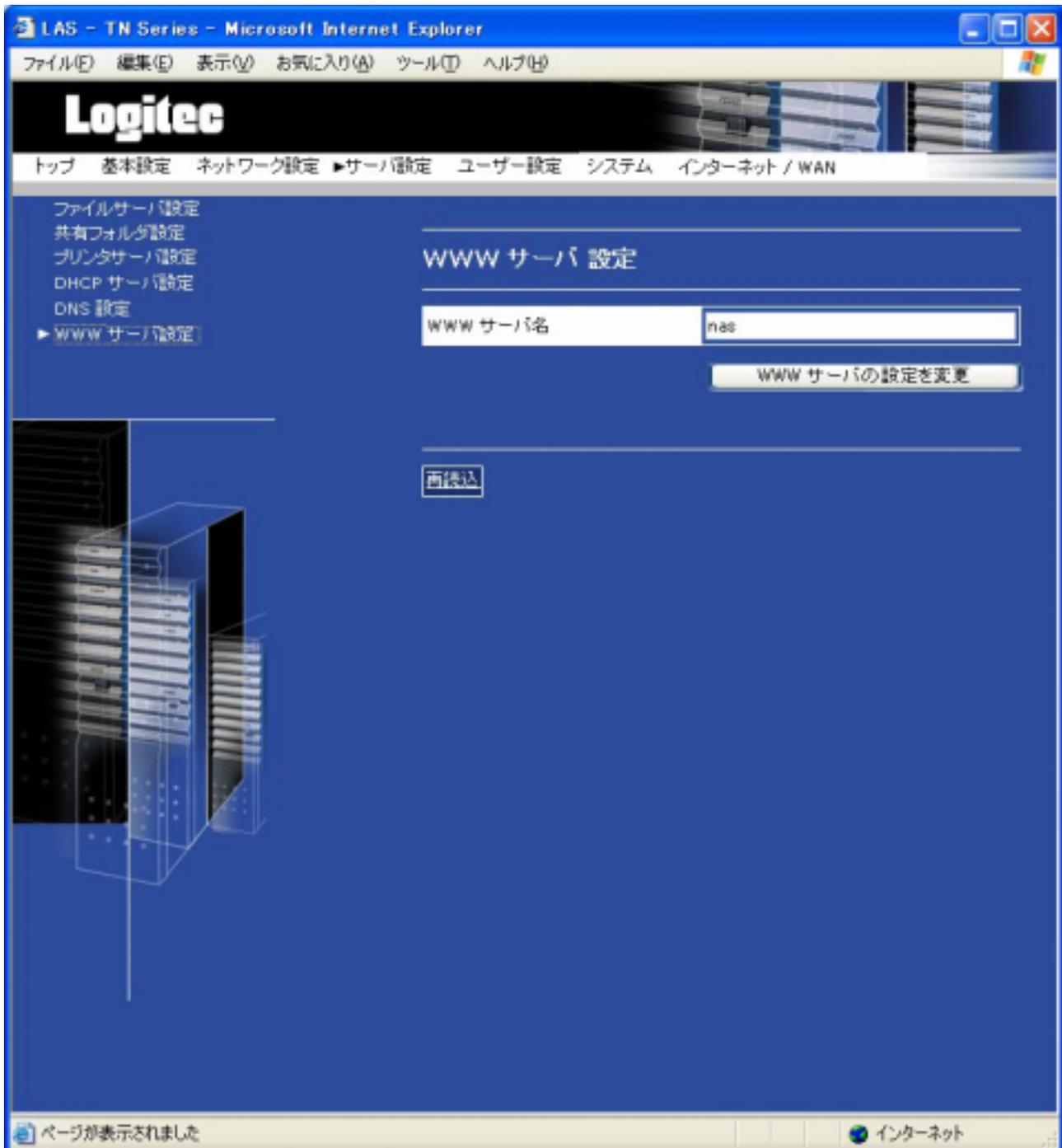
初期値:空白

各項目を入力後、[DNS の設定を変更] をクリックしてください。

**[ゾーンの追加]はサポートしておりませんので、デフォルト値(初期値)のまま、何も設定せずにお使いください。**

## 1.3.14 WWWサーバ設定 (サポートしていません)

このような画面が表示されますが、サポートしていませんので、この画面の項目につきましてはデフォルト値(初期値)のまま、何も設定せずにお使いください。



## ユーザー設定

## 1.3.15 ユーザー設定 (必要時)

ユーザーの追加や削除、ユーザー毎のディスク制限などの設定を行います。

The screenshot displays the 'ユーザー設定' (User Settings) page in a Microsoft Internet Explorer browser window. The page title is 'LAS - TN Series - Microsoft Internet Explorer'. The browser's menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', 'お気に入り(A)', 'ツール(T)', and 'ヘルプ(H)'. The Logitec logo is prominently displayed at the top left. A navigation menu below the logo includes 'トップ', '基本設定', 'ネットワーク設定', 'サーバ設定', 'ユーザー設定', 'システム', and 'インターネット / WAN'. The main content area is titled 'ユーザー設定' and contains three sections:

- ユーザーの設定**: A sub-section header.
- ユーザーの編集**: A section with the instruction '下のリストから、編集するユーザーの名前を選んでクリックして下さい。' (Select the name of the user to edit from the list below and click it). Below this is a list of users: 'quest' and 'user1', each with a checkbox. Callout 'A' points to this list.
- ユーザーの削除**: A section with the instruction '上のリストから、削除するユーザーを選択して、「ユーザーを削除」のボタンを押して下さい。' (Select the user to delete from the list above and press the 'Delete User' button). Below this is a button labeled 'ユーザーを削除'. Callout 'B' points to this button.
- ユーザーの追加**: A section for adding new users. It contains three input fields: '新規ユーザー名' (New User Name), '新規ユーザーのパスワード' (New User Password), and 'パスワードの確認' (Confirm Password). Callout 'C' points to the entire form area. To the right of the fields are callouts '1', '2', and '3' pointing to the respective input boxes. Below the fields is a button labeled 'ユーザーを追加'. At the bottom of the form area is a '再読み込み' (Refresh) button.

The browser's status bar at the bottom shows 'ページが表示されました' (Page displayed) and 'インターネット' (Internet).

## A ユーザーリスト

全ユーザーのリストを表示します。ユーザー名は昇順で表示されます。

ユーザーが存在しない場合は guest ユーザーのみとなります。(上図は user1 が登録されている状態です)

本機にユーザー登録(ユーザーの追加)を行っていない場合、本機にアクセスするユーザーはすべて guest ユーザーとして取り扱われます。

## B ユーザーの削除

登録したユーザーの削除を行います。

「ユーザーリスト」の中から削除したいユーザーのチェックボックスを ON にして、[ユーザーを削除] をクリックします。なお、「guest」ユーザーを削除する事はできません。

## C ユーザーの追加

新しいユーザー名

新しいユーザー名を入力します。

新しいユーザーのパスワード

パスワードを入力します。なお、入力された文字は「\*」と表示されます。

パスワードの確認

確認のため再度パスワードを入力します。なお、入力された文字は「\*」と表示されます。

各項目を入力後、[ユーザーを追加] をクリックしてください。

ユーザーを追加すると、追加したユーザー名でホームディレクトリが作成されます。追加されたホームディレクトリは、[サーバ設定] - [共有フォルダ設定]で確認することができます。

追加したユーザー名とパスワードは、アクセスを行うコンピュータのログイン名、パスワードと同一にしてください。追加したユーザー名とパスワードが、アクセスを行うコンピュータのログイン名とパスワードが同一でない場合、ユーザーのホームディレクトリへのアクセスを行うことができません。

ユーザー名の先頭文字は英文字を使用し、20文字以内で入力してください。

ユーザー名はアルファベットの大文字・小文字を区別せず、すべて小文字に置き換えられます。

全角文字、半角カタカナ、句読点や特殊文字は使用できません。

共有フォルダと同じユーザー名は作成する事ができません。

パスワードは大文字・小文字を区別し 14文字以内で入力してください。

パスワード無しのユーザーは作成しないでください。

### ホームディレクトリ

本機に登録してあるユーザー名とパスワードでログインし、ネットワークコンピュータなどから本機を参照すると、共有設定しているディレクトリ(フォルダ)とログインユーザー名と同じディレクトリ(フォルダ)にアクセスすることができます。

このログインユーザー名とおなじディレクトリ(フォルダ)がホームディレクトリとなります。

追加設定したユーザー全てにホームディレクトリが有効になっています。ホームディレクトリを無効する事はできません。

ユーザーを削除すると、/home の下にあったホームディレクトリは/home\_old に移動します。後にホームディレクトリのデータが必要な場合、管理者がアクセス制限つきで共有することにより、削除したユーザーのホームディレクトリにアクセスすることができます。

## 登録ユーザーの設定変更

ユーザー毎のパスワードやディスク制限の変更します。ユーザーリストより変更したいユーザー名をクリックしてください。



### 登録ユーザーのパスワードの変更

登録ユーザーのパスワードの変更が出来ます

新しいパスワード(14文字以内)

変更するパスワードを入力します。(入力された文字は「\*」と表示されます)

新しいパスワードの確認(再入力)

変更するパスワードを再入力します。(入力された文字は「\*」と表示されます)

各項目を設定後、[パスワードを変更] をクリックしてください。

### ディスク使用量の制限

選択したユーザーのディスク容量を設定できます。

本機のハードディスク全体から、ユーザーの使用できる容量を設定します。

現在使用しているディスク使用容量

現在のディスクの使用量を MBytes(メガバイト)単位で表示します。

制限値

選択ユーザーが使用できるディスクの最大サイズを設定します。

設定できる単位は、MBytes(メガバイト)単位で行います。

無制限(制限なし)に設定を行う場合には場合は、「0」を入力してください。

初期値: 0 MByte(無制限)

すでにデータの書き込みを行っている場合には、使用している容量以上の値を設定してください。

各項目を設定後、[ディスク制限の設定] をクリックしてください。

## システム

## 1.3.16 システム情報

本機の稼働時間やシステムのバージョンなどの情報を表示します。



## バージョン

本機で使用している OS のバージョンを表示します。(機種ごとに異なります)

## 時間

起動してからの稼働時間を表示します。

## LAN アダプタの情報

ネットワークアダプタの情報を表示します。各情報は、ハードウェア・ネットワーク状況によって異なります。

Logitec

トップ 基本設定 ネットワーク設定 サーバ設定 ユーザー設定 ▶システム インターネット / WAN

システム情報  
 ログ閲覧  
 日付 / 時刻の設定  
 システムのレポート/シャットダウン  
 管理者パスワード設定  
 構成情報ファイルの作成  
 構成情報の復元  
 初期化  
 電源スイッチのロック/アンロック

4

ディスク情報

パーティション	ディスク 1, システム領域
全容量	303344 KBytes
現在の使用容量	154914 KBytes
現在の使用可能容量	132769 KBytes
現在の使用率	54%

5

パーティション

パーティション	ディスク 1, データ領域
全容量	78028548 KBytes
現在の使用容量	27792 KBytes
現在の使用可能容量	74037120 KBytes
現在の使用率	0%

6

ディスク制限の情報

guest : ディスク 1, データ領域	0 MBytes / 無制限
user1 : ディスク 1, データ領域	0 MBytes / 無制限
user2 : ディスク 1, データ領域	0 MBytes / 無制限

再読み込み

ページが表示されました

インターネット

ディスク情報(システム領域情報)

使用容量や使用可能容量を表示します。

ディスク情報(システム領域情報)

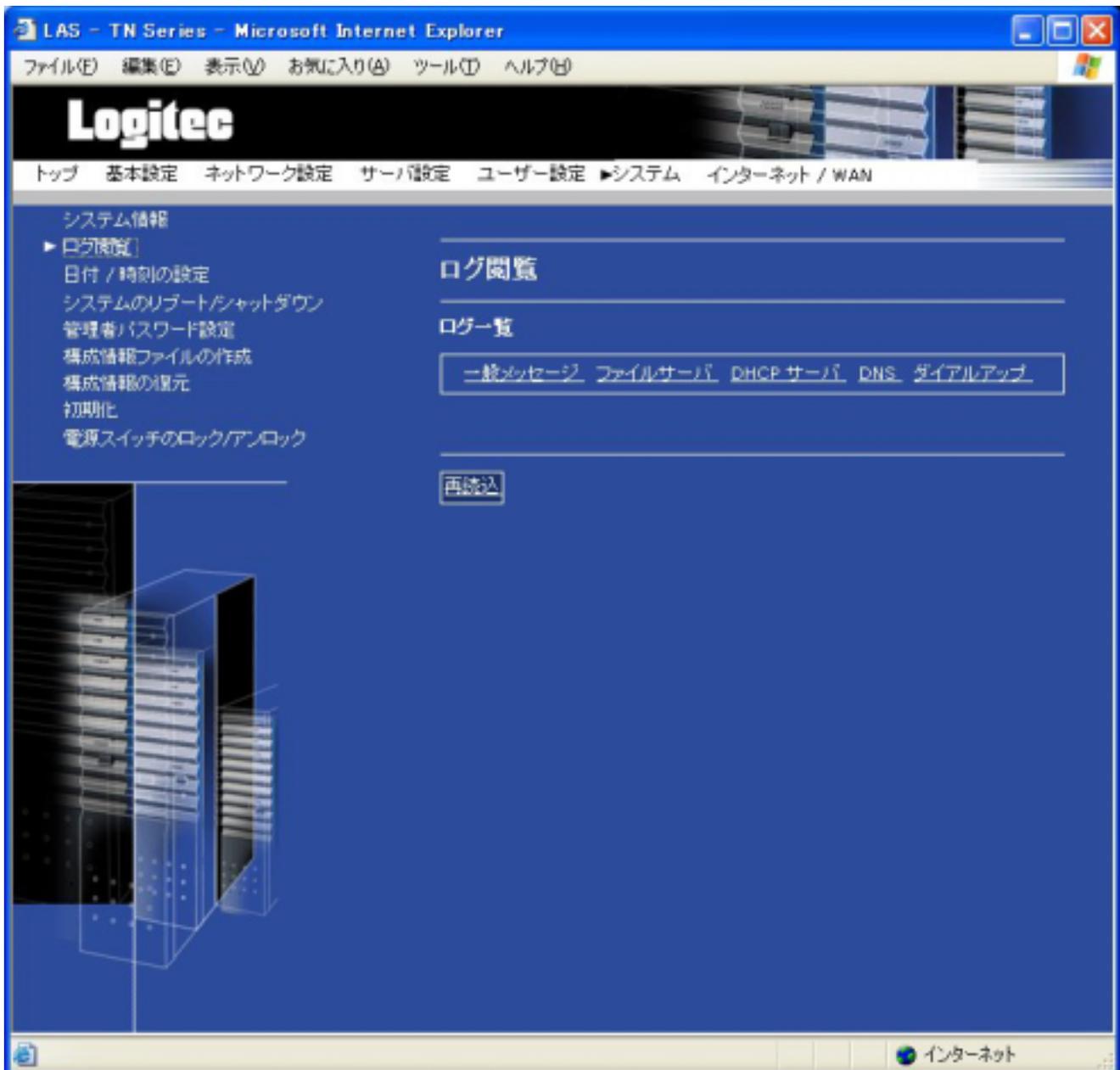
使用容量や使用可能容量を表示します。

ディスク制限の情報

ユーザー毎に使用されているディスク容量と、ユーザー毎に設定されているディスク制限の情報を表示します。

## 1.3.17 ログ閲覧 (サポートしていません)

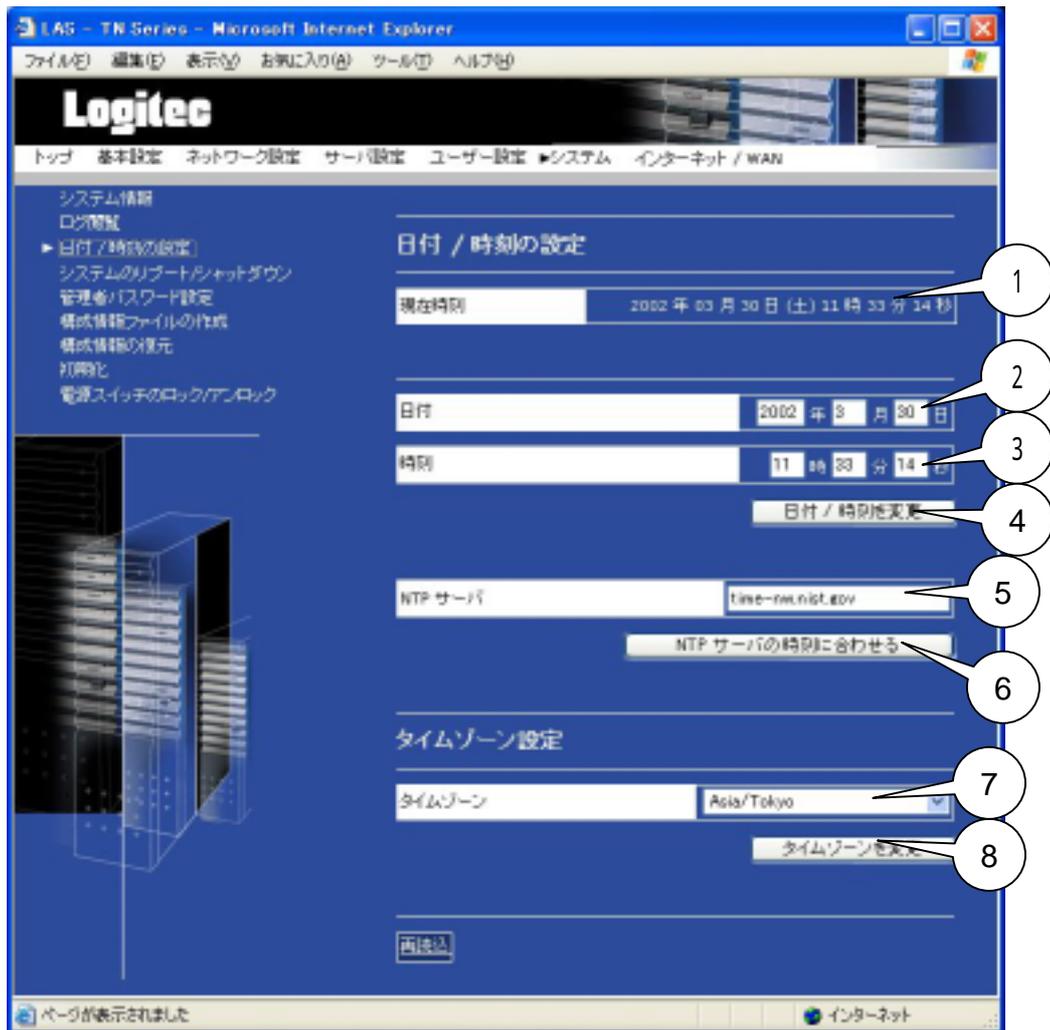
このような画面が表示されますが、サポートしていませんので、この画面の項目につきましてはデフォルト値(初期値)のまま、何も設定しないでください。



## 1.3.18 日付/時刻の設定 (必須)

本機の日時の設定を行います。

[1.3.18 日付/時刻の設定]の設定を変更すると、[1.3.6 日付/時刻の設定]にも反映されます。



## 現在の時刻

本機に設定されている現在の日付/時刻を表示します。

日付 (NTP サーバの設定を行ったときは設定不要)

年月日を入力します。 初期値:本機に設定されている日付

時間 (NTP サーバの設定を行ったときは設定不要)

時間を入力します。 初期値:本機に設定されている時刻

日付時刻の変更

クリックすると、 で設定した値に更新されます。

NTP サーバ

アクセスを行う NTP サーバを入力してください。(NTP サーバは正確な標準時刻を知らせるサーバです)

初期値: time-nw.nist.gov

NTP サーバの時刻に合わせる

クリックを行うと、設定した NTP サーバに時刻を合わせます。

なお、常に設定した NTP サーバと時刻を合わせていませんので、定期的をクリックしてください。

タイムゾーンを設定

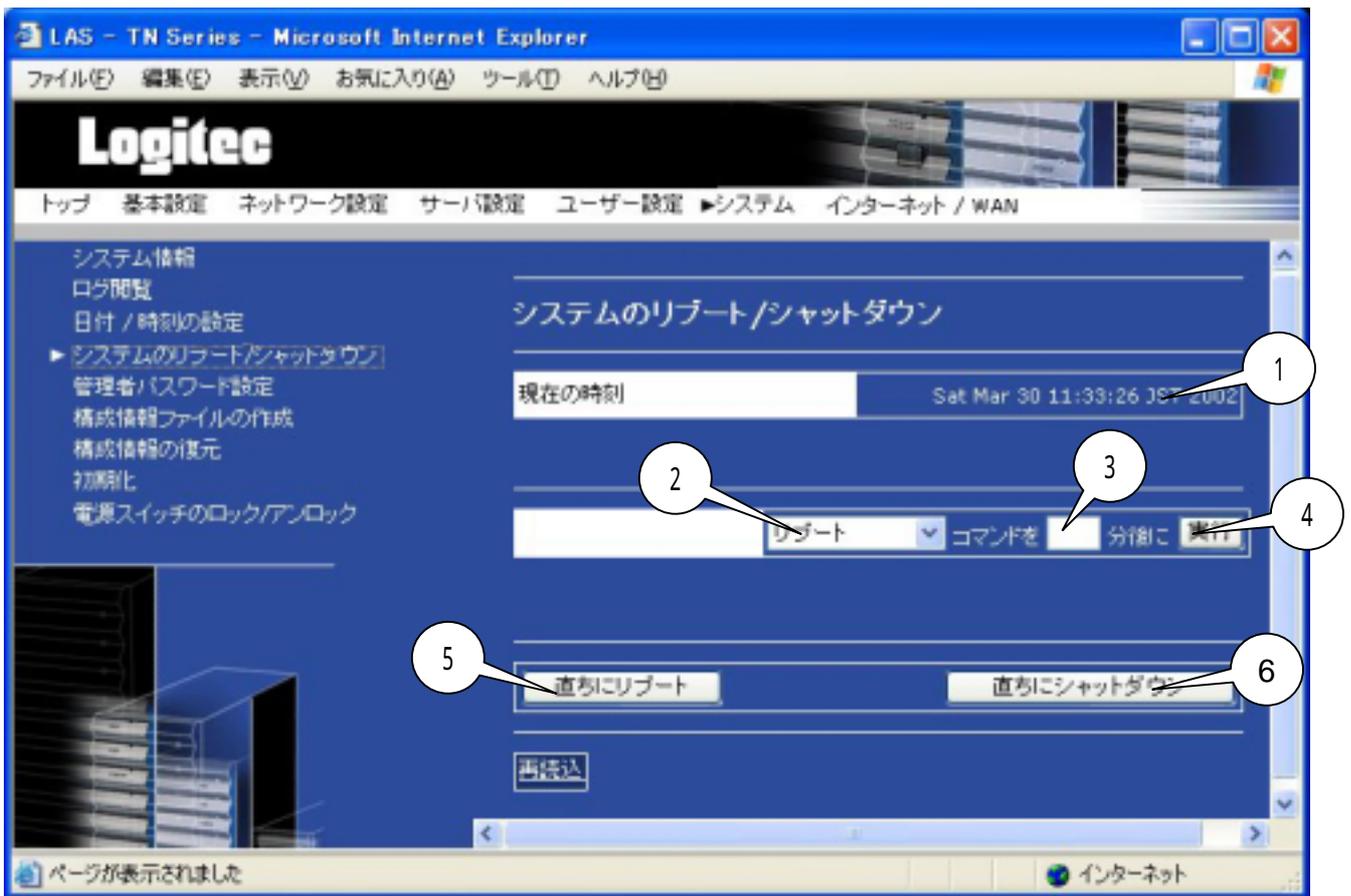
タイムゾーンの選択をしてください。(通常はそのままの設定でお使いください。)

初期値: Asia/Tokyo

タイムゾーンを変更

クリックすると で設定した内容に更新されます。

## 1.3.19 システムのリポート / シャットダウン (必要時)

**現在の時刻**

本機に設定されている現在の時刻を表示します。

**リポート/シャットダウン選択**

プルダウンメニューより「リポート」か「シャットダウン」を選択します。

初期値:リポート

**時間**

何分後に実行するのか、その時間を整数で入力します。(0～999分の間で設定を行うことができます。)

初期値:空白

**実行ボタン**

「時間」で設定した時間後に、「リポート/シャットダウン」で選択した)アクションの動作が開始します。

**直ちにリポートボタン**

直ちに本機のリポート(再起動)を行います。このとき、全ての接続は無条件で切断されます

**直ちにシャットダウンボタン**

直ちにシャットダウン(終了)します。実行するとすべての接続は切断されます。

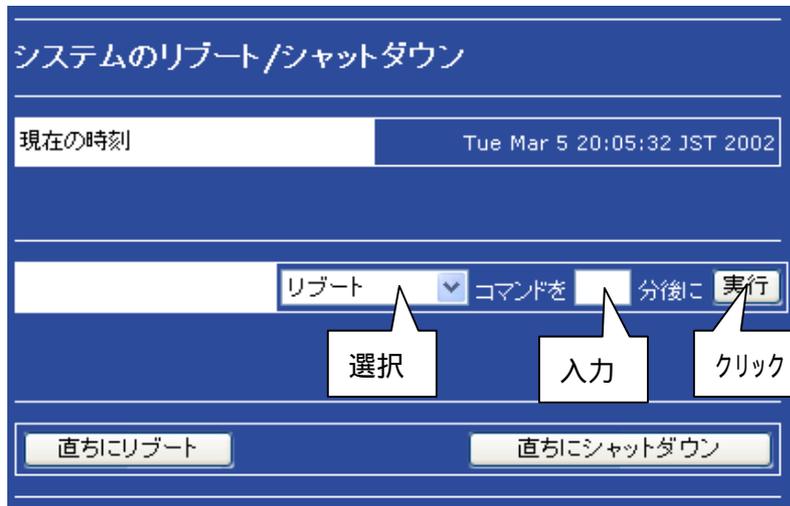
リポート及びシャットダウンについての詳細は次ページ以降を参照してください。

## タイマー設定について

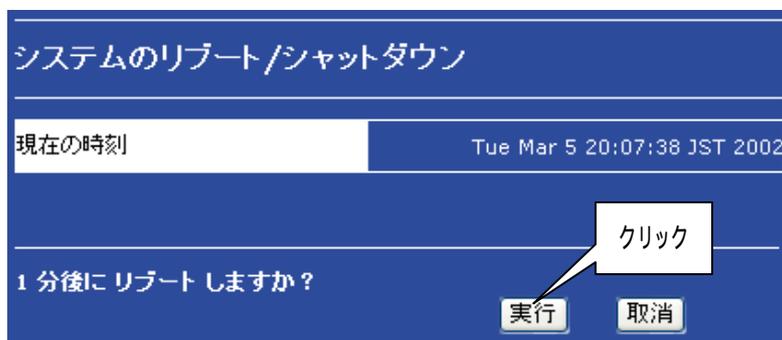
リポートや再起動を行う場合、直ちに作業を実行する方法の他に、タイマーにて指定した時間後に実行する方法があります。

例としてタイマー設定によるリポート方法をご紹介します。

1. プルダウンメニューより[リポート]を選択し、コマンドの欄に「1」と入力して [実行] をクリックします。



2. 確認画面が表示されますので、そのまま実行する場合は [実行] をクリックしてください。なお、キャンセルする場合は [取消] をクリックしてください。

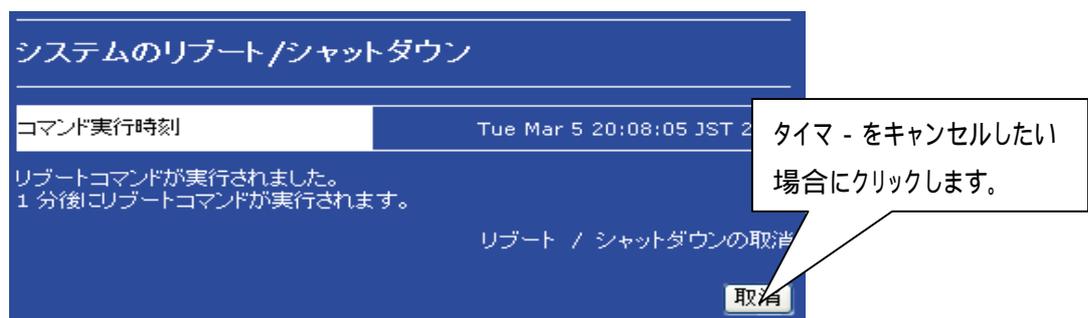


3. 指定時が経過後リポートします。

**リポート中(電源表示ランプが点滅中)は本機にアクセスできません。**

本機の PEWOR LED が点滅から点灯に変わったのを確認できたら再起動終了です。

一度設定したタイマーをキャンセルしたい場合には、[取消] をクリックすることでキャンセルすることができます。

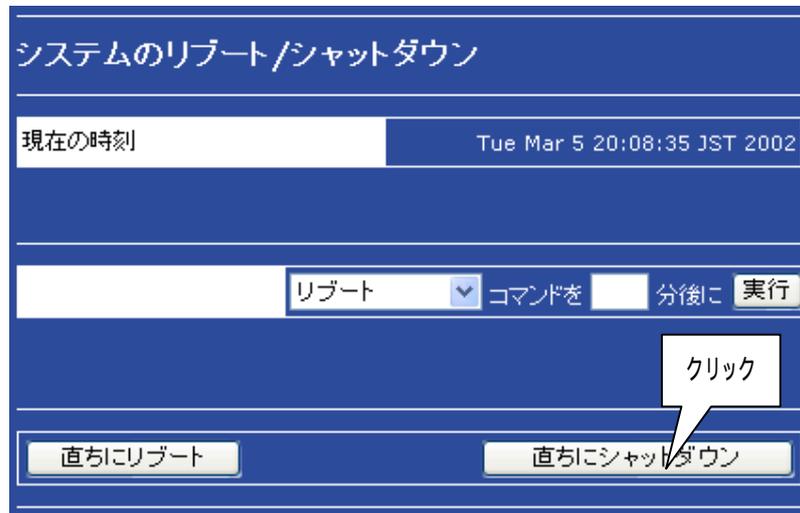


## 直ちに処理を行う場合

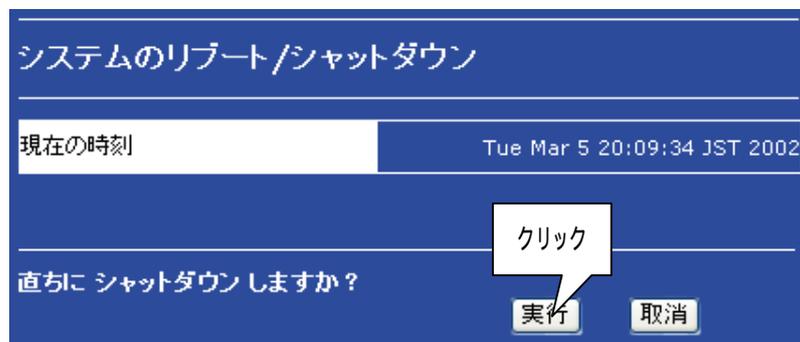
リポートや再起動を行う場合、直ちに作業を実行する方法の他に、タイマーにて指定した時間後に実行する方法があります。

**例として直ちにシャットダウンする方法をご紹介します。**

1. [直ちにシャットダウン] をクリックします。



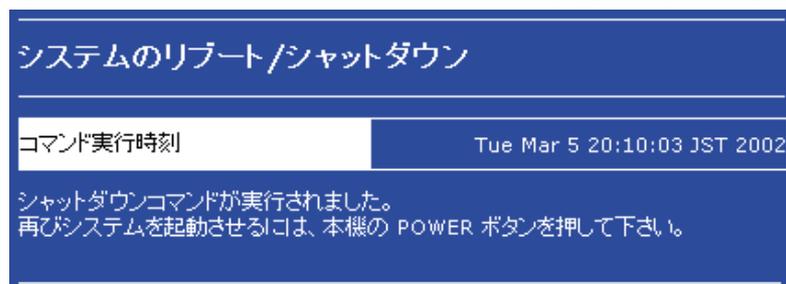
2. 確認画面が表示されますので、[実行] をクリックしてください。



3. 直ちにシャットダウンが開始されます。

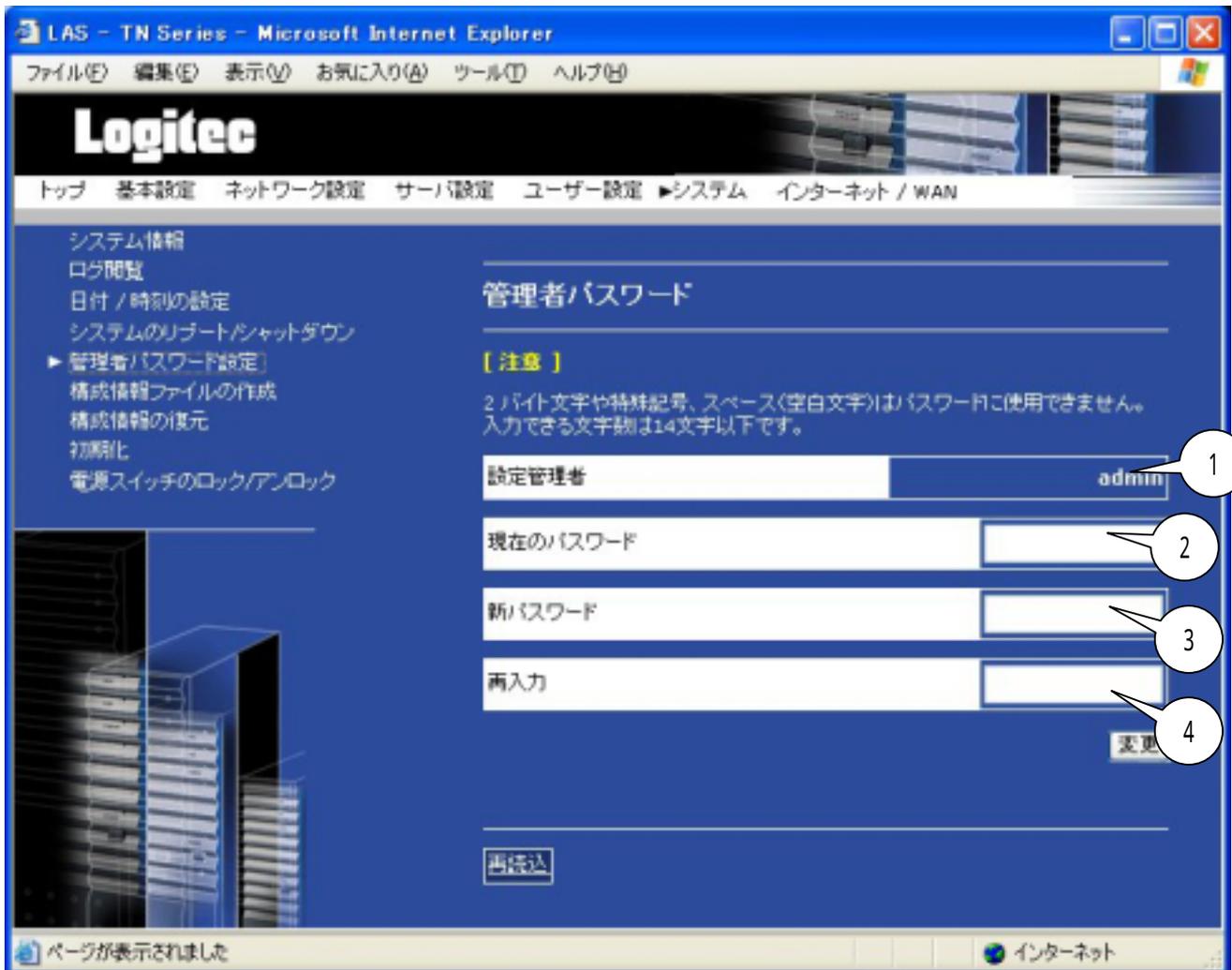
本機の電源表示ランプ が点滅から消灯すれば終了です。

ご使用の中の Web ブラウザや TN セットアップツールは終了してください。



## 1.3.20 管理者パスワード設定 (必須)

パスワードを忘れてしまうと本機を管理できなくなります。十分御注意ください。



設定管理者

管理者のユーザー名です。「admin」は固定で変更する事ができません。

現在のパスワード

現在のパスワードを入力してください。

**半角英数字14文字以内入力してください。** 初期値:空白

新しいパスワード

変更したい新しいパスワードを入力してください。 初期値:空白

**半角英数字14文字以内入力してください。**

新しいパスワード(再入力)

新パスワードの入力確認です。

変更したい新しいパスワードをもう一度入力してください。 初期値:空白

**半角英数字14文字以内入力してください。**

各項目を設定後、[変更] をクリックしてください。

## 1.3.21 構成情報ファイルの作成 (必要時)

現在のユーザー情報、ネットワーク設定、サーバ設定などを本機の所定の場所に保存することができます。  
(なお構成情報ファイルをクライアント PC に保存する場合「4.3 構成情報の保存と復元方法」をご参照ください。)



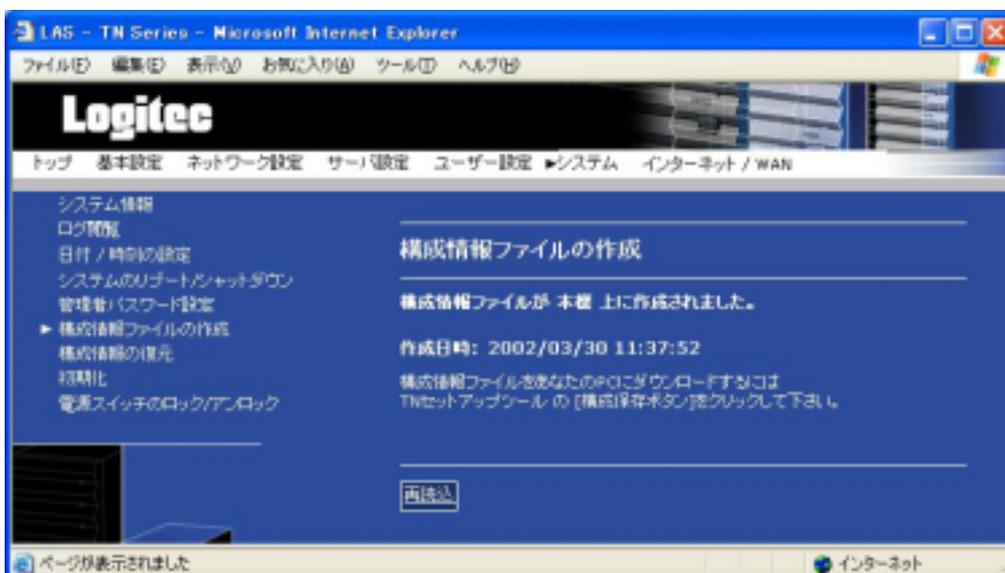
構成情報ファイルを作成していない場合に表示される画面です。 の[はい] をクリックして、構成情報ファイルを作成してください。下図は、構成情報ファイルが作成されている場合に表示されます。構成情報ファイルを作成した日付が表示されます。

## 【構成情報ファイルの状況】

現在、本機上に下記の日時に作成された構成情報ファイルが存在します。

2002/01/02 00:58:18

構成情報ファイルを作成するときには「はい」ボタンをクリックします。クリックしますと、以下のように構成情報ファイルが作成されます。



## 1.3.22 構成情報ファイルの復元 (必要時)

構成情報ファイル作成時の、ユーザー情報、ネットワーク設定、サーバ設定などを復元することができます。  
 (なおクライアント PC に保存した構成情報ファイルに復元する場合「4.3 構成情報の保存と復元方法」をご参照ください。) **共有フォルダとホ - ムディレクトリのデータは復元されません。**

Microsoft Internet Explorer  
 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

Logitec

トップ 基本設定 ネットワーク設定 サーバ設定 ユーザー設定 ▶システム インターネット / WAN

システム情報  
 ログ閲覧  
 日付 / 時刻の設定  
 システムのレポート/シャットダウン  
 管理者パスワード設定  
 構成情報ファイルの作成  
 ▶ **構成情報の復元**  
 初期化  
 電源スイッチのロック/アンロック

### 構成情報の復元

この機能を利用すると、構成情報ファイル作成時のユーザー情報やネットワーク設定等を復元できます。

構成情報ファイルをクライアント PC からアップロードする場合は、「TNセットアップツール」の [ 構成復元 ] ボタンをクリックして下さい。

**1** [ 構成情報ファイル ] の状況  
 現在、構成情報ファイルは本機上に保存/アップロードされておりません。

以下のいずれかの方法で、構成情報ファイルを準備した後、本機能をご利用下さい。

1. お使いのPCに構成情報ファイルをダウンロードしている場合は、Windows上で「TNセットアップツール」を起動し、[ 構成復元 ] 機能を使ってファイルを本機にアップロードして下さい。
2. 「システムツール」 --> 「構成情報ファイルの作成」から構成情報ファイルを作成して下さい。

http://192.168.5.122:8888/~nas/ja/restore.cgi インターネット

構成情報ファイルを作成していない場合に表示される画面です。[構成情報ファイルの作成] で構成情報ファイルを作成してください。

Microsoft Internet Explorer  
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

# Logitec

トップ 基本設定 ネットワーク設定 サーバ設定 ユーザー設定 ▶システム インターネット / WAN

システム情報  
ログ閲覧  
日付 / 時刻の設定  
システムのレポート/シャットダウン  
管理者パスワード設定  
構成情報ファイルの作成  
▶ **構成情報の復元**  
初期化  
電源スイッチのロック/アンロック

## 構成情報の復元

この機能を利用すると、構成情報ファイル作成時のユーザー情報やネットワーク設定等を復元できます。

構成情報ファイルをクライアント PC からアップロードする場合は、「TNセットアップツール」の [ 構成復元 ] ボタンをクリックして下さい。

**【構成情報ファイル】の状況**  
現在、下記の日時に作成された構成情報ファイルが存在します。  
2002/03/30 11:37:52

**【注意】**  
共有フォルダ及びユーザーのホームディレクトリのデータは復元されません。  
管理者パスワードは現在ご使用のパスワードのままとなります。  
構成情報の復元直後には強制的にシステムのレポートを行います。

このファイルを使って、構成情報を復元しますか?

ページが表示されました インターネット

構成情報ファイルがすでに作成してある場合に表示される画面です。 の[はい]をクリックして構成情報ファイルを復元することが可能です。構成情報ファイルを作成した日付が表示されます。

構成情報ファイルを復元するときにはこの[はい]ボタンをクリックします。

**構成情報ファイルを復元直後、システムを強制的に再起動します。**

## 1.3.23 初期化 (必要時)

各項目についての初期化をします。



## ファイルサーバ設定の初期化

[ファイルサーバ設定] をすべて工場出荷時の設定に戻します。

## ユーザー情報の初期化

[ユーザー設定] をすべて工場出荷時の設定に戻します。

## 共有データのフォーマット

共有フォルダ以下のすべてのディレクトリ・データを削除します。 **実行後データは復元できません。**

全ユーザーのホームディレクトリ及びホームディレクトリ内データを削除したくない場合は、(以下の )のチェックボックスを ON にしてください。

## ホームディレクトリを削除しない

全ユーザーのホームディレクトリ及びホームディレクトリ内データを削除したくない場合は、このチェックボックスを ON にします。 ユーザー別に削除する場合は、[共有フォルダ設定]で行ってください。

すべてを工場出荷時に戻す。 **実行後データは復元できません。**

すべての設定を工場出荷時に戻します。(管理者パスワードは初期化されません。)

項目を選択後、[実行] をクリックしてください。

**実行後はデータの復元はできませんので、構成ファイルを作成した上、データのバックアップを取っておくことをお勧めします。管理者パスワードも消去したい場合は、Assist キーを使用してください。(「4.4 システムを工場出荷時状態に復旧させる (Assist キー使用)」参照)**

## 1.3.24 電源スイッチのロック/アンロック (必要時)

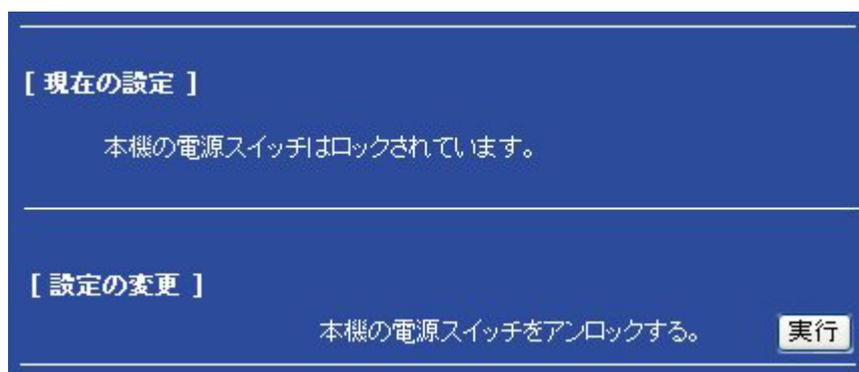


電源スイッチをロックすると、本体の電源スイッチを押してもシステムのシャットダウンができなくなります。

電源スイッチを 4 秒以上押し続けしないでください。直ちに電源が切れ、本機の故障やデータの損失が発生のする事があります。(ボタンがロック設定になっていても 4 秒以上押し続けしないでください)

本体の電源スイッチのロック/アンロック状態を表示します。初期値:アンロック状態

下の図はロック状態の表示です。



## インターネット / WAN

## 1.3.25 インターネット / WAN への接続方法 (LAS-TNxxAP のみ)

インターネット / WAN 設定を行うには、Web ツール・メインメニューの[インターネット / WAN]をクリックします。



LAS-TNxxAP と LAS-TN とでは異なります。

## LAS-TNxxAP の場合

## [ 接続方法選択 ]

- EXP LAN
- PPPoE 接続
- 外付けアナログモデム

## LAS-TN の場合

## [ 接続方法選択 ]

- 外付けアナログモデム

本機を經由してインターネットへ接続する方法には PPPoE(フレッツ ADSL)を使用します。

EXP LAN を使用する場合

PPPoE を使用する場合

アナログモデムを使用する場合

EXP LAN 設定 (サポートしていません。)

PPPoE 設定 「1.3.26 PPPoE 設定 参照」

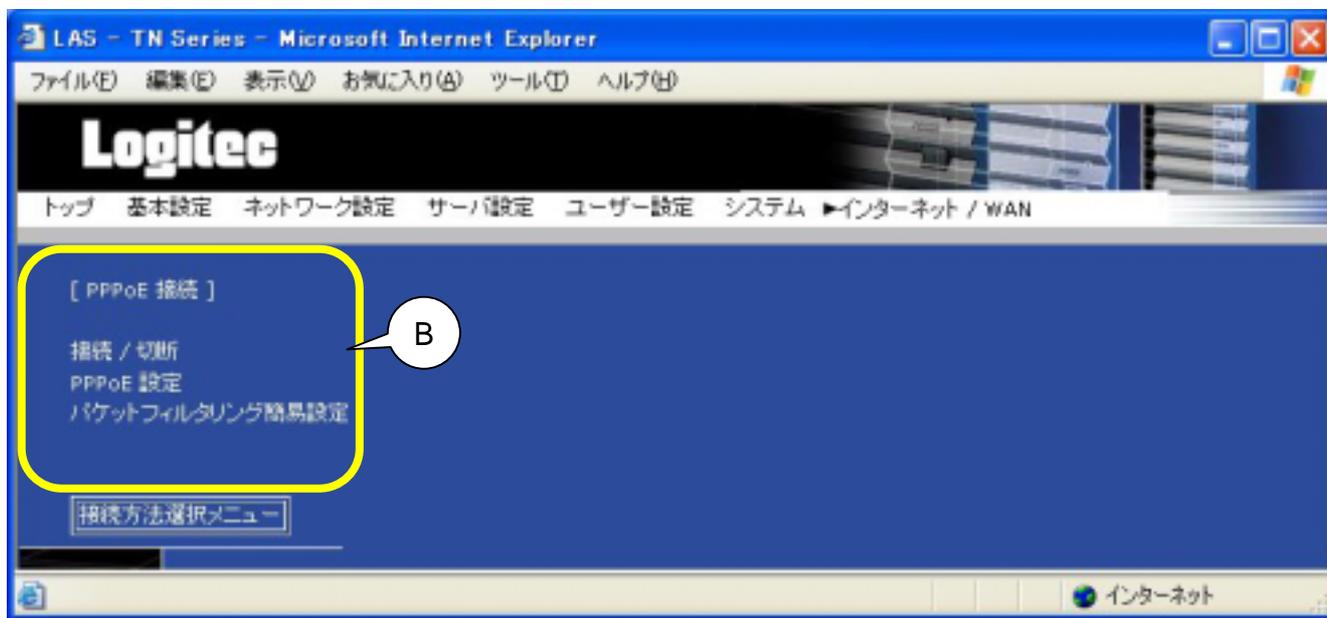
ダイヤルアップ設定 (サポートしていません。)

**サポートされていない項目につきましては、デフォルト値(初期値)のまま、何も設定せずにお使いください。**

## 1.3.26 PPPoE 設定

PPPoE を使用する場合は、ADSL モデムが LAN ケーブルを介して本機の EXP LAN ポートに接続されている必要があります。

PPPoE を使用する場合は A の画面で [PPPoE 接続] をクリックします。クリックすると下図のような画面が現れます

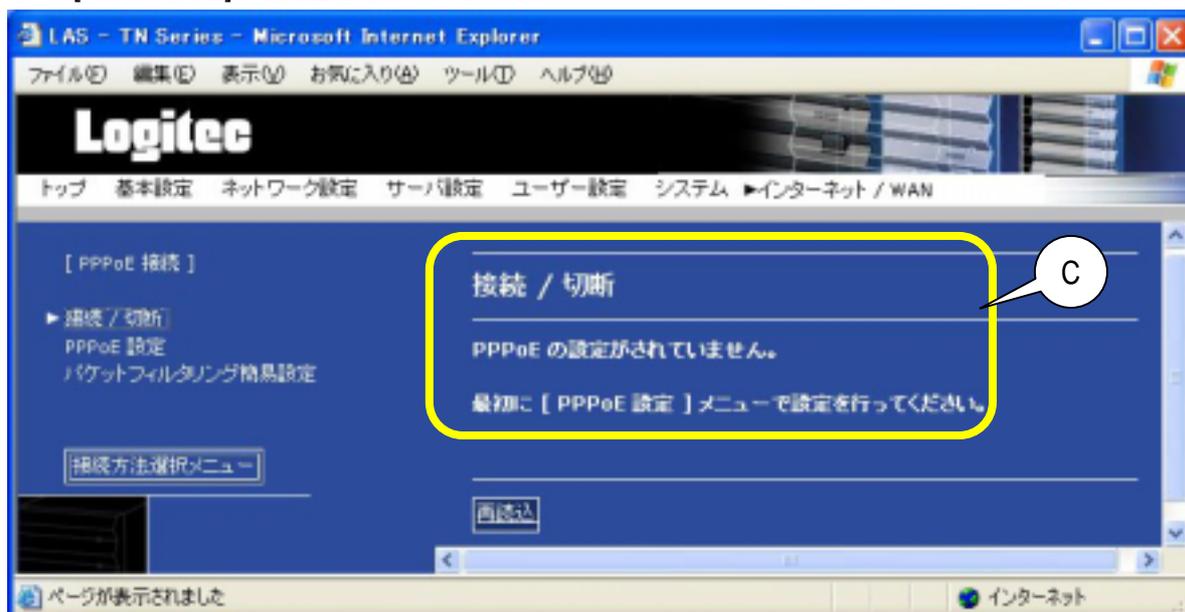


## 接続/切断

B 画面の[接続/切断] をクリックして、PPPoE による接続/切断を行います。

PPPoE 接続の設定を行っていない場合に表示される画面です。

この場合は、[PPPoE 設定] で設定を行ってください。



下图は、PPPoE 設定が終了し、プロバイダとの接続が確立された時に表示される画面です。

[接続] または、[切断] をクリックして、接続/切断ができます。



システム起動時に PPPoE モジュールを有効/無効の設定を行います。

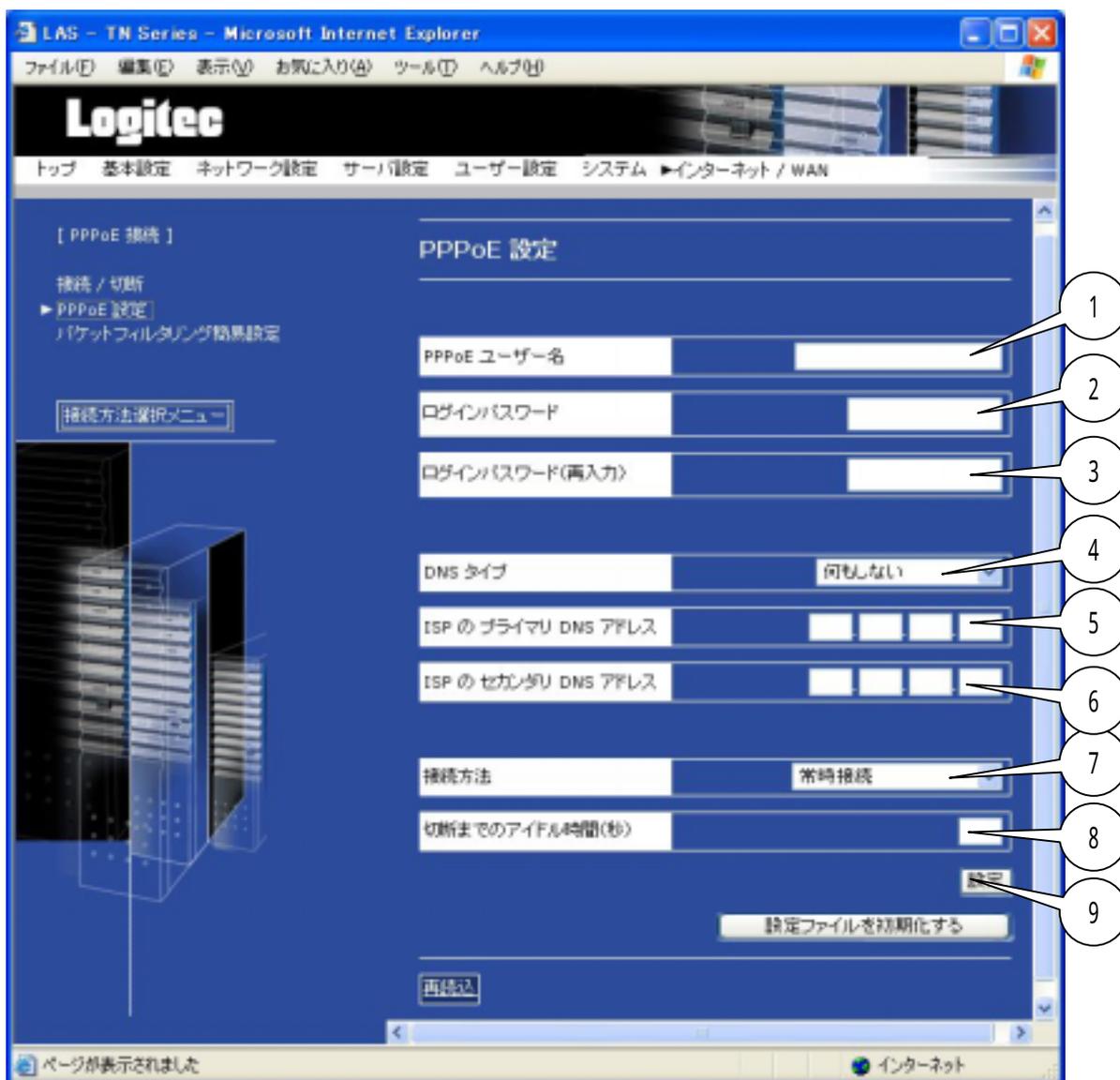
再起動後も PPPoE モジュールを有効にする場合は、「有効にする」をクリックして[実行] をクリックしてください。

初期値:無効にする

(システム起動時に PPPoE モジュールを有効設定にしても、お客様の回線状況によっては、再起動後も PPPoE モジュールが有効にならない場合があります。そのような場合は、「接続」をクリックし、接続を行ってください。)

## PPPoE 接続の設定

B 画面の[PPPoE 設定] をクリックして、PPPoE 接続の設定を行います。



各項目に対する設定内容は、お客様が加入されているプロバイダ(ISP : Internet Service Provider)毎に異なります。設定内容はネットワーク管理者またはご契約プロバイダの接続マニュアルにて御確認ください。

## PPPoE ユーザー名

ISP から提供されている PPPoE ログインユーザー名を入力します。

## ログインパスワード

ISP から提供されている PPPoE ログインパスワードを入力します。

## ログインパスワード(再入力)

ISP から提供されているログインパスワードを再度入力します。

## DNS タイプ

「何もしない」、「ISP から取得」、「DNS アドレスを指定」から一つ選択します。(フレッツ ADSL では「DNS アドレスを指定」を選択)

## ISP のプライマリ DNS アドレス

ISP から提供されているプライマリ DNS アドレスを入力します。

**「1.3.13 DNS 設定のフォワード-0」にも同じ値を入力してください。**

## ISP のセカンダリ DNS アドレス

ISP から提供されているセカンダリ DNS アドレスを入力します。

**「1.3.13 DNS 設定のフォワード-0」にも同じ値を入力してください。**

## 接続方法

常時接続 / コネクト・オン・デマンド を選択します。

コネクト・オン・デマンドを選択した場合、「切断までのアイドル時間」を設定しないと、常時接続の設定になります。

## 切断までのアイドル時間(秒)

一定時間通信がないときに回線を切断するまでの待ち時間を入力します。

## 設定ファイルを初期化する

設定した PPPoE 設定を初期化します。

各項目を入力後、[設定] をクリックしてください。

## パケットフィルタリング簡易設定 (Input ルールの設定)

パケットフィルタリングは、パケットのポート番号へのアクセスを制御し、不正なアクセスからデータ守ることができます。パケットの制御（通行の許可・禁止）は、特定のルールにより入力・出力・転送などに対して設定し、パケットの流通を制御します。通行させるルールにあてはまらないパケットは、受信しても破棄されることになります。



## Input ルール

入力の設定です。インターネット / WAN に特定のポートを公開するかどうかの設定を行います。「公開する」を設定すると、インターネット / WAN からのアクセスを許可します。「公開しない」を設定すると、インターネット / WAN からのアクセスを拒否します。

### www の設定

www 公開/拒否の設定をします。

www 公開/拒否を選択してください。

初期値: 公開しない

「公開にする」とインターネット側(外部)にホームページを公開することができます。

アクセスの方法は「[http://\(ISPから与えられたIPアドレス\)/index.html/](http://(ISPから与えられたIPアドレス)/index.html/)」などです。

(「4.1 ホームページの設定と公開方法」参照)

この項目で外部へ「公開にする」設定を行いますと、外部から不正にアクセスされる可能性があるため、ファイアウォールなど利用し、十分なセキュリティ対策をとることを推奨します。

### DNS の設定(サポートしていません。)

初期値の「公開しない」の設定のままお使いください。

### NETBIOS の設定(サポートしていません。)

初期値の「公開しない」の設定のままお使いください。

### printer の設定(サポートしていません。)

初期値の「公開しない」の設定のままお使いください。

### Appletalk の設定(サポートしていません。)

初期値の「公開しない」の設定のままお使いください。

### Web ツールの設定

Web ツール公開/拒否の設定をします。

Web ツール公開/拒否を選択してください。

初期値: 公開しない

「公開にする」とインターネット側(外部)に本機の Web ツール設定(管理/設定画面)を公開することができます。

アクセスの方法は「[http://\(ISPから与えられたIPアドレス\):8888/nas/](http://(ISPから与えられたIPアドレス):8888/nas/)」です。

この項目で外部へ「公開にする」設定を行いますと、外部から不正にアクセスされる可能性があるため、ファイアウォール設置など利用し、十分なセキュリティ対策をとることを推奨します。

### WAN 側からのプライベート IP アドレスによるアクセスを拒否する(サポートしていません。)

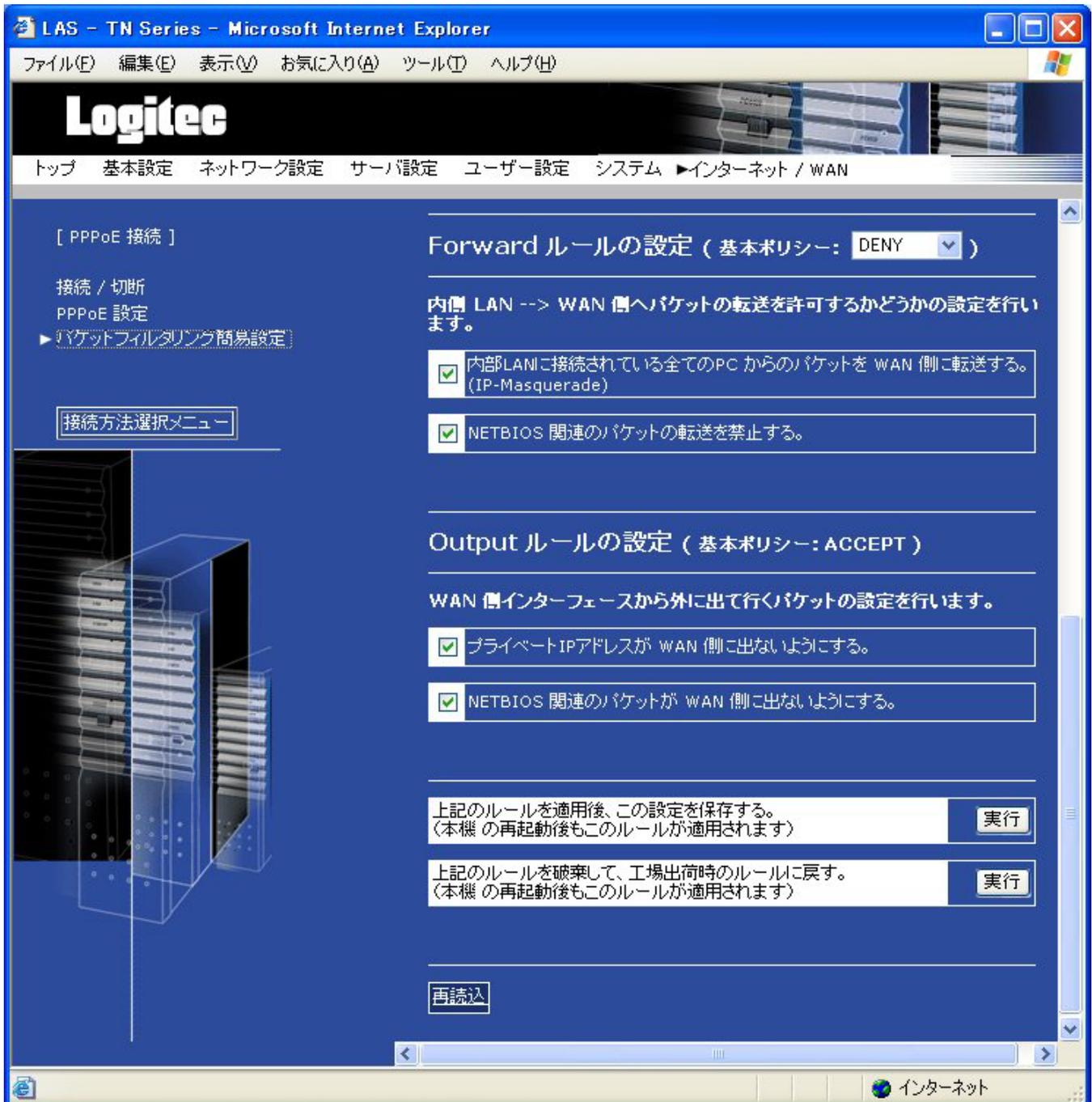
初期値の「ON」のチェックをつけたままの設定でお使いください。

各項目(Input、Forward、Output ルール)を設定後、一番下にある [実行] をクリックしてください。

通常、初期設定で一般的なインターネットサービスを利用できます。

## パケットフィルタリング簡易設定 (Forward/Output ルールの設定)

パケットフィルタリング簡易設定 (Input ルールの設定) の画面を下に移動して下さい。下図のような画面が現れます。



**このような画面が表示されますが、サポートしておりませんので、この画面の項目につきましては初期値のまま、お使いください。**

### 第2章 クライアントPCの設定

#### 2.1 ユーザー設定手順の流れ

##### 接 続

コンピュータをネットワークに接続する。 [2.2 コンピュータをネットワークに接続する]

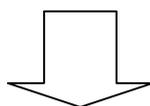
TCP/IPの設定をする。 [2.3 TCP/IPの設定]

Windows XP/2000の場合 [2.3.1 TCP/IPの設定(Windows XP/2000)]

Windows Me/98の場合 [2.3.2 TCP/IPの設定(Windows Me/98)]

Windows NT 4.0の場合 [2.3.3 TCP/IPの設定(Windows NT 4.0)]

Mac OSの場合 [2.3.4 TCP/IPの設定(Mac OS)]



##### 機 能 別 の 設 定

ハードディスクを使用する。 [2.4 ファイルサーバとして利用する]

Windowsの場合 [2.4.1 ファイルサーバとして利用する(Windows)]

Mac OSの場合 [2.4.2 ファイルサーバとして利用する(Mac OS)]

インタ - ネットに接続する。 [2.5 インタ - ネットに接続する]

Windows XP/2000の場合 [2.3.1 TCP/IPの設定(Windows XP/2000の場合)]

Windows Me/98の場合 [2.3.2 TCP/IPの設定(Windows Me/98の場合)]

Windows NT 4.0の場合 [2.3.3 TCP/IPの設定(Windows NT 4.0の場合)]

Mac OSの場合 [2.3.4 TCP/IPの設定(Mac OS)]

プリンタを使用する。 [2.6 プリンタを使用する (Windows)]

ネットワークプリンタ [2.6.1 ネットワークプリンタの共有及びスプール領域としての設定]

本機に接続したプリンタ [2.6.2 本機に接続しプリンタの共有及びスプール領域としての設定]

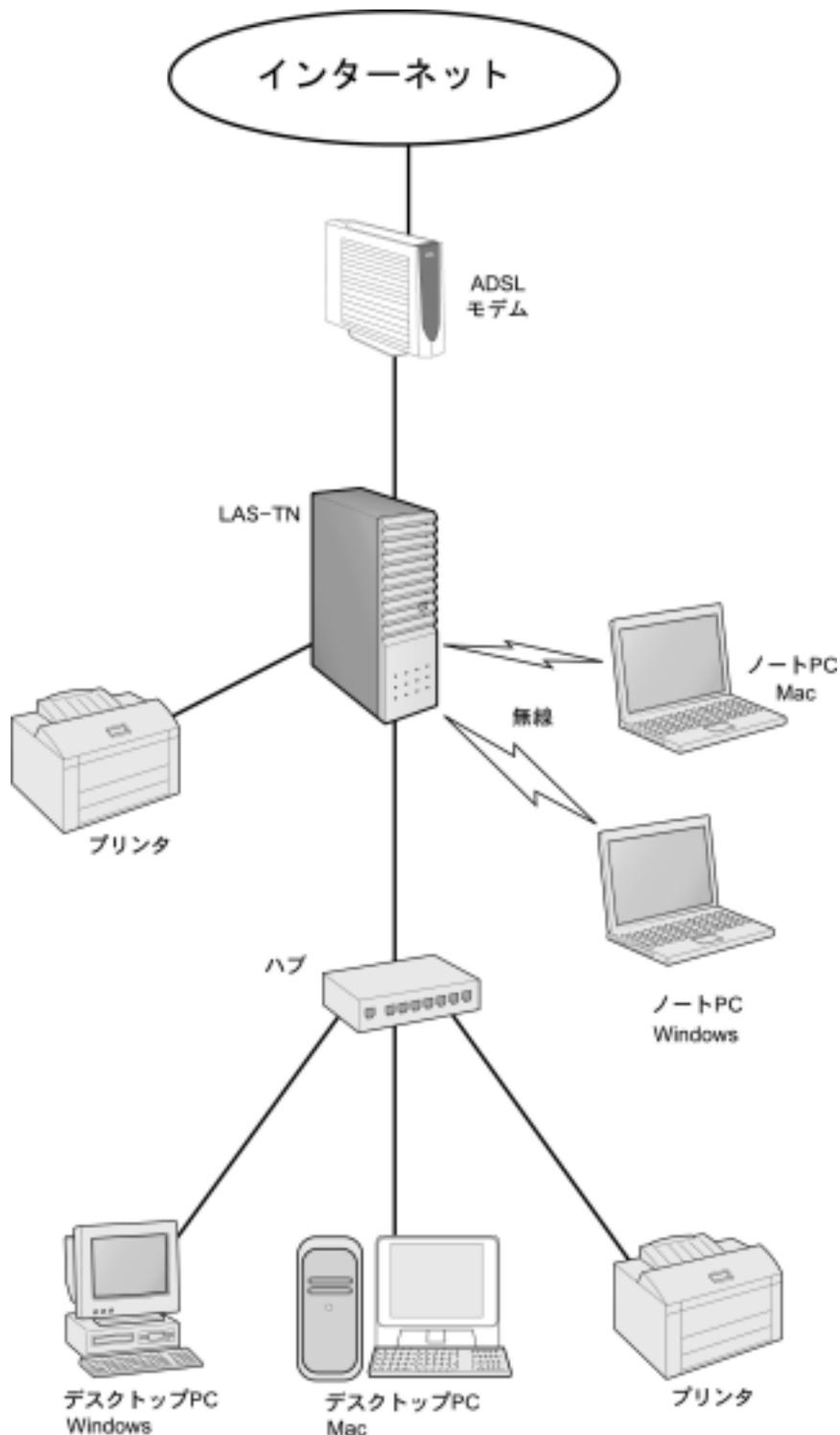
Mac OS ではプリンタを使用できません。

## 2.2 コンピュータをネットワークに接続する

本機を使用するためには、同じネットワーク上にコンピュータが接続されている必要があります。

以下の手順で接続します。

1. ご使用のコンピュータをシャットダウンします。
2. ご使用のコンピュータを本機が接続されているネットワークに接続します。
3. ご使用のコンピュータの電源を入れます。



無線 LAN 通信やインターネット接続の共有は LAS-TNxxAP のみの機能となります。

無線クライアントパソコン設定はクライアントに搭載されているカードによって設定の仕方が異なりますので、クライアントに搭載されている無線カードの設定マニュアル等を参照してください。

## 2.3 TCP/IP の設定

本機を使用するためには、TCP/IP の設定が必要です。以下に OS ごとの TCP/IP の設定手順を示します。

- |                     |                                       |
|---------------------|---------------------------------------|
| Windows XP/2000 の場合 | 2.3.1 TCP/IP の設定(Windows XP/2000 の場合) |
| Windows Me/98 の場合   | 2.3.2 TCP/IP の設定(Windows Me/98 の場合)   |
| Windows NT 4.0 の場合  | 2.3.3 TCP/IP の設定(Windows NT 4.0 の場合)  |
| Mac OS の場合          | 2.3.4 TCP/IP の設定(Mac OS)              |

### 2.3.1 TCP/IP の設定(Windows XP/2000 の場合)

- Windows XP Administrator 権限でログインして、[スタートメニュー] - [マイネットワーク](右クリック) - [プロパティ]
- Windows 2000 Administrator 権限でログインして、[マイネットワーク](右クリック) - [プロパティ]

#### Windows XP の場合



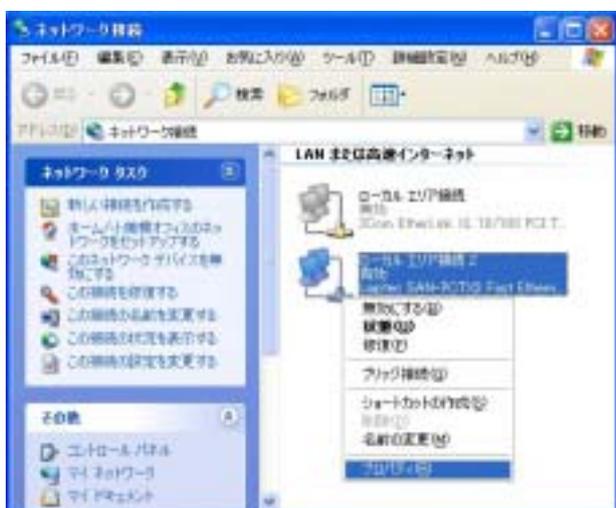
#### Windows 2000 の場合



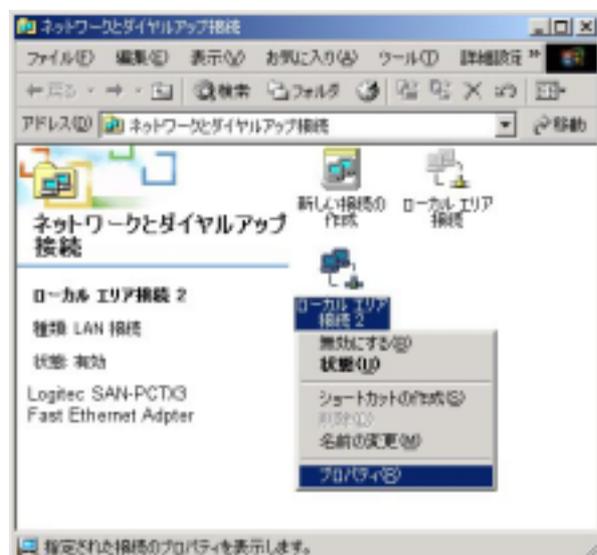
- [ローカルエリア接続](右クリック) - [プロパティ]を選択。

ここでは、ネットワークアダプタに弊社 Logitech 製 SAN-PCTX3 Fast Ethernet Adapter を使用しています。また、ネットワーク上に二枚以上カードが動作している場合は、一枚のみ有効にしてご使用ください。(ネットワークカードの「無効」にする方法は付録を参照ください。)

#### Windows XP の場合



#### Windows 2000 の場合

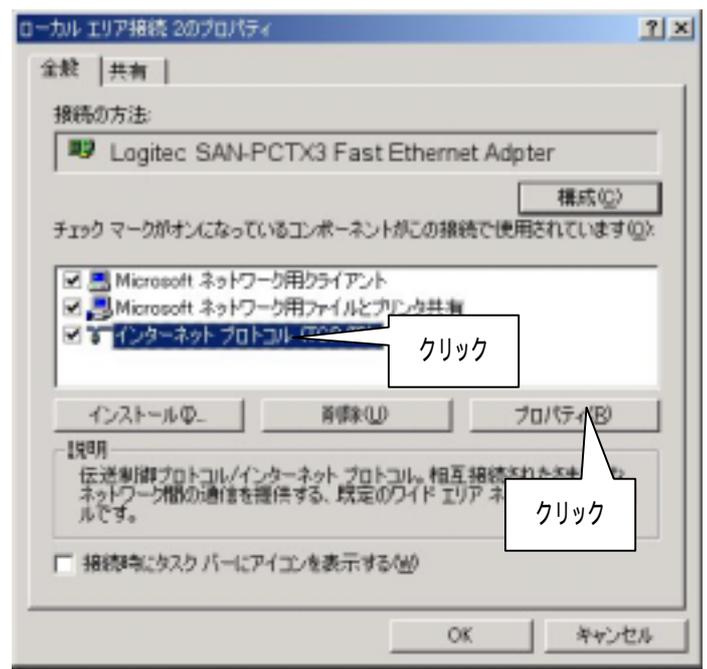


1. [インターネットプロトコル(TCP/IP)] クリック - [プロパティ]をクリック。

Windows XP の場合



Windows 2000 の場合



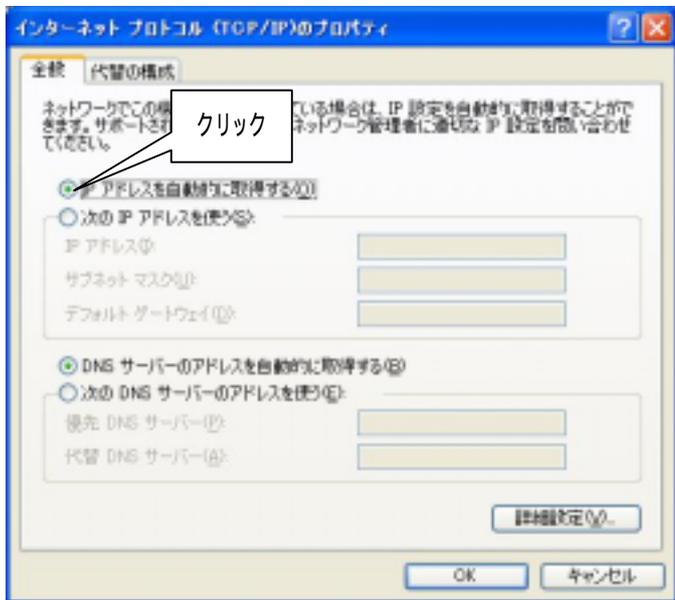
接続方法の欄に弊社「Logitech 製 SAN-PCTX3 Fast Ethernet Adapter」とありますが、この部分は使用するネットワークアダプタのデバイス名が表示されます。ネットワークアダプタが複数ある場合は使用するほうの [TCP/IP -> xxxxxxx] を選択します。

1. 「IP 設定」 設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

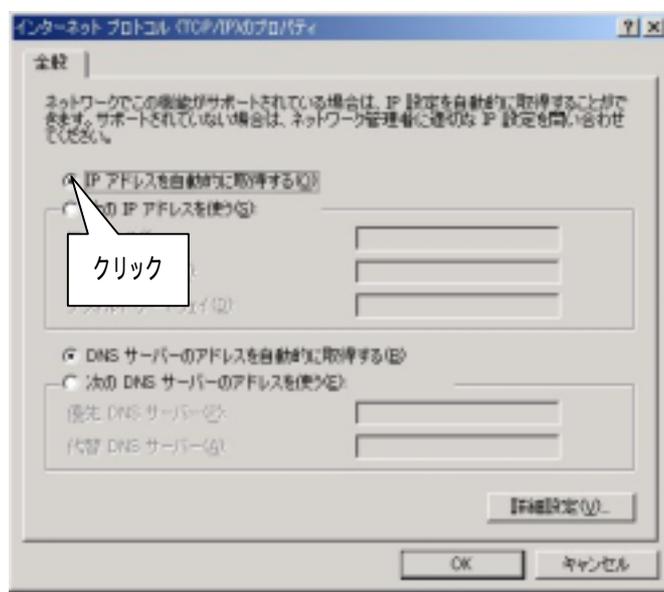
**[ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合]**

[IP アドレスを自動的に取得] を選択(下図) - [O.K.] をクリック。本機を DHCP サーバとしている場合も含まれます。

**Windows XP の場合**



**Windows 2000 の場合**



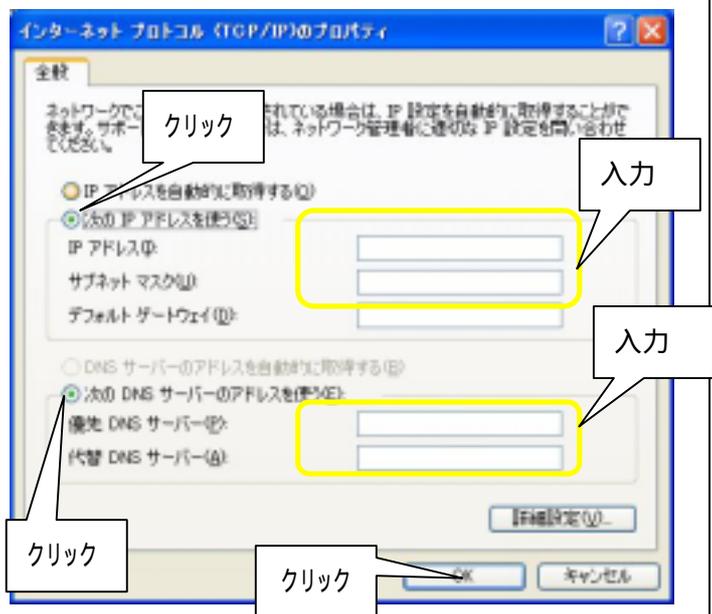
**[ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合]**

[次の IP アドレスを使う] を選択してください。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「優先 DNS サーバー」、「代替 DNS サーバー」を入力し、設定終了後に [O.K.] をクリックしてください。

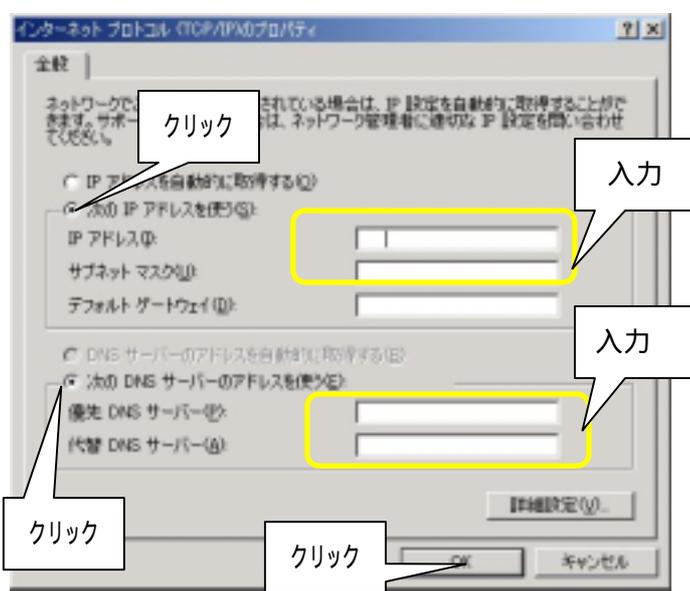
インターネット接続の共有をしないのであれば、下記の「デフォルトゲートウェイ」、「優先 DNS サーバー」、「代替 DNS サーバー」の設定必要ありません。

設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

**Windows XP の場合**



**Windows 2000 の場合**



## 2.3.2 TCP/IP の設定(Windows Me/98 の場合)

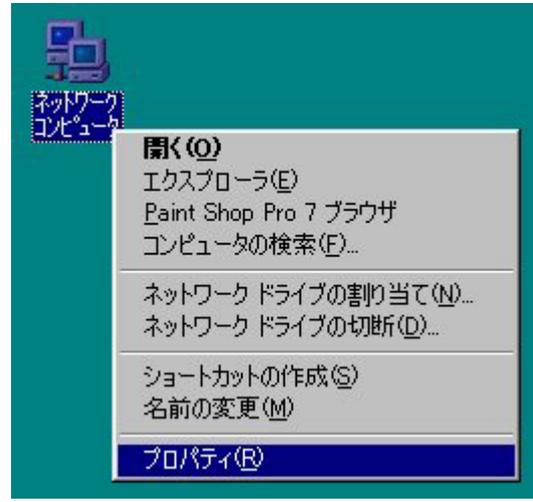
1. WindowsMe の場合: デスクトップ上の[マイネットワーク](右クリック) - [プロパティ]

Windows98 の場合: デスクトップ上の[ネットワークコンピュータ](右クリック) - [プロパティ]

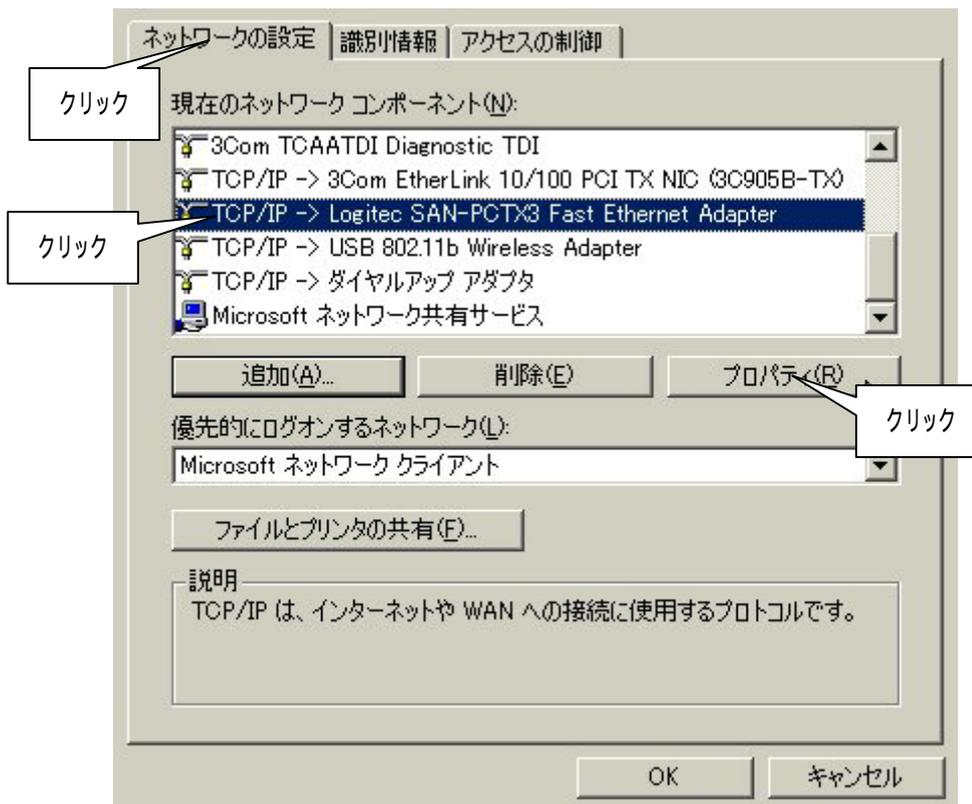
## Windows Me の場合



## Windows 98 の場合



2. [ネットワーク設定]タブを選択し - [プロパティ]を選択。



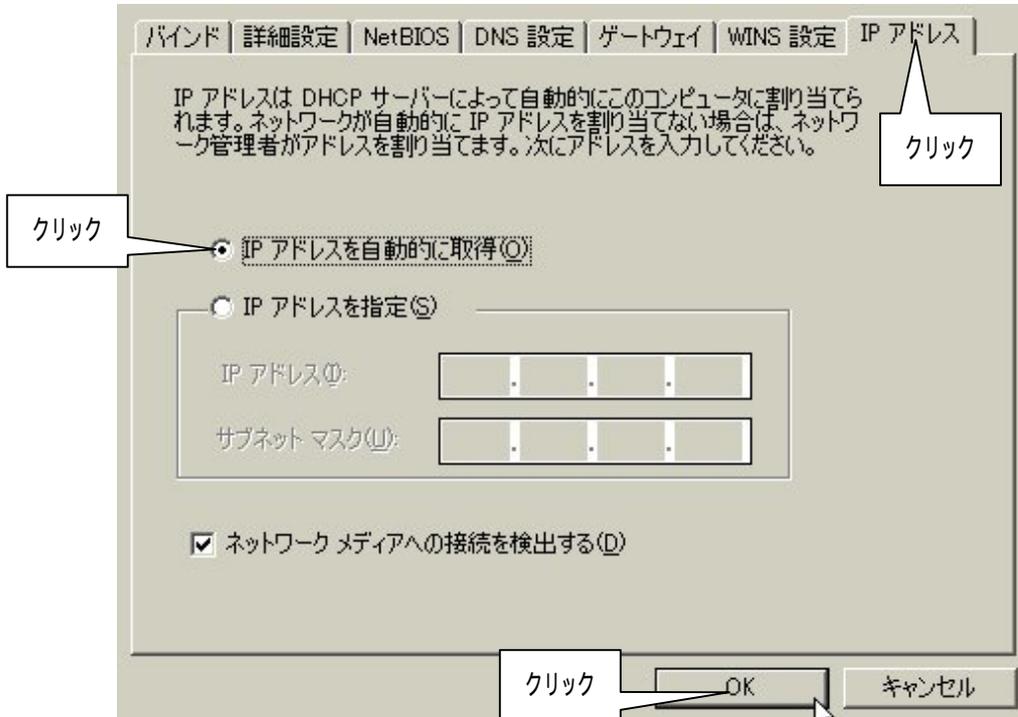
TCP/IP の後に弊社 Logitech 製 SAN-PCTX3 Fast Ethernet Adapter とありますが、この部分は使用するネットワークアダプタのデバイス名が表示されます。ここでは、ネットワークアダプタに弊社 Logitech 製 SAN-PCTX3 Fast Ethernet Adapter を使用しています。また、ネットワーク上に二枚以上カードが動作している場合は、一枚のみ有効にしてご使用ください。(ネットワークカードの「無効」にする方法は付録を参照ください。)

### 3. 「IP 設定」

設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

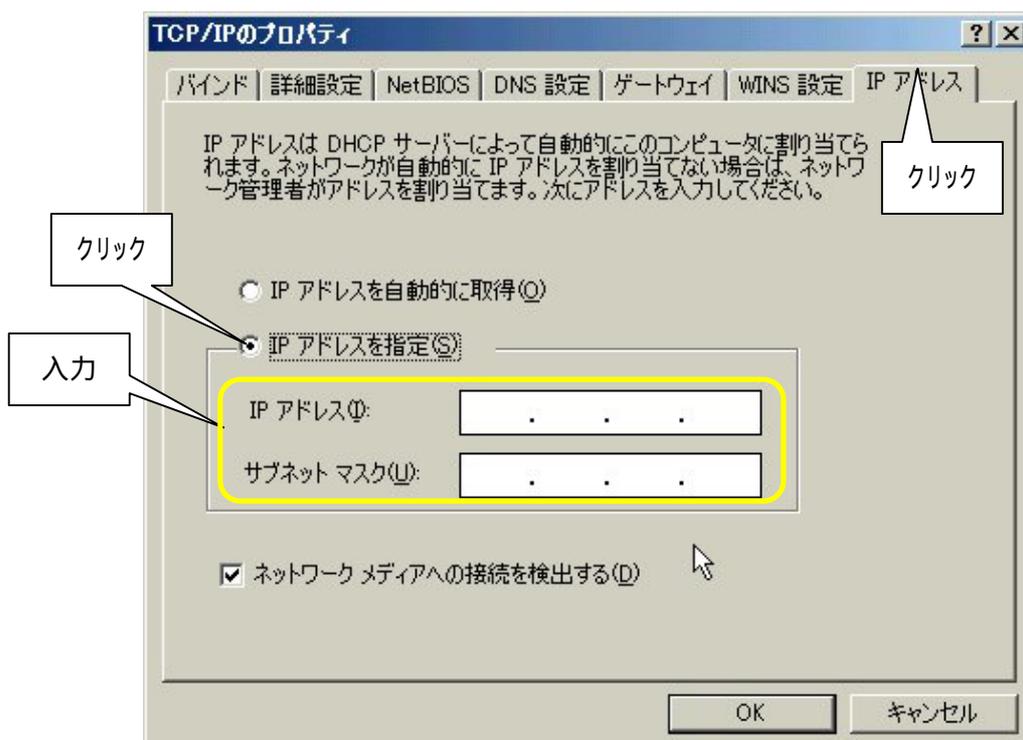
#### [ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合]

[IP アドレスを自動的に取得] を選択し、設定終了後に [O.K.] をクリックしてください。  
本機を DHCP サーバとしている場合も含まれます。



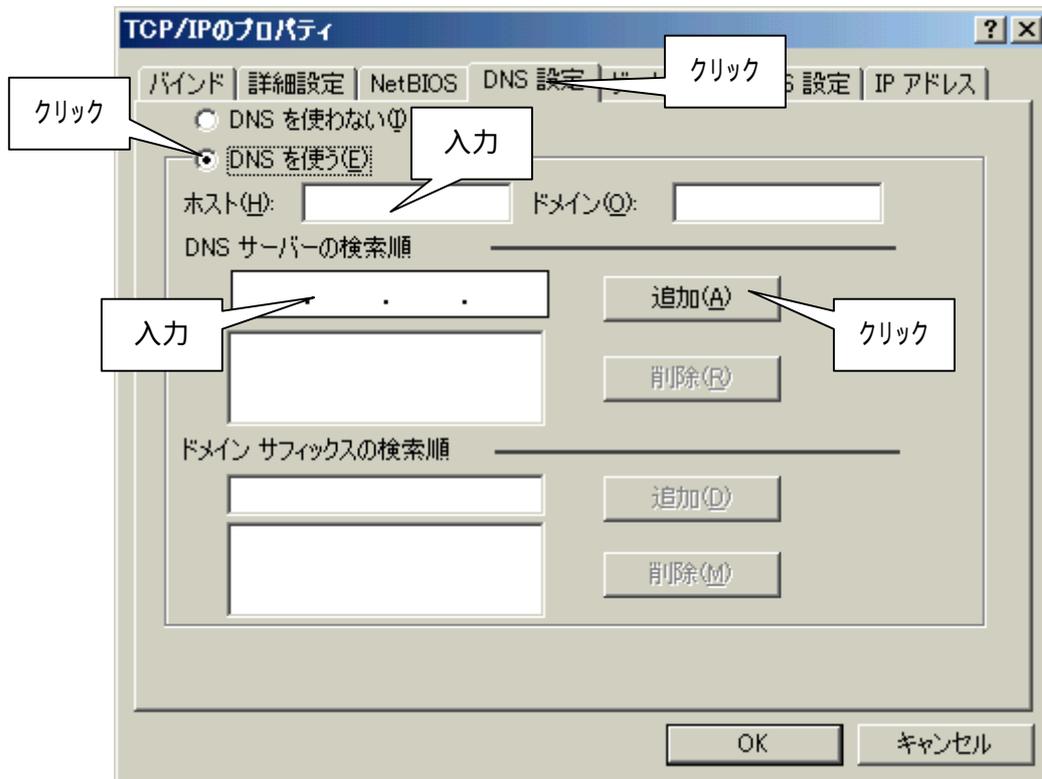
#### [ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合]

「IP アドレス」タブを選択し、「IPアドレスを指定」を選択してください。次に「IP アドレス」、「サブネットマスク」を入力し設定終了後に [O.K.] をクリック。設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

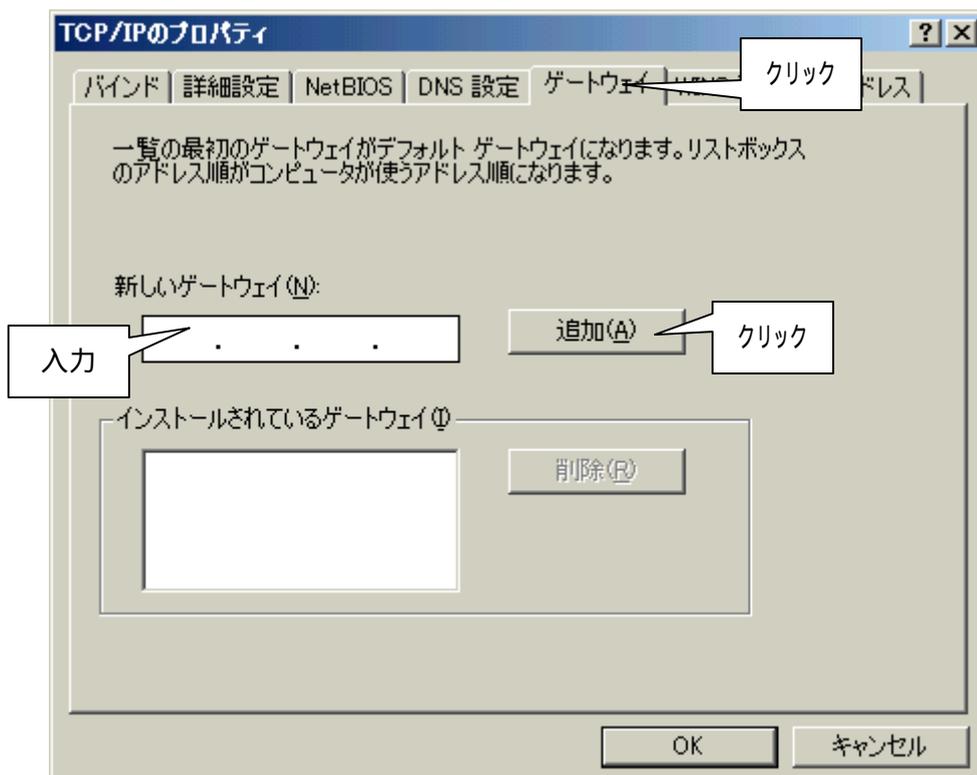


インターネット接続の共有をしないのであれば、下記の 4、5 の設定は必要ありません。

4. 「DNS 設定」タブを選択し、「DNS を使う」を選択、「ホスト」、「DNS サーバーの検索順」を入力後「追加」をクリックしてください。



5. 「ゲートウェイ」タブを選択し、「新しいゲートウェイ」に本機の IP アドレスを入力して「追加」をクリックしてください。設定内容については、ネットワーク管理者に御確認ください。(「サーバ設定」 - 「DHCP サーバ設定」を参考にしてください)



### 2.3.3 TCP/IP の設定(Windows NT 4.0)

Windows NT 4.0 で TCP/IP の設定するときには以下の手順で行います。

1. Administrator 権限でログインし、[マイコンピュ - タ] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] を開きます。
2. [プロトコル] タブを選択し、[TCP/IP プロトコル] 選択した後、[プロパティ] をクリックします。(下図)

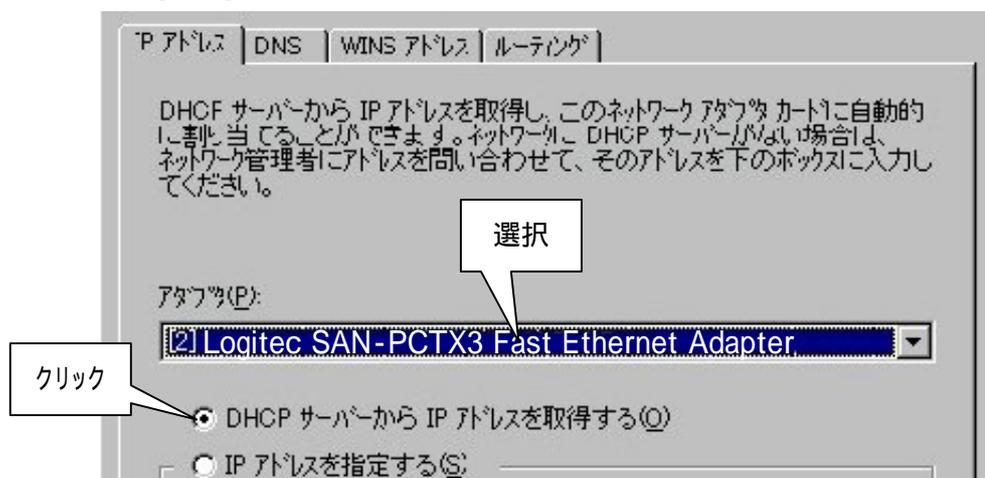


#### 「IP 設定」

設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

#### [ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合]

[IP アドレス] のタブを選択して、ご使用のネットワークアダプタを選択後、[IP アドレスを自動的に取得する] を選択します。設定が終了したら、[O.K.] をクリックしてください。 本機を DHCP サーバとしている場合も含まれます。

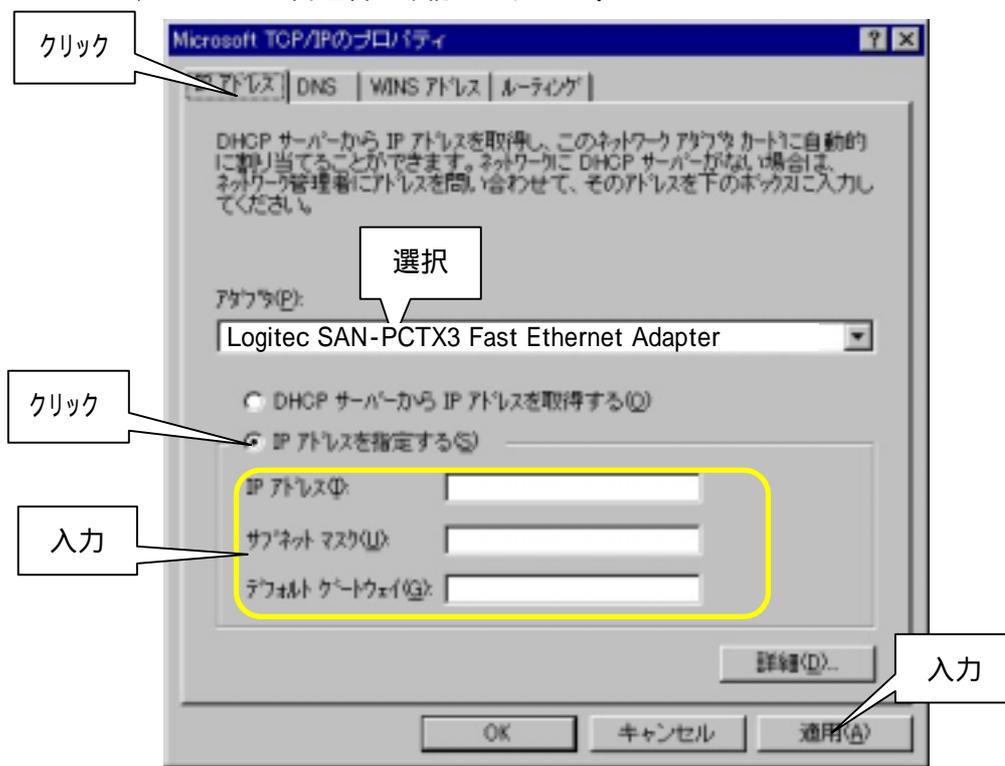


「アダプタ」欄に弊社 Logitech 製 SAN-PCTX3 Fast Ethernet Adapter とありますが、この部分は使用するネットワークアダプタのデバイス名が表示されます。ここでは、ネットワークアダプタに弊社 Logitech 製 SAN-PCTX3 Fast Ethernet Adapter を使用しています。また、ネットワーク上に二枚以上カードが動作している場合は、一枚のみ有効にしてご使用ください。(ネットワークカードの「無効」にする方法は付録を参照ください。)

**[ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合]**

4. [IP アドレス] のタブを選択して、ご使用のネットワークアダプタを選択後、 [IP アドレスを指定する] を選択して、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

インターネット接続の共有をしないのであれば、下記の「デフォルトゲートウェイ」の設定必要ありません。  
設定については、ネットワーク管理者に確認してください。



5. [DNS] タブを選択し、 [ホスト名] を入力し、[DNS サービスの検索順序]を入力し終わったら[追加]をクリックしてください。全ての入力が終了したら、[適用]の次に[O.K.] をクリックします。

他のコンピュータと重複しない任意の名前を入力してください。ホスト名は、通常コンピュータ名と同一の文字列を指定します。

インターネット接続の共有をしないのであれば、下記の設定必要ありません。



## 2.3.4 TCP/IP の設定(Mac OS)

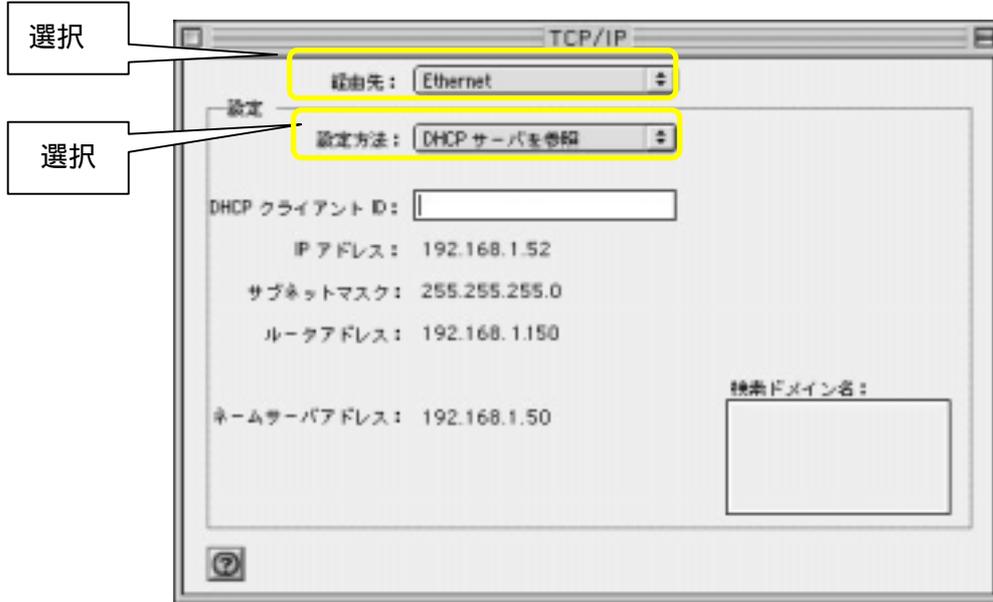
Mac OS で TCP/IP の設定するときには以下の手順で行います。

1. [アップルメニュー -] - [コントロールパネル] - [TCP/IP] を開きます。
2. [TCP/IP] 画面で、IP アドレスの設定を行います。 設定についてはネットワーク管理者に確認してください。

### [ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合]

(ア) [経由先] の選択を行ってください。(お客様の環境によって異なります。)

(イ) [DHCP サーバを参照] を選択します。 本機を DHCP サーバとしている場合も含まれます。



### [ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合]

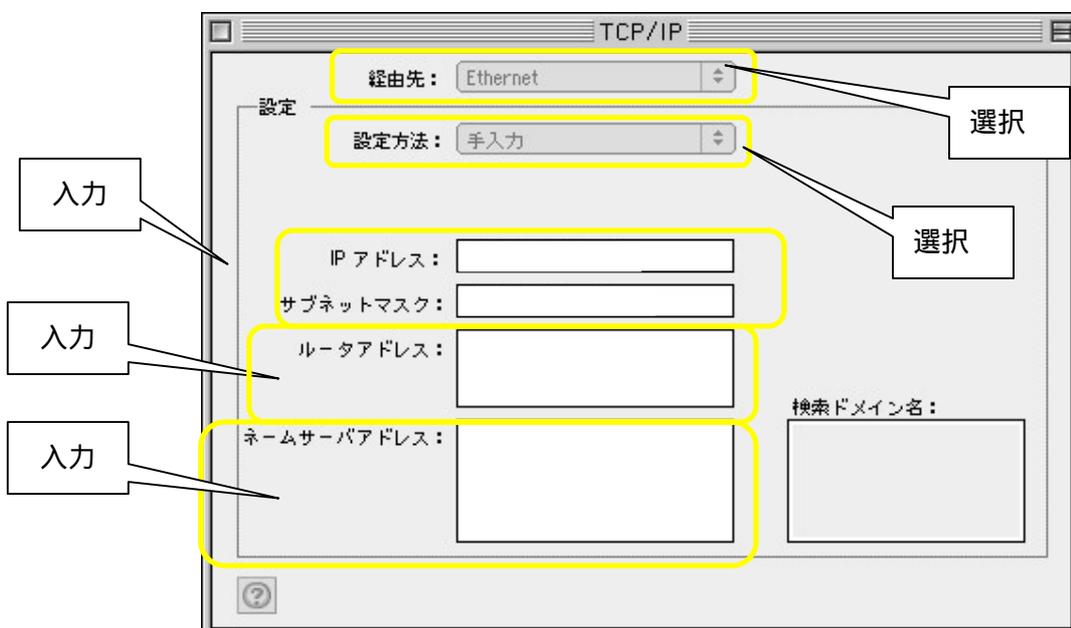
(ア) [経由先] の選択を行ってください。(お客様の環境によって異なります。)

(イ) [設定方法] の欄で「手入力」を選択してください。

(ウ) [IP アドレス]、[サブネットマスク]を設定し、[ルータアドレス] に本機の IP アドレスを入力し、次に [ネームサーバアドレス] を入力します。

インターネット接続の共有をしないのであれば、下記の[ルータアドレス]、[ネームサーバアドレス]設定必要ありません。

設定内容については、ネットワーク管理者に御確認ください。



### 2.3.5 Windows XP/2000 の場合

TN セットアップツールを使用する場合はクライアントカードが複数動作していると正常に動作しません。その為、2枚以上のクライアントカードが動作している環境では、1枚のみ動作している環境に設定変更する必要があります。

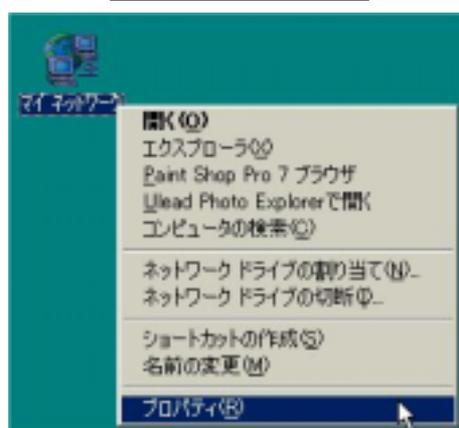
以下に、ネットワークカードを無効に設定する手順を示します。

1. Windows XP Administrator 権限でログインして、[スタートメニュー] - [マイネットワーク](右クリック) - [プロパティ]  
Windows 2000 Administrator 権限でログインして、[マイネットワーク](右クリック) - [プロパティ]

#### Windows XP の場合



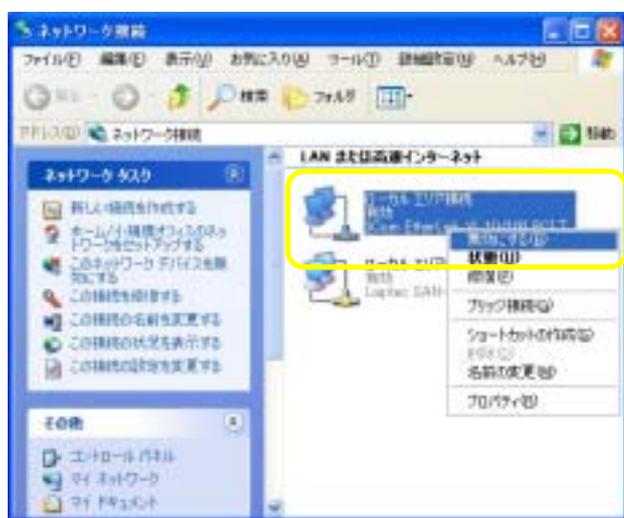
#### Windows 2000 の場合



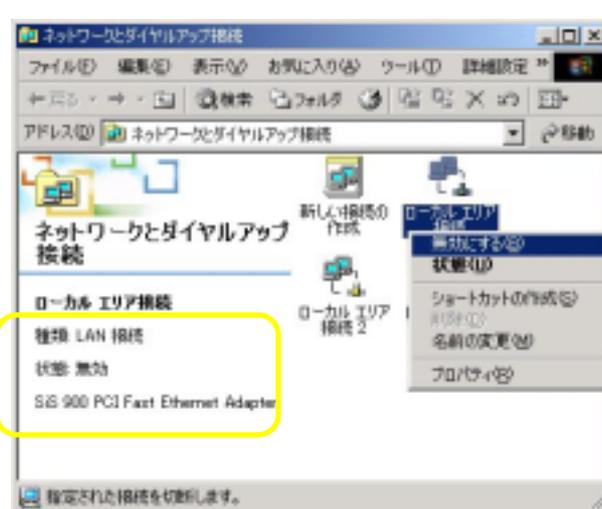
2. [ローカルエリア接続](右クリック) - [無効にする]を選択。

「無効」にしたい、LAN カードを選択してください。

#### Windows XP の場合



#### Windows 2000 の場合



3. その後、[ローカルエリア接続](右クリック) - [無効にする]を選択
4. 2 の設定画面の、枠の中の表示が以下のようになりましたら設定完了です。

#### Windows XP の場合



#### Windows 2000 の場合



### 2.3.6 Windows Me/98 の場合

ネットワークカードを無効に設定するには以下の設定で行ってください。

1. [マイネットワーク](右クリック) - [プロパティ]



2. 「デバイスマネージャ」タブ選択、「ネットワークアダプタ」選択、「無効にしたいLANカード選択」、「プロパティ」クリック



3. 「このハードウェア プロファイルで使用付加にする」にチェックを を付けます。次に「OK」をクリック。



4. 下図のように 2 で選択したカードに「×」が表示されていれば設定 (無効) 完了です。



- 白 ネットワーク アダプタ
  - 3Com EtherLink 10/100 PCI TX NIC (GC905B-TX0)
  - Logitec SAN-PCTX3 Fast Ethernet Adapter
  - ダイヤルアップ アダプタ

## 2.4 ファイルサーバとして利用する

ご使用のコンピュータをネットワークに接続し、TCP/IP の設定が終了したら本機をファイルサーバとして使用できます。

以下に OS ごとのファイルサーバとして利用する為の設定手順を示します。

Windows の場合                    2.4.1 ファイルサーバとして利用する(Windows)

Mac OS の場合                    2.4.2 ファイルサーバとして利用する(Mac OS)

### 2.4.1 ファイルサーバとして利用する(Windows)

以下の手順で共有フォルダにアクセスして使用します。(参考例)

1. Windows XP の場合                    : [スタートメニュー] - [マイネットワーク]を開きます。
- Windows Me/2000/NT 4.0 の場合    : デスクトップ上の[ネットワークコンピュータ]を開きます。
- Windows98 の場合                    : デスクトップ上も[ネットワークコンピュータ]を開きます。

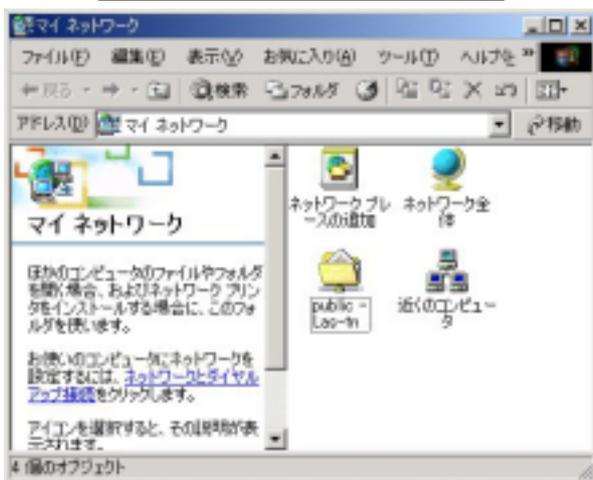
#### Windows XP の場合



#### Windows 98 の場合



#### Windows Me/2000/NT 4.0 の場合



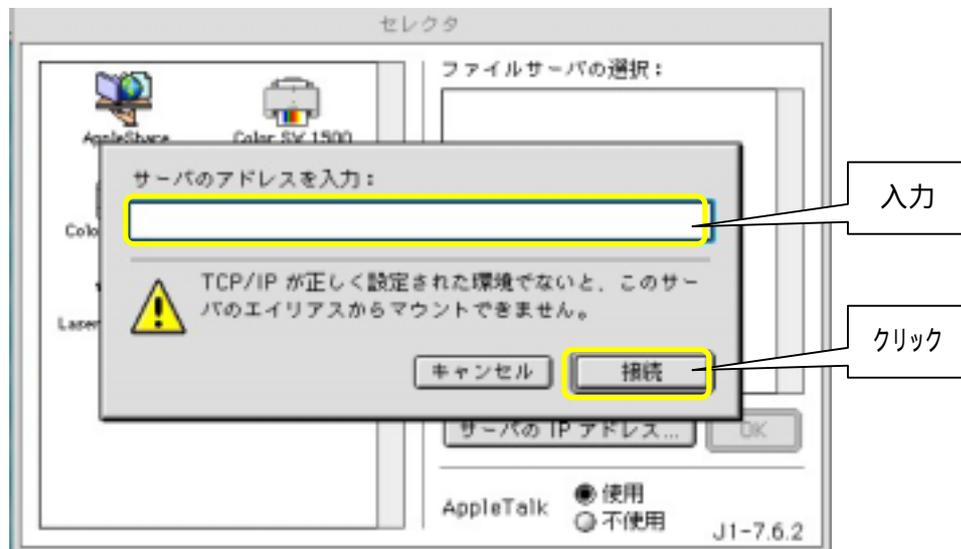
本機へ、ファイルなどを移動した場合、ファイルなどの属性は反映されませんのでご注意ください。

上記の方法で本機にアクセスすることが通常はできるのですが、一時的現象として上記方法で表示されない場合があります。本機が見つからない場合は「2.4.3 本機の検索」を参照ください。

## 2.4.2 B.ファイルサーバとして利用する (Mac OS)

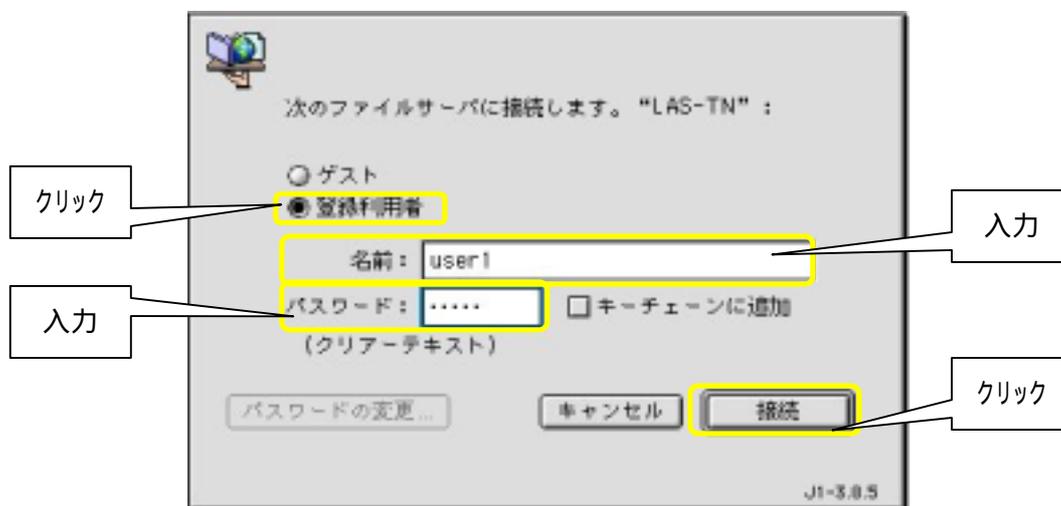
以下の手順で、管理者が設定した共有フォルダにアクセスして使用します。

1. [アップルメニュー - ] - [セクタ] を選択します。
2. [AppleShare] を選択します。
3. [サーバの IP アドレス] をクリックし、サーバの IP アドレスを入力します。(例: 192.168.1.50)

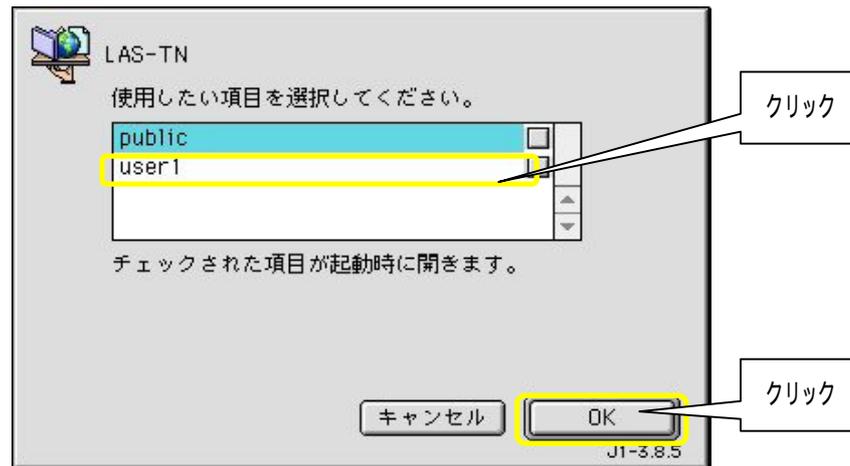


4. 下図の画面が表示されたら、[登録利用者] を選択して、[接続] をクリックします。  
下図では [登録利用者] を選択しています。

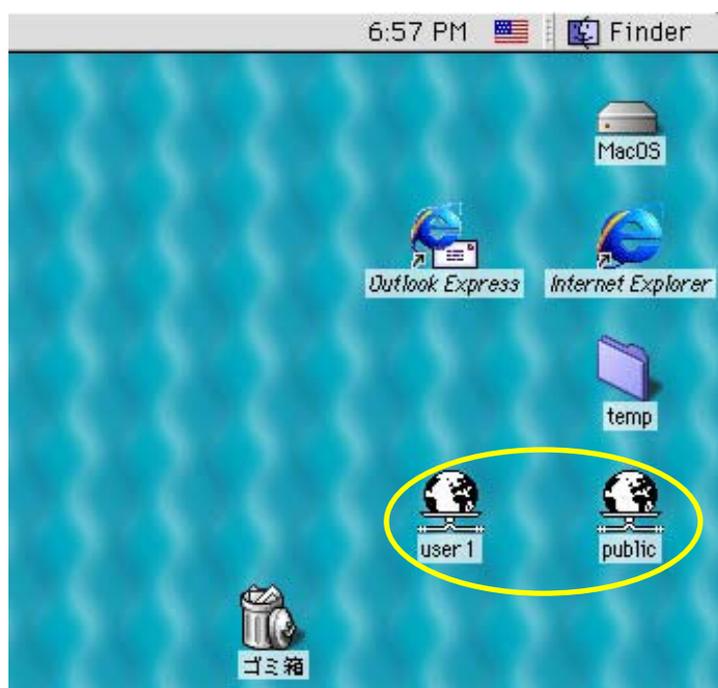
Mac OS では[ゲスト]ではログイン(使用)できません。



5. 共有されているフォルダが表示されたら、選択して [O.K.] をクリックします。(下図)  
下図は、本機の共有フォルダが public、user1(ユーザーホームディレクトリ)の状態です。



6. 下図のように、デスクトップにネットワークドライブがマウントされ、ダブルクリックすることで使用できます。



### 2.4.3 本機の検索 (Windows)

[マイネットワーク]などを開き本機にアクセスすることが通常はできるのですが、一時的現象として [マイネットワーク] に表示されない場合があります。本機が見つからない場合は以下のような方法で本機にアクセスすることができます。

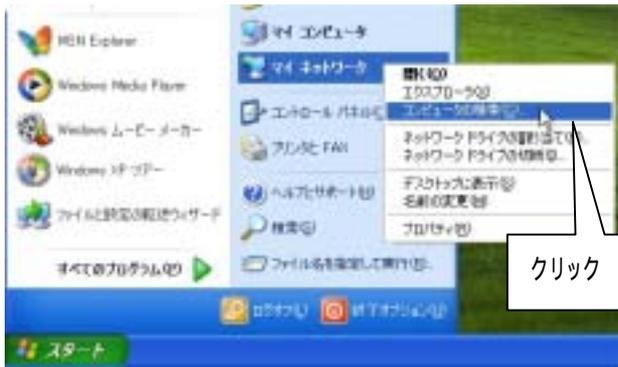
7. 本機をネットワーク上から見つけ出します。

Windows XP では[スタートメニュー] [マイネットワーク](右クリック) [コンピュータの検索]

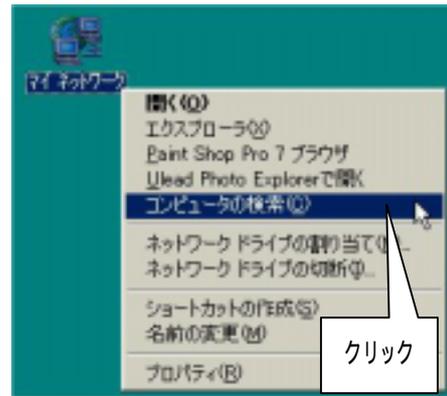
Windows Me/98/2000/NT 4.0 ではデスクトップ上の[マイネットワーク](右クリック) [コンピュータの検索]

**注**(Windows 98 と NT 4.0 では「ネットワークコンピュータ」(右クリック) [コンピュータの検索])

#### Windows XP の場合



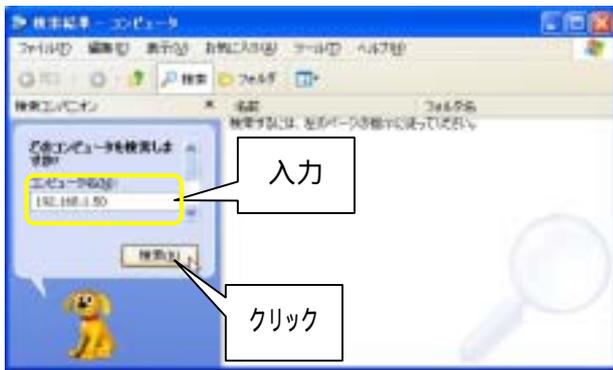
#### Windows Me/98/2000/NT 4.0 **注**の場合



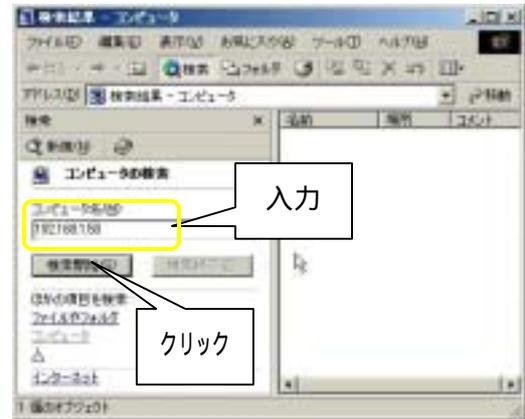
8. コンピュータ名 (本機の IP アドレスでも可) を入力し、[検索開始] をクリックします。

本機のコンピュータ名、IP アドレスはネットワーク管理者にご確認ください。

#### Windows XP の場合

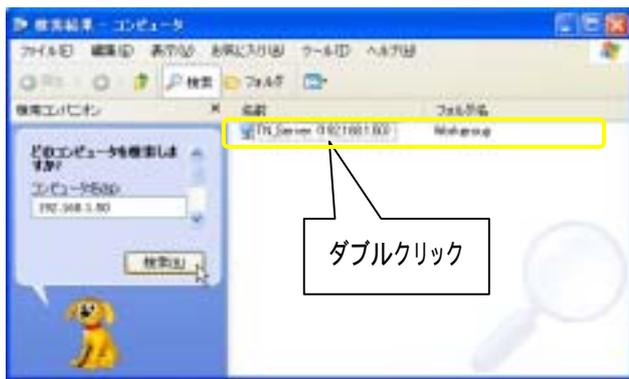


#### Windows Me/98/2000/NT 4.0 の場合

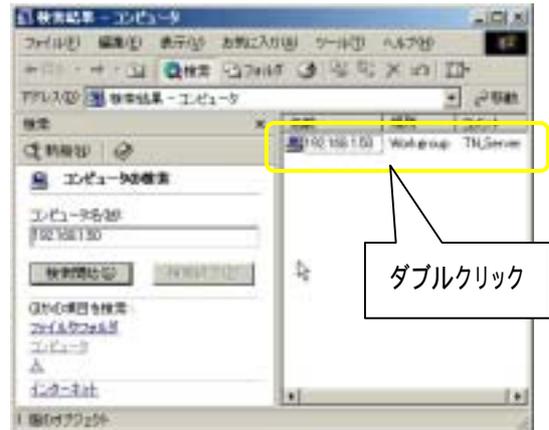


9. 本機が見つかり、ダブルクリックする

Windows XP の場合



Windows Me/98/2000/NT 4.0 の場合

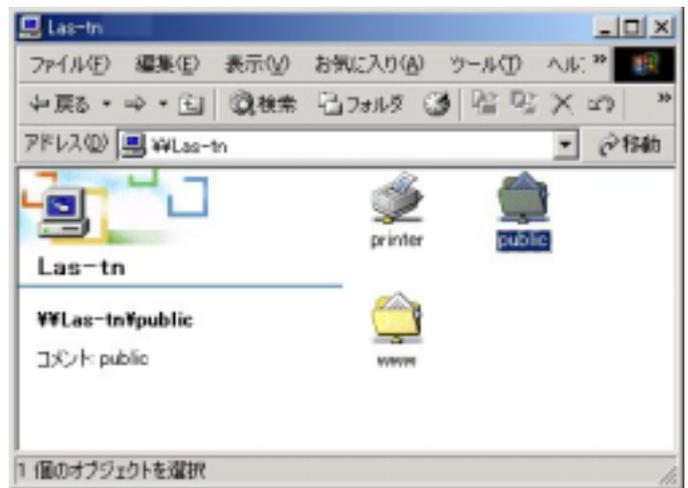


10. 「public」へのアクセスが可能です。

Windows XP の場合



Windows Me/98/2000/NT 4.0 の場合



## 2.5 インターネットに接続する

本機に接続した ADSL モデムを使用してインターネットに接続するためには、IP アドレスのほかに、DNS とゲートウェイの設定が必要です。ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合と、DHCP サーバが存在しない場合では設定方法が異なります。

### ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合

ネットワーク上に存在する DHCP サーバから、クライアント PC が TCP/IP の情報 (DNS やゲートウェイの情報など) を取得できるのであれば、簡単にインターネットに接続できます。

本機を DHCP サーバとして起動している場合も含まれます。

本機の「TCP/IP の設定」の設定が正確にできていれば、簡単にインターネットに接続できます。

### ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合

ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合には、TCP/IP の情報 (DNS やゲートウェイの情報など) を各クライアント PC ごとに行う必要があります。OS ごとに設定手順が異なります。

2.3 TCP/IP の設定の DHCP サーバが存在しない時の設定を行ってください。

Windows XP/2000 の場合                      2.3.1 TCP/IP の設定 (Windows XP/2000 の場合)

Windows Me/98 の場合                        2.3.2 TCP/IP の設定 (Windows Me/98 の場合)

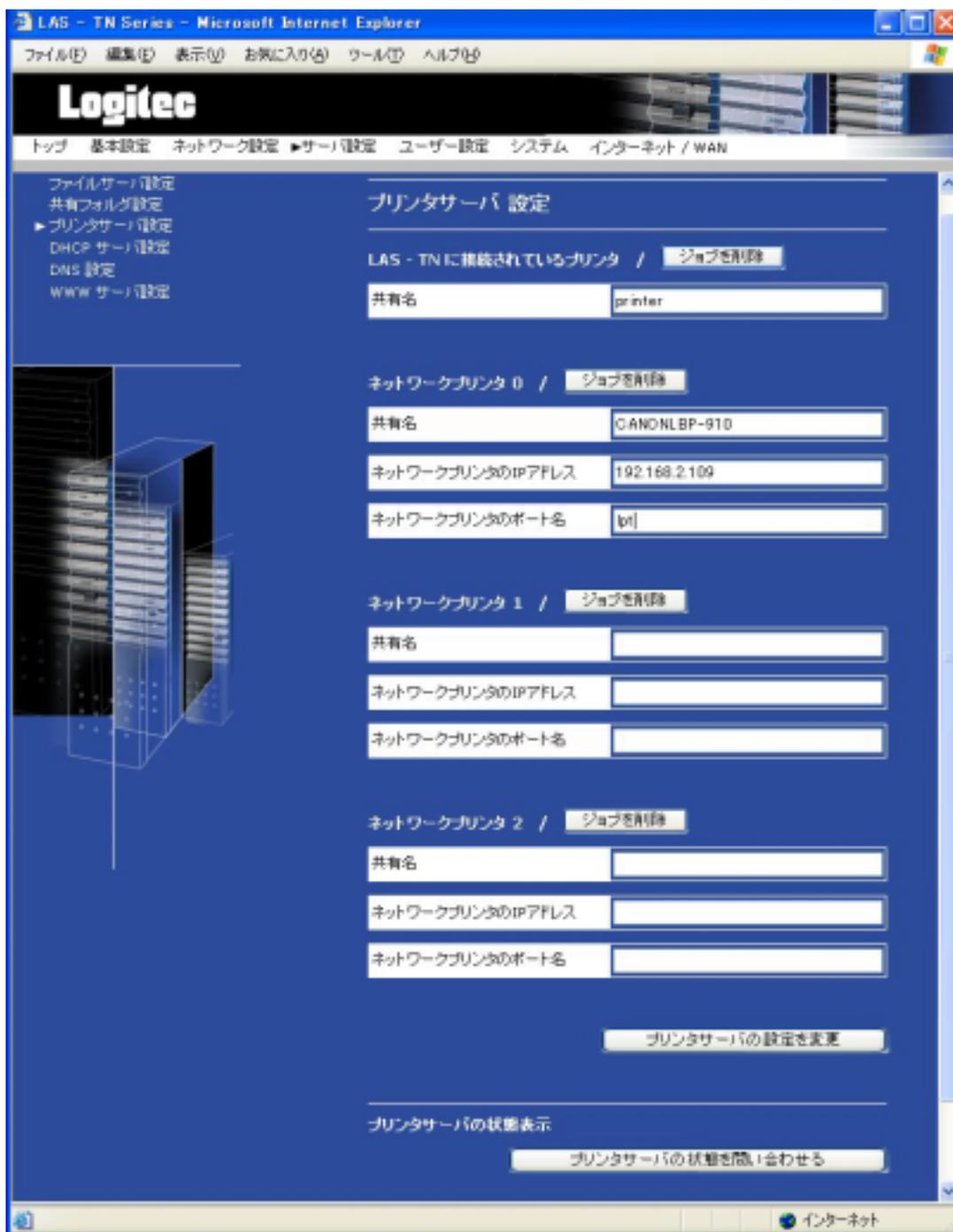
Windows NT 4.0 の場合                      2.3.3 TCP/IP の設定 (Windows NT 4.0 の場合)

Mac OS の場合                                2.3.4 TCP/IP の設定 (Mac OS)

上記ページの参照し DNS やゲートウェイの設定をしてください。

設定終了後、お使いの Web ブラウザを起動し、インターネットへの接続が確認できたら終了です。

## 2.6 プリンタを使用する



ネットワークプリンタには「CANON 製 CANON LASER SHOT LBP-910」を使用しています。(ネットワークプリンタはすでにネットワーク上で正しく動作している必要があります。)

設定パソコンは Windows XP を使用しています。

「1.3.11 プリンタサーバ設定」にて上記のように設定した場合

ネットワークプリンタのスプール領域として本機を使用するには使用しようとしているプリンタのドライバが各クライアント PC 側にインストールされている必要があります。

本機に接続したプリンタを使用するには、使用しようとしているプリンタのドライバが各クライアント PC 側にインストールされている必要があります。

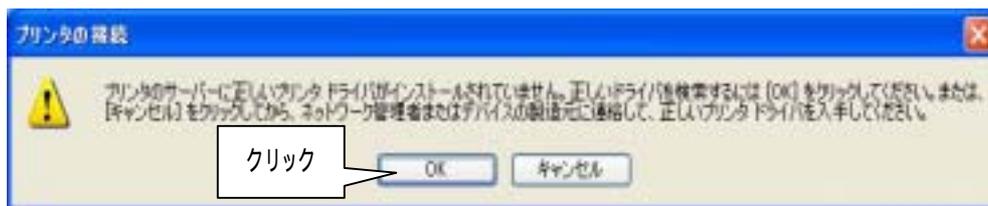
## 2.6.1 ネットワークプリンタ共有及びスプール領域としての設定 (Windows)

設定用パソコンには Windows Xp を使用しています。

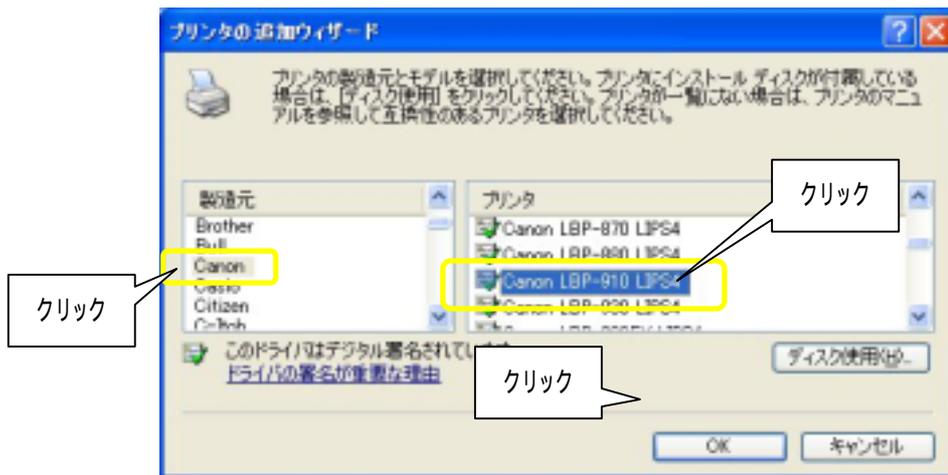
1. 「2.4.3 本機の検索」のように、まず本機を見つけ、見つけた本機をダブルクリックします。
2. 「プリンタサーバ設定」の「ネットワークプリンタ」の「共有名」欄の名前が表示されたプリンタをダブルクリックします。



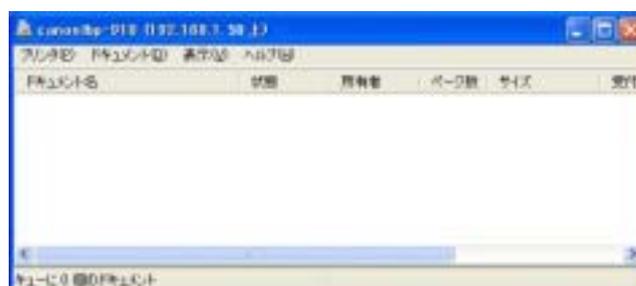
3. 以下のようなメッセージが出ますので、メッセージにしたがって、「OK」をクリックし、プリンタドライバをインストールしてください。



4. 適切な製造会社、プリンタを選択し「OK」をクリックしてください。(この作業により適切なプリンタドライバがインストールされます。)(ここでは、ネットワークプリンタに CANON 製 CANON LASER SHOT LBP-910 を使用しています。)



5. 以下のような画面が出ましたら設定は終了です。



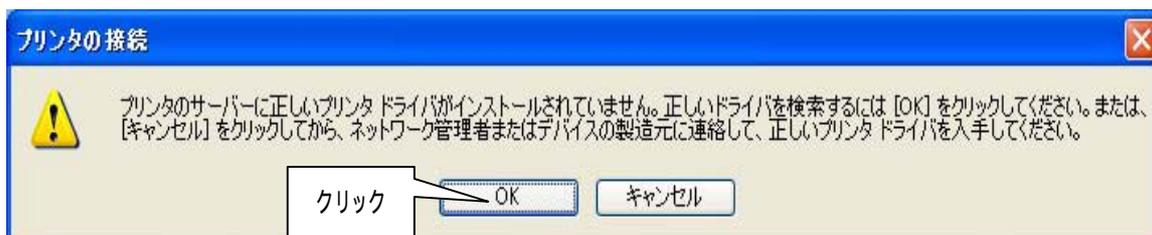
## 2.6.2 本機に接続したプリンタ共有及びスプール領域としての設定 (Windows)

設定用パソコンには Windows Xp を使用しています。

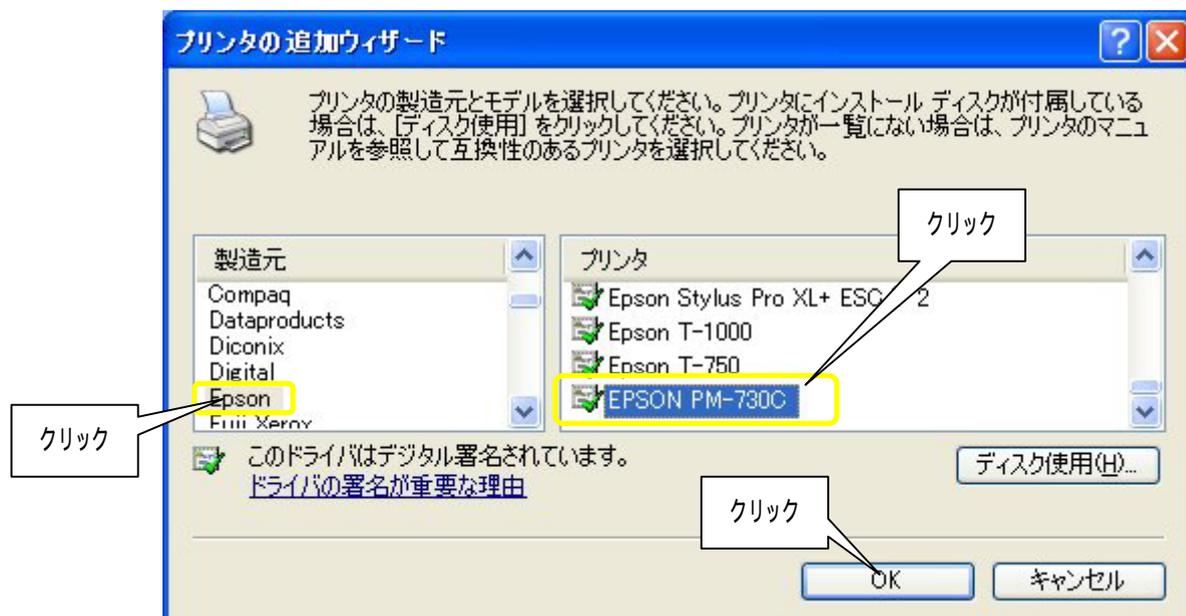
1. 本機とプリンタの電源が入っていないことを確認し、プリンタの平行ポートから接続されている平行ケーブル(25ピン)を本体背面のプリンタポートに接続してください。
2. プリンタの電源を入れてください。
3. 本機の電源を入れてください。
4. 「2.4.3 本機の検索」のように、まず本機を見つけ、見つけた本機をダブルクリックします。
5. 「プリンタサーバ設定」の「LAS-TN に接続されているプリンタ」の「共有名」欄の名前が表示されたプリンタをダブルクリックします。



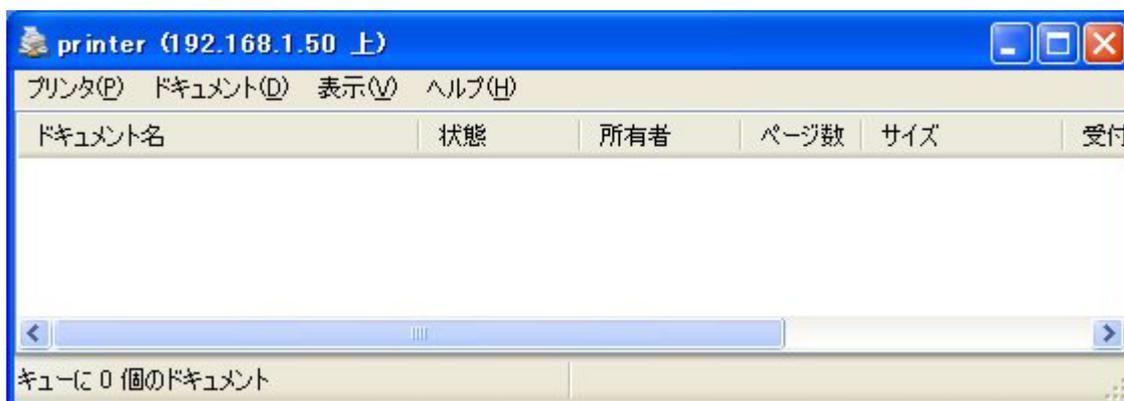
6. 以下のようなメッセージが出ますので、メッセージにしたがって、「OK」をクリックし、プリンタドライバをインストールしてください。



7. 適切な製造会社、プリンタを選択し「OK」をクリックしてください。(この作業により適切なプリンタドライバがインストールされます。ここでは、本機に接続したプリンタに EPSON 製 PM-730C を使用しています。)



8. 以下のような画面が出ましたら設定は終了です。



## 第3章 電源

### 起動

前面中央の電源スイッチを押してください。

### リセット

リセットスイッチに丈夫な細い棒を入れて押すと、本機が再起動されます。

ただし、リセットスイッチが押された時点で保存されていなかった情報は失われます。

このリセットスイッチは本機がハングアップした時などの緊急時のみご使用ください。

通常時にご使用になると本機が故障する原因となります。

### シャットダウン

本機の電源を OFF するには、以下の方法で行ってください。

[システム] - [シャットダウン]メニューから電源を OFF にする。

本機前面の電源スイッチを押し、電源を切ることもできますが、故障の原因となりますので、正規の手順でシャットダウンできなくなった場合にのみ利用してください。(緊急時のみ使用してください。)

シャットダウンプロセスが実行され、電源表示ランプが点滅します。

電源表示ランプが消灯したら、シャットダウン終了です。

緑色の電源表示ランプが完全に消えるまではシャットダウンプロセスの実行中です。

シャットダウンプロセス実行中に誤って電源コードを抜いたりしないよう注意してください。



禁止

電源スイッチを 4 秒以上押し続けしないでください。

直ちに電源が切れますが、本機の故障の原因となる場合があります。

本機のソフトウェアクラッシュなど、正規の手順でシャットダウンできなくなった場合にのみ利用してください。(緊急時のみ使用してください。)

## 第4章 付録

## 4.1 ホームページ設置と公開方法(Web サーバとして使用する)

下記の方法で、本機にホ - ムペ - ジを設置し、Web サーバとして使用することができます。

例えば、トップペ - ジが「index.html」という名前だとすると、Web ブラウザに下記の URL を入力することで Web ページにアクセスすることができます。

例: 「 http:// (本機の IP アドレス)/index.html 」

## ホ - ムペ - ジの設置方法

ホ - ムペ - ジの設置は、以下の手順で行います。

1. [サーバ設定] - [共有フォルダ設定] で、「共有フォルダー一覧」に「www」というディレクトリがあるのを確認して、管理者のアクセス権をフルコントロールに設定します。
2. ネットワークコンピュ - タなどから本機にアクセスして、「www」というディレクトリに、HTML ファイル(トップペ - ジ: index.html )をコピー - します。
3. 「 http://(本機の IP アドレス)/index.html 」と Web ブラウザの URL 欄に入力して、閲覧できれば終了です。

誤って「www」ディレクトリを削除してしまっても/(ルート)の下に新しく「www」ディレクトリを作成し、index.html をコピーすれば閲覧することができます。

CGI の使用はできません。

## 4.2 本機に登録したユーザーのホ - ムペ - ジの設置と公開方法

下記の方法で、本機 で登録したユーザー毎に個人ホ - ムペ - ジを設置、公開することができます。

例えば、本機の[ユーザー設定] - [ユーザーの追加]で、「user1」というユーザーが登録しており、トップペ - ジが「index.html」という名前だとすると、Web ブラウザを使って下記の URL でアクセスすることができます。

例: 「 http://(本機の IP アドレス)/ user1/index.html 」

## ユーザーホ - ムペ - ジの設置方法

ユーザーホ - ムペ - ジの登録は、以下の手順で行います。

1. [ユーザー設定] - [ユーザーの追加] メニュー - で ユーザーを登録します。
2. ネットワークコンピュ - タなどからアクセスして、ユーザーのホ - ムディレクトリ下に、「www」というディレクトリがあるのを確認します。
3. 「www」ディレクトリに、HTML ファイル(ユーザーのトップペ - ジ : index.html )をコピー - します。
4. 「 http://(本機の IP アドレス)/ (ユーザー名)/index.html 」と Web ブラウザの URL 欄に入力して、ユーザーのホ - ムページが閲覧できれば終了です。

誤って「www」ディレクトリを削除してしまっても、ユーザーのホ - ムディレクトリの下に新しく「www」ディレクトリを作成し、index.html をコピーすれば閲覧することができます。

CGI の使用はできません。

### 4.3 構成情報の保存と復元

構成情報(ネットワーク設定、サーバ設定、ユーザー設定などの設定)の保存/復元をすることができます。構成情報をロ - カルディスクに保存しておくことにより、事故などが起こって本機のシステムが壊れた際に、構成情報を復元することができます。

構成情報をロ - カルのコンピュータにダウンロードすると、本体に構成情報ファイルは残りません。

構成情報の復元時は、構成情報ファイルをアップロードする必要があります。

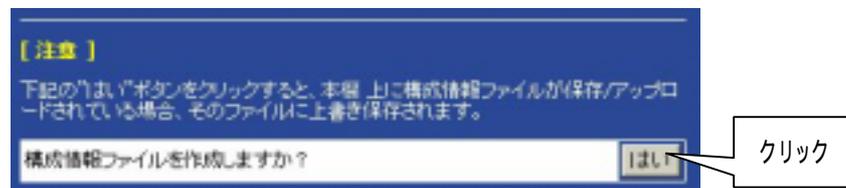
**構成情報の保存を実行した際に保存されるのは構成情報のみです。**

**ユーザーが作成したデータは保存されませんので、別途バックアップを行ってください。**

#### 保存方法

構成情報の保存は、以下の手順で行います。

1. Web ツールの[システム] - [構成情報ファイルの作成]で、構成情報ファイルを作成してください。  
詳細は[4.3 構成情報ファイルの作成]を参照してください。



2. TN セットアップツールを設定用コンピュータから起動し、構成情報を保存したい本機が選択し、[構成保存]をクリックしてください。



1. 構成情報は TN セットアップツールがインストールされているディレクトリに保存されます。  
[はい] をクリックしてください。構成情報の保存をキャンセルしたい場合は、[いいえ] をクリックしてください。



2. 本機の構成情報ファイルのダウンロードを開始します。



3. 構成情報ファイルの保存が終了します。  
[O.K.] をクリックしてください。



以上で構成情報の保存は終了です。

## 復元方法

構成情報の復元を行うには、以下の手順で行います。

1. TN セットアップツールを設定用コンピュータから起動し、構成情報の復元したい本機を選択し、[構成復元] をクリックしてください。



2. 本機にアップロードする構成情報ファイルを選択してください。  
通常、構成情報ファイルは TN セットアップツールがインストールされているディレクトリに保存されています。



2. 本機の構成情報のアップロードを開始します。



## 3. 構成情報ファイルのアップロードが終了します。

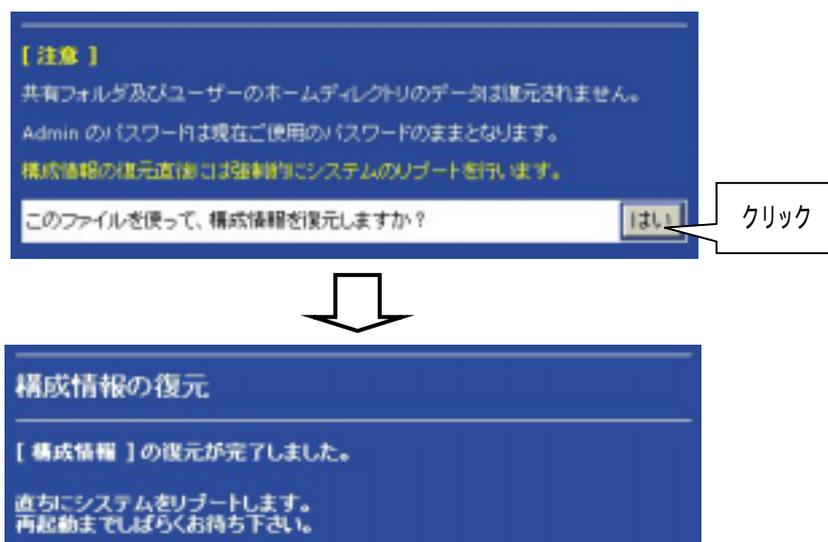
構成情報の復元を行うために Web ツールを起動します。( [システム] - [構成情報の復元] にジャンプします。)

[はい] をクリックしてください。



## 4. Web ツール[システム] - [構成情報の復元] でアップロードした構成情報ファイルを復元してください。

構成情報を復元すると自動的に本機が再起動されます。



以上で構成情報の復元は終了です。

#### 4.4 システムを工場出荷時状態に復旧させる(Assist キー使用)

システムがソフトウェアクラッシュした場合など、システムの工場出荷時状態に復元したい場合は、付属の Assist キーを使って、システムを工場出荷時状態にすることが出来ます。

システムの復旧処理中に絶対に電源を切ったりしないでください。

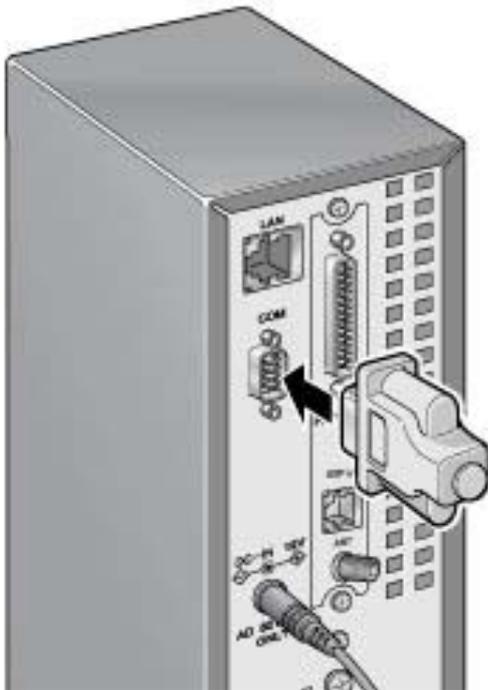
Web ツールでの設定は全て消去され、ハードディスクの設定内容は保持されません。

管理者パスワードも初期化されます。

[構成情報の保存/復元] で構成情報を保存しておくことをお勧めします。

以下の手順でシステムの工場出荷時状態に復旧させます。

1. 本機の電源が切れていることを確認し、シリアルポートに Assist キーを装着します。



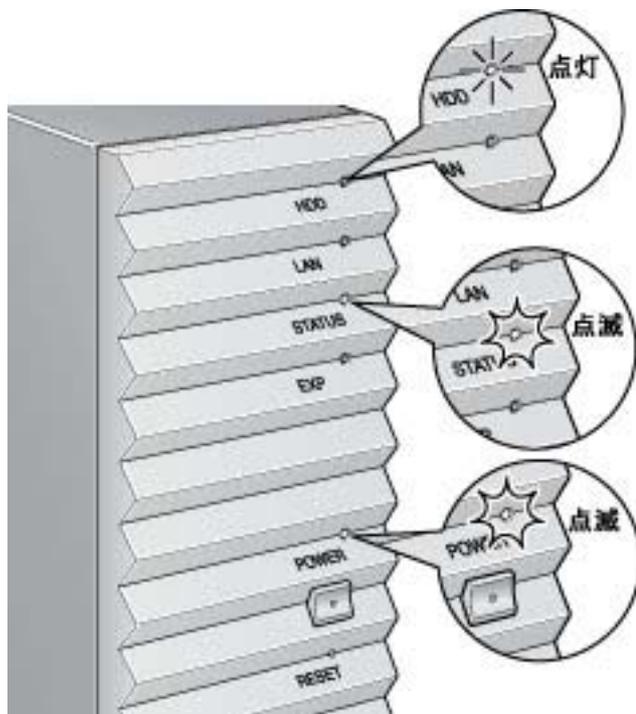
2. 本機の電源スイッチを押して、電源を入れます。



3. システムの復旧処理が開始されます。

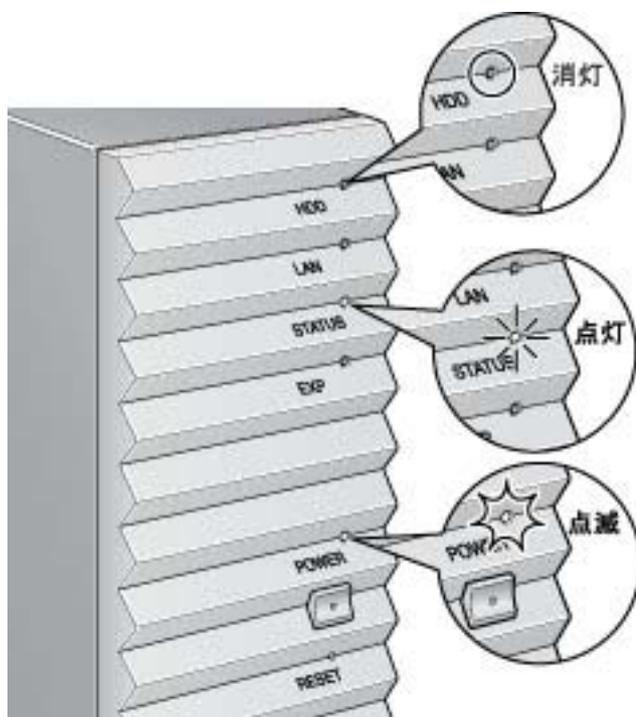
(復旧処理実行中はステータスランプと電源表示ランプが点滅し、HD アクセス表示ランプが点灯します。)

復旧作業には 10 分程度かかります。復旧作業中は、絶対に電源を切ったりしないでください。



4. システムの復旧処理が終了します。

(復旧処理が終了するとステータスランプが点灯します。電源表示ランプ点滅の状態のままで、HD アクセス表示ランプは消灯します。)



5. 本機の電源スイッチを押し、電源を切って、Assist キーをはずします。

以上でシステムの復旧処理は完了します。

次回起動時は、Assist キーをはずしてから本機を起動してください。

Assist キーをつけたまま起動すると、再び復旧処理が開始されます。



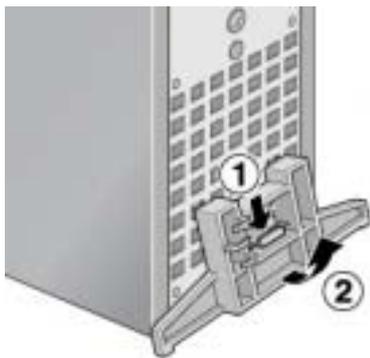
## 4.5 付属品を使用する

本機に付属している「縦置きスタンド」、「識別マーカ」を使用することで、本機の転倒防止、ACアダプタの固定、本機の識別ができます。

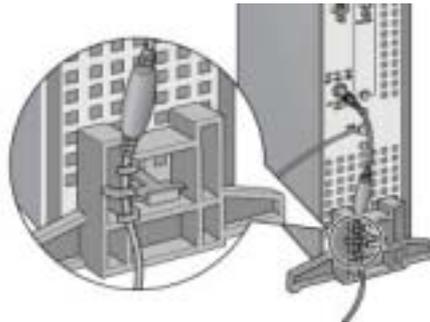
### 縦置きスタンド

通風孔に取り付けます。数台並べてもぶつからない構造になっているため、転倒防止にも役立ちます。また、付属のコ - ドフックに電源コードをはめ込むことによって、本機から AC アダプタが抜けにくくなります。

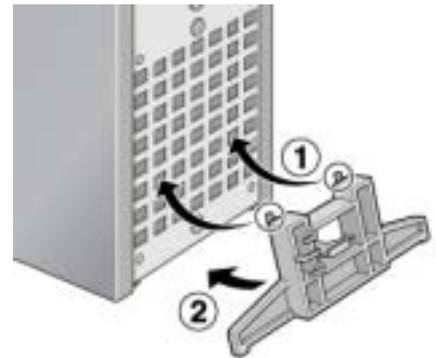
取り付け方法



コ - ドフックの取り付け方



取り外し方法



### 識別マーカ

ホ - ルに取り付けます。

数台の本機を設置した場合、識別マーカの取り付け方を変えると、識別ができます。黒、赤、青の3色で、黒を12個、赤・青を各3個ずつ付属しています。



## 10 BASE - T

情報転送速度が 10Mbit/秒、T はツイストペアケーブルを表します。  
伝送保証距離は 100m となっています。

## 100 BASE-TX

情報転送速度が 100Mbit/秒のケーブルを使用したイーサネット接続です。

## DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

コンピュータなどの機器が起動する際に IP アドレスを提供します。  
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、ネットマスクその他の情報をクライアントに通知します。  
本機を DHCP サーバとして使用し、各コンピュータ側を DHCP クライアントに設定すると、各コンピュータの起動時に IP アドレスを自動的に割り当てます。  
ネットワーク管理者は、ネットワーク全体で IP アドレスを管理することができ、各クライアントは IP アドレスを直接設定する必要がなくなります。

## マスタブラウザ

ネットワーク上のリソース情報(Net BIOS 名)を管理するマシンのことです。  
リソースを提供するコンピュータは、サービスを開始時とある時間間隔ごとに定期的にサーバ告知パケットをブロードキャストします。  
マスタブラウザはこの情報を受け取ってブラウズリストを管理します。

## リース時間 (リース期間)

DHCP サーバによって割り当てられたネットワーク情報は一定期間を経過すると失効します。  
この一定期間の事をリース期間といいます。

## ワークグループ名

新しい名前を入力すると、新しいワークグループが Windows で作成されます。  
通常ワークグループは、互いに通信することが多い複数のコンピュータから組織されます。

## NetBIOS 名

ネットワーク上の NetBIOS リソース(コンピュータ名など)を識別するために使用されるユニークな 16 バイトのアドレスです。この名前は、単体を示す場合とグループ名を示す場合があります。  
単体を示すものはユーザー名、コンピュータ名などで、グループ名はドメイン名などです。  
NetBIOS 名は、NT のサーバサービスなどで利用され、コンピュータが起動するとサーバサービスはコンピュータ名に基づいた NetBIOS 名をつけます。NT のネットワークサービスはすべてのネットワークコマンド(エクスプローラなど)は NetBIOS 名を使用します。

## MAC アドレス (Media Access Control Address)

通常はネットワーク機器の ROM に固有 ID として登録されているもので、世界中でたった一つの物理アドレスとなります。

## TCP/IP

米 ARPANET という、研究機関や大学を集めたネットワーク用に開発されたプロトコルです。

TCP と IP はそれぞれ OSI 階層モデルの第4層(トランスポート層)、第3層(ネットワーク層)に位置しています。

TCP/IP はコンピュ - タ同士の通信手順や方法、通信データのエラ - チェック方法や、圧縮の方式などが決められています。

コンピュ - タで通信するときには、それぞれ同じ通信プロトコルを使用しないと通信できません。

その通信プロトコルで最も普及しているのが TCP/IP で、インタ - ネットでも標準プロトコルとして使用されています。

## コンピュ - タの説明

他のユーザーがネットワーク上でコンピュ - タを参照するときに指定した説明が表示されます。

通常は、コンピュ - タを特定する情報や共有されている資源についての情報を指定します。

## ドメイン

ネットワークに接続されている複数のコンピュ - タをまとめて、1つの名前を割り当てたグル - プのことです。

ドメイン(ネ - ム)は組織部分を表すことが多く、同一組織であれば同ドメインを使用します。

例えば www.logtec.co.jp は www という特定のホストであり logtec.co.jp がドメイン(ネ - ム)です。

## ブラウズリスト

ネットワーク上のコンピュ - タのリソ - ス情報を保存しておくリストのことです。